

現 場 説 明 書

1 工事（委託）名 御所污水 9 号幹線 9 工区管路築造 工事

2 工事（委託）番号 都整第 3 号

3 工事（委託）場所 御所市幸町地内

4 現場説明書返却についてダウンロードによる（返却不要）

5 現場説明書記載項目

第 1 章 概要

第 2 章 入札に関する注意事項

第 3 章 特記事項

・ 入札条件書

・ 特記仕様書

・ その他

6 仕様書

7 位置図

御 所 市 役 所

第1章 概 要

1 工事（委託）名 御所污水9号幹線9工区管路築造 工事

2 工事（委託）番号 都整第3号

3 工事（委託）場所 御所市幸町地内

4 工事（委託）概要
[全体] 工事延長 L=216.2m

開 削 工	PRP ϕ 200 mm	L=210.8m
人 孔 工	1 号組立 MH	n= 6.0 基
取 付 管 工	L=104.1m	
汚 水 桝 工	n= 20.0 基	
付 帯 工	一式	

5 竣工（履行）期日 令和7年12月26日

6 発注担当課 都市整備課

第2章 入札に関する注意事項

- 1 現場説明書等（仕様書、設計図面等）に対する質問の応答
質問が有る場合は、管財課入札係窓口へ質問書をメールにより提出してください。
（質問が無い場合は、質問書の提出は必要ありません。）
kanzai@city.gose.nara.jp
質問書提出期限 令和 7年 6月 9日 11 : 00 までに提出してください。
提出場所 御所市役所 管財課 （新館2階）
- 2 入札書に記載する価格は、消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約希望金額の110分の100に相当する金額を入札書に記載してください。（消費税及び地方消費税を含まない価格）
入札手続きに対する問い合わせは、管財課入札係にお問い合わせください。
- 3 回答方法（令和 7年 6月 11日 17 : 00 までに）
回答文書をメールにより当該質問者に送信いたします。
但し、公平性に支障を来す場合等、質問内容によっては、入札参加者全員に回答します。
該当する者は受信出来ましたら、回答文書が無事届いたかを確認したいので、早急に市役所管財課へ返信メールをお願いします。
- 4 現場説明書等の交付について
御所市ホームページからダウンロードにより提供
- 5 落札者は、契約の締結に際しては中小企業退職金退職金共済法の基づく建設業退職金共済制度の掛け金を建設業退職金機構の奈良県支部に納入し、機構発行の掛け金収納書を提出して下さい。
（ 機構奈良県支部 ： 奈良市高天町5-1 奈良県建設会館内 TEL 0742-22-3345 ）
- 6 この工事の入札結果により、同一業者が、同一工事区域又は工事区域が連結した場所で、かつ工期が重複又は継続して施工することとなった場合は、協議無く共通費（共通仮設費、現場管理費及び一般管理費等）を再計算し、請負額を変更することがあります。

第3章 特記事項

1 総論

本工事の契約書、設計図書（仕様書、図面、現場説明書及び現場説明に対する質問回答書）を十分に理解し、関連法規・条例等を遵守して、安全に着手・竣工してください。

2 適用範囲

施工条件の適用については、以下の3に記載したものを適用します。

3 施工条件

(1) 一般事項

- ※ 本工事の施工は、監督員の指示した書類を作成し、承諾を受けたうえで着手してください。
- ※ 原則として、工事着手前に本工事の全ての下請け業者について、書類により監督員に届け出てください。
- ※ 本工事は奈良県土木部編集「土木工事共通仕様書」に基づき施工してください。
- ※ 本工事は奈良県土木部編集「土木部土木工事監督及び検査必携」を適用します。
- ※ 工事関係官公署その他関係機関への必要な届出手続き等は、全て請負者が行ってください。手続きに必要な費用は請負者の負担とします。
- ※ 建設工事公衆災害防止対策要綱（建設省建設経済局）を遵守し、工事を行ってください。
- ※ 本工事に示す内容その他に疑義が生じた場合は、入札前においては第2章「入札注意事項」1「設計図書等に対する質問の応答」によるものとし、契約後においては、監督職員と協議のうえ決定し、施工するものとします。また、現場の納まり、取り合い、明示無き事項及び設計図書と現場の不一致等で生じた変更については、監督職員の指示によるものとします。

(2) 施工日・施工時間帯

- ※ 原則として、土曜日・日曜日・及び祝日の現場における工事は休みとし、施工時間は8時30分から17時30分とします。ただし、現場の状況等による場合、施設管理者等の協議・許可条件等により、変更する場合があります。

(3) 環境対策

- ※ 「奈良県における「建設リサイクル」の実施に関する指針」に基づき、建設資材のリサイクルに努めて下さい。
- ※ 「公共事業に関する環境配慮指針（奈良県）」に基づき、環境負荷低減に努めて下さい。
- ※ 騒音・振動・排水等は、奈良県環境保全関係条例・その他の規程に従って十分な養生及び防止対策を講じてください。万一、第三者に損害等が生じた場合は、請負者にて処理、解決してください。なお、これらに要する費用は、請負者の負担とします。

(4) 特定建設資材の再資源化

- ※ 特定建設資材とは、建設工事に係る資材の再資源化に関する法律（以下「建設リサイクル法」という。）に定める特定建設資材（コンクリート（鉄筋コンクリートを含む）塊、アスファルトコンクリート塊、木材）をいいます。
- ※ 本工事において発生する特定建設資材廃棄物については、建設リサイクル法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律等関係法令を遵守し、適正に再資源化を処理をしてください。
- ※ 建設リサイクル法第9条を遵守し、同法施行規則第2条に定める「分別解体等に係る施工方法に関する基準」により適切な施工をしてください。
- ※ 本工事において発生した特定建設資材廃棄物については、県内の再資源化処理施設において処理してください。（請負者の責めに帰さない理由で、これによることが出来ない場

合は監督職員と協議の上、その指示によるものとします。

※ その他

- ① 再資源化施設の選定に当たっては、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づく許可を受けた処理施設とし、許可内容・有効期限等を確認のうえ事前に監督職員の承諾を受けて下さい。
- ② 自ら搬出する場合は産業廃棄物運搬車の表示板等を掲げ明示して下さい。また、運搬を委託する場合は産業廃棄物収集運搬業の許可を受けた業者とし、事前に監督職員の承諾を受けて下さい。
- ③ 産業廃棄物管理票（マニフェスト）は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律遵守し厳正に管理してください。
- ④ 特定建設資材搬出の際は運搬車両の過積載防止の徹底を図ってください。

(5) 県（市）内業者・県（市）内産建設資材の活用

※ 下請契約を締結する場合には、当該契約の相手を「県（市）内に主たる営業所」を有するものの中から選定するよう努めてください。

※ 地場産業の活性化を図るため、建設資材・物品調達については県（市）産品の使用をより一層努めてください。

県（市）産品とは次の①から⑤に示すものとします。

- ① 県（市）内の工場で製造された資材・製品
- ② 奈良県及び県内市町村、産業支援団体等の公的機関の補助を受けて開発された資材・製品
- ③ 県（市）内企業が開発し、県（市）外の工場で製造された資材・製品
- ④ 二次製品において、材料が県（市）外製品であっても、県（市）内の工場等で製造・加工されたもの（材料が県（市）内産品で、県外の工場等で製造・加工されたものは除く）
- ⑤ 奈良県リサイクル認定製品

(6) 安全対策

※ 工事期間中、付近の構築物・道路・地下埋設物等に損傷を与えないよう万全の処置を行ってください。万一破損を生じた場合は、原形に復してください。

※ 工事着手前に、警察、その他関係機関、地元自治会、及び監督職員等と十分打ち合わせのうえ、安全管理を行ってください。

※ 住民が居住している地域での工事ですので、安全等については、十分留意してください。

(7) 工事用道路・車両

※ 工事期間中道路面には、一切車両を駐車しないようにすると共に工事関係車両の出入りには必ず誘導員を立てて交通渋滞や市民などへの災害に留意してください。

※ 工事関係車両タイヤ等で場内土を持ち出し、道路等を汚さないでください。また、汚した場合には、速やかに清掃を行ってください。

※ ダンプトラック等、過積載防止対策を行ってください。

(8) 仮設

※ 仕様書に該当項目があれば、適正に処理してください。

(9) 発生材・建設発生土の処理

※ 仕様書に該当項目があれば、適正に処理してください。

(10) その他

- コンクリート工事の施工に当たり、奈良県土木部、技第81号（令和19年8月15日）
「適正なコンクリート工事実施に関わる請負業者の遵守事項」に従って施工してください。

入札条件書

工事番号	都整第 3 号		
工事名	御所汚水 9 号幹線 9 工区管路築造		工事
工事箇所	御所市	幸町	地内
履行期間	契約日翌日（土日、祝日除く）から、		令和 7 年 12 月 26 日
担当課	都市整備課		

上記の工事（委託）の入札について、下記の条件により実施いたします。

- 1 共通事項
- 当該入札は、地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）、地方自治法施行令（昭和 22 年政令第 16 号）、御所市契約規則（昭和 39 年 10 月 20 日規則第 18 号）その他法令、規則などにに基づき執行いたします。
- 2 当該入札に該当する条件

入札方法	郵便	予定価格	33,224,400 円（税込み）		
再度入札	なし	入札書比較価格	30,204,000 円（税抜き）		
前払金請求	請負額が 300 万円を上回った場合可	最低制限基準価格	29,821,000 円（税込み）		
		最低制限基準比較価格	27,110,000 円（税抜き）		
議会の議決	不要	各年度における支払予定額の割合	令和	年度	%
			令和	年度	%
			令和	年度	%

- 3 入札辞退
- 入札を辞退するときは、事前に辞退届の提出が必要となります。
- 4 入札中止
- 入札手続執行途中で入札に競争性が無くなった場合は、その段階で入札手続き又は入札を中止します。

その他	・ 契約は落札日から 8 日以内（落札日を含む。土日祝日も含む。）に締結しなければなりません。

御所污水 9 号幹線 9 工区 管路築造工事 に関する特記仕様書

工事箇所：御所市 幸町 地内

(適用事項)

本工事施工にあたっては、「御所市下水道工事標準仕様書」及び「土木工事共通仕様書 奈良県県土マネジメント部」（以下「土木工事共通仕様書」という）によるものとする。

(一般的事項)

1. 受注者は都市整備課担当者に連絡し、施工計画書及び工事工程表等に基づき協議を行うこと。また、施工計画書を提出するにあたり、特に記載を要する事項として以下の点に留意すること。

①作業現場の保安施設・安全施設の計画及び交通整理等を伴う場合は、道路工事交通保安施設設置基準に準拠し、各現場に対応した計画を添付すること。また、設備・人員配置図は必ず添付すること。

②対象工種の出来形管理基準値(測定項目・規格値・測定基準・測定個所等)及び品質管理基準・規格値、試験基準を記載すること。

2. 理由のない設計変更は行わない。又、事前に市が承認した工事以外、設計変更は認めない。

なお、設計変更については、打合せ記録簿に理由等を記載し、関係書類を添付し承認を得ること。

3. 工事の施工に当たっては、諸法令を遵守するとともに地元関係者(区長・地権者 等)及び関係機関と十分調整を図るものとする。

(関係官公庁への許認可等)

1. 工事施工のため必要な関係官公庁その他の者に対する諸手続きは、受注者において迅速に処理しなければならない。

2. 関係官公庁その他の者に対して交渉を要するときまたは交渉を受けたときは、遅滞なくその旨を監督員に申し出て協議するものとする。

(関係法令等)

1. 受注者は工事施工に当たり、工事に関する諸法規その他諸法令を遵守し、工事の円滑なる進捗を図るとともに、諸法令の運営費用は受注者の負担と責任において行わなければならない。

(公害の防止)

1. 受注者は工事の施工に当たっては、付近の居住者に迷惑のかからぬよう公害防止に努めなければならない。

2. 工事施工に起因して通常発生する物件のき損の補修費及び騒音、振動、濁水、交通等による一般的損失に係る補償は受注者の負担において行わなければならない。

(施設の保全)

1. 既設構造物を汚染し、またはこれ等に損傷を与えたときは、受注者の責任で復旧しなければならない。

(安全管理)

1. 受注者は土木工事安全施工技術指針（国土交通省大臣官房技術調査課監修平成13年改定版）を参考にし、労働安全衛生法令並びに関係法令を遵守し、公衆及び従業員の安全を図らなければならない。

2. 工事中は所要の人員を配し、現場内の整理、整頓及び保安に努めなければならない。

3. 重要な工作物に近接して工事を施工する場合は、あらかじめ保安上必要な措置、緊急時の応急措置及び連絡方法等について、監督員と協議し、これを厳守しなければならない。

い。

4. 受注者は工事施工期間の一般通行者の安全確保等について、下記の事項に留意しつつ万全の対策を講じなければならない。

①公衆に係わる区域で施工する工事は道路管理者、所轄警察署等の指示事項を遵守すること。また、工事内容を地元住民や通行者に周知させなければならない。

②警戒標識、防護柵、安全施設（赤色灯やセーフティコーン等）を適切に配置するとともに、施工計画に指定した交通誘導員は、常駐して厳正な交通管理を行うこと。

③夜間作業時にあっては、十分な照明を設置し、通行車両・歩行者等の安全を確保するとともに、工事を一時中断又は終了した場合には、材料、器具、機械等は通行に支障を生じない箇所や路外に集め防護柵等で囲うなど万全な安全対策を行うこと。

④現場代理人等の現場責任者は、常時現場を巡回し、特に安全上不良な箇所がある場合は、直ちに改善すること。

⑤警戒標識、防護柵、安全施設（赤色灯やセーフティコーン等）及び使用機械の整理整頓に努めること。

⑥維持修繕工事等、施工場所及び施工時期が分散する工事であっても、工事箇所毎に工事看板の設置を行うこと。

なお、工事標示施設の設置については、国土交通省制定の「道路工事現場における標示施設の設置基準」及び「道路工事保安施設設置基準」に準拠するものとする。

5. 火薬、ガソリン、電気等の危険物を使用する場合には、保管及び取扱いについて関係法令の定めるところに遵守し、万全の方策を講じなければならない。

6. 受注者は、交通安全対策等につき、関係機関と協議のうえ具体的に内容を定め、これを監督員に提出するものとする。

(埋設物等の措置)

1. 施工に先だち、水道管、ガス管、電話線、電力ケーブル等の埋設物については事前に試掘を行い、その位置を確認及び位置図を作成し、監督員に報告しなければならない。

2. 試掘の結果埋設物が工事に支障となる場合は、その管理者と協議し十分な安全措置を行わなければならない。このとき、工事打合せ簿に立会者名、指示事項等を明記し提出しなければならない。

3. 地下埋設物または架線等の移設が生じたときは調査資料及び移設計画図を添えて監督員の承諾を得なければならない。

4. 工事中において、引火性物質を有する埋設物または可燃性物質の輸送管等の埋設物に近接して作業する場合は、ガス漏えいの発見に努めるとともに溶接機、切断機等火気を伴う機械器具を使用してはならない。ただし、やむを得ず使用する場合はその管理者と協議の上、保安に必要な措置を講じなければならない。

5. 工事中において、万一諸物件に損傷を与えた場合は早急に関係者に連絡し、応急措置を行わなければならない。その後関係者と協議し復旧または賠償しなければならない。

6. 発注者による埋設物事前調査において、当該工事に支障となる埋設管（水道管等）の移設等が決定している場合、当該埋設管の移設もしくは仮設の完了を、受注者間において確認した後に本工事を着手すること。

7. 施工中において、それぞれの工事が競合することがある場合、受注者間で工程等を十分協議し、安全で円滑に施工すること。

(現場管理)

1. 受注者は公衆に係わる区域で施工する工事については、「建設工事公衆災害防止対策要綱土木工事編」に準拠して災害の防止に努めなければならない。

2. 工事のため付近居住者の日常生活・業務等を妨害しないよう注意しなければならない。また、施工に当たり営業に支障があると思われるときは、監督員並びに居住者と協議の上、これを軽減するよう努力しなければならない。

3. 火薬類を使用し、工事を施工する場合は、あらかじめ監督員に使用計画書を提出しなければならない。

4. 遣方、山囲、覆工、締め切り、排水等の仮設及び特に重要物を扱う足場は、堅固な構造としなければならない。

5. 受注者は、豪雨・出水・その他天災に対しては、気象予報などについて十分な注意を払い、常にこれに対処できる所要の人員・資材の配備計画がなければならない。

6. 排出ガス対策型建設機械について

本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は、「排出ガス対策型建設機械指定要領（H3.10.8 付建設省経機発第 249 号 最終改正 H9.10.3 付建設省経機発 126 号）」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械、又は平成 7 年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」またこれと同等の開発目標で実施された民間開発建設技術の技術審査・証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着した建設機械（黒煙浄化装置付）を使用するものとする。

但し、これにより難しい場合は、監督員と協議の上設計変更するものとする。

また、排出ガス対策型建設機械あるいは、排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、施工現場において使用する機械の写真撮影を行い提出するものとする。なお、指定機械であることを識別するラベルが添付されているので、確認できるように撮影すること。

機 種	備 考
一般工事用建設機械 ・バックホウ・トラクタショベル（車輪式） ・ブルドーザ・発動発電機（可搬式）・空気圧縮	ディーゼルエンジン（エンジン出力7.5kw以上260kw以下）を搭載した建設機

機（可搬式）・油圧ユニット（以下に示す基礎工事用機械のうち、ベースマシンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの；油圧ハンマ、バイブロハンマ、油圧式鋼管圧入・引拔機、油圧式杭圧入・引拔機、アースオーガ、オールケーシング掘削機、リバーササーキュレーションドリル、地下連続壁施工機、全回転型オールケーシング掘削機）・ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ・ホイールクレーン	に限る。
--	------

（施工事項）

1. 調査が特に必要であると思われる家屋及び井戸等の物件については、別紙「御所市 公共下水道工事 家屋調査仕様書」により事前調査を行い必要な図面・写真等の資料を作成しておくこと。

2. 起工測量を実施し、仮水準点（仮BM）を設置すると共に必要な資料を作成し、監督員と協議を行い承認を得ること。

3. 受注者は、設計図書に従って、工事の施工について監督員の立会にあたっては、あらかじめ立会に係わる事項（種別、細別、施工予定期日等）を監督員に報告すること。

4. 段階確認は、受注者（現場代理人または主任（監理）技術者若しくは、あらかじめ監督員の承認を得たもの）が臨場するものとする。

5. 本工事の施工に伴い実施する品質管理試験は、品質管理基準に記載される「必須」項目を実施し、「その他」の項目については、監督員の指示により実施するものとする。

6. 使用材料等については、事前に使用承諾願を提出し、監督員の承諾を得たうえで使用すること。如何なる材料・製品を使用しても良いとは限らない。

7. 使用する二次製品の品質等については、以下の内容を満足しなければならない。

①形状寸法は、使用承認を受けた規定寸法を満足するとともに、外観については、使用上有害な傷、ひび割れ、欠け等が無いこと。

②コンクリートの強度は、出荷時において所定の設計基準強度以上でなくてはならない。

③外観及び形状寸法の管理を行うこと。

8. 土木コンクリート構造物の品質確保について

①土木コンクリート構造物の耐久性を向上させるため、一般の環境条件の場合のコンクリート構造物に使用するコンクリートの水セメント比は、鉄筋コンクリートについては55%以下、無筋コンクリートについては60%以下とすること。

②鉄筋のかぶりを確保するため、スペーサーを設置するものとする。スペーサーは、構造物の側面については原則1㎡につき2個以上、構造物の底面については原則1㎡につき4個以上設置すること。また、型枠に接するスペーサーは本体コンクリートと同等以上の品質を有するコンクリート製又はモルタル製を使用するのを原則とする。

③重要なコンクリート構造物の適切な施工を確認するため、コンクリート構造物の施工完了後に、テストハンマーによる材齢28日強度の推定調査を受注者が実施し、調査結果を提出すること。

④テストハンマーによる強度推定調査の結果が、所定の強度が得られない場合については、受注者が原位置のコアを採取し、圧縮強度試験を実施し、調査結果を提出すること。

⑤工事完成後の維持管理にあたっての基礎資料とするため、重要構造物については、ひび割れ発生状況の調査を受注者が実施し、調査結果を完成検査時に提出すること。

⑥受注者は、生コンクリートの品質管理において、工場から現場までの運搬管理が極め

て重要であることを認識すると共に、荷卸し以降の品質確保について責任を負うものとする。

9. 受注者は施工箇所付近の道路の管理・補修及び維持を充分に行い、住民に不便をかけないように受注者が自己の費用で行うこと。

10. 薬液注入工は、「薬液注入工法による建設工事の施工に関する暫定指針（建設事務次官通達：建設省官技発第160号・昭和49年7月10日付）」に基づいて施工すること。

薬液注入工法を実施する場合、地下水の水質汚濁を防止するため、着手前に水質検査並びに水位を測定し、施工中は市職員の指示に従い水質検査及び水位の測定「別添・薬液注入工法による建設工事の施工に関する暫定指針（建設省：昭和49年7月10日付）」（別紙特記仕様書参照）を行い、その結果を市に提出のこと。なお、薬液注入を行う場合には配合等の調書を事前に提出し、市の指示を得てから施工すること。

11. 施工後の路面が安定した良好な状態とすることを目的とし、土工（埋め戻し）については、十分な締め固めを行うこととし、その状態を次の方法により試験し、確認するものとする。

確認方法	R I 計器による土の密度試験
試験位置	監督員と協議のうえ決定
試験時期	監督員と協議のうえ決定
判定基準	「土の締め固め度」が90%以上であること。
土の締め固め度（%）＝ 現場の土の乾燥密度（R I 計器）／最大乾燥密度（室内試験）×100	

12. 道路舗装の仮復旧について、工事完了後1年以内に路面が通行に支障を来す起伏等が生じた場合、受注者が補修を行うこと。（但し、水道等他事業との同時施工による場合は、双方協議の上実施すること。）

13. 砂基礎工においては、再生コンクリート砂を使用するため、事前に現地土砂を採取

し、六価クロム溶出試験の結果を受けて、施工を行うこと。

14. 作業時間については、昼間・夜間施工の区分を設計書に従って実施すること。なお、昼間施工における標準時間は午前9時から午後5時までとし、夜間施工における標準時間は午後10時から翌午前5時までとする。

15. マンホール蓋については、御所市性能規定書に基づき認定を受けた製品を使用すること。

16. 公共汚水弁蓋については、御所市市章入りを使用すること。

17. 管内カメラについては、別紙「管渠内テレビカメラに関する特記仕様書」に基づき、行うこと。

18. 家屋調査については、別紙「御所市公共下水道工事 家屋調査仕様書」に基づき、行うこと。

19. 工事書類を提出する際に、全作成書類の電子生データ（CD・DVD等の記憶媒体）を一緒に提出すること。なお写真については、写真帳に編集したもの、及び撮影生データ（.jpeg 形式等のデータ）を提出すること。

20. 施工箇所は県営住宅に隣接する市道及び、交通量の多い市道である為、十分に注意し施工及び交通誘導を行なうこと。

21. 施工箇所は道幅の狭い住宅地内である為、十分に注意し施工を行う事。

再生材の使用に関する取り扱いについて

1. 再生材の種類

(1) 再生クラッシャラン

再生クラッシャランは、所要の修正CBRと粒度が得られるように路盤発生材、再生骨材、あるいはこれらを混合し、必要に応じて補足材を加えた再生資材をいう。

(2) 再生粒度調整碎石

再生粒度調整碎石は、所要の修正CBRと粒度が得られるように路盤発生材、再生骨材、あるいはこれらを混合し、必要に応じて補足材を加えて粒度と含水比を調整した再生資材をいう。

(3) 再生コンクリート砂

再生コンクリート砂は、セメントコンクリート発生材を破碎または解砕し、所定の粒度に調整し、必要に応じて補足材を加えた再生資材をいう。

(4) 再生加熱アスファルト混合物

アスファルトコンクリート再生骨材に、必要に応じて再生用添加剤、新アスファルトや補足材を加えて製造した加熱アスファルト混合物をいい、道路舗装の表層・基層に適用する。

【用語の説明】

路盤発生材とは、舗装発生材のうち、路盤から発生する碎石、クラッシャラン、粒度調整碎石、セメント安定処理路盤材、鉄鋼スラグ等の発生材をいう。

再生骨材とは、アスファルトコンクリート再生骨材、セメントコンクリート再生骨材、路盤再生骨材の総称をいう。

アスファルトコンクリート再生骨材とは、アスファルトコンクリート発生材を破碎または解砕し、分級した骨材をいい、これには舗装発生材中のアスファルトを含む。

【注意事項】

工事で発生したコンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊は、産業廃棄物であるとともに、再生資源としても位置づけられるものである。再利用するには、有価物にするための再生処理をおこなう必要がある。

① 再資源化施設で再生材として処理されたものを有償で買い取り、工事で使用する。

② 移動式破碎機・仮設プラント等で自ら中間処理を行い、使用目的（場所）の品質・規格に適合する有価物である再生クラッシャラン等にして使用する。
（使用にあたっては、廃棄物処理法の手続き等に注意してください。）

※「有価物」——— 他人に有償で売却できるもの

2. 適用工種

再 生 材	適 用 工 種
再生クラッシャラン	舗装の下層路盤材料 土木構造物の基礎材・裏込材・埋戻材 ※ただし、アスファルトコンクリート再生骨材を含む場合は、河川構造物に使用してはならない。
再生粒度調整碎石	舗装の上層路盤材料、埋戻材
再生コンクリート砂	電線共同溝、下水道の管路部等の基礎材
再生加熱アスファルト混合物	舗装の表層材・基層材

3. 品質基準

○再生クラッシュラン

コンクリート塊から製造した再生クラッシュランを利用するにあたって、その用途を定め、品質基準を次のように規定する。

①使用用途	下層路盤材、埋戻材、裏込材、基礎材 ※ただし、アスファルトコンクリート再生骨材を含む場合は、 河川構造物に使用してはならない。																																														
②粒度	最大粒径は目的に応じ適宜選択するものとする。 試験方法は、J I S A 1102「骨材のふるい分け試験」に基づき行い、望ましい粒度範囲は下表のとおりとする。 <table><tr><th colspan="2">粒度範囲（呼び名）</th><th>40～0 (RC-40)</th><th>30～0 (RC-30)</th><th>20～0 (RC-20)</th></tr><tr><th colspan="2">ふるい目の開き</th><th></th><th></th><th></th></tr><tr><td rowspan="8">通過 質量 百分 率 (%)</td><td>5.3 mm</td><td>100</td><td></td><td></td></tr><tr><td>37.5 mm</td><td>95～100</td><td>100</td><td></td></tr><tr><td>31.5 mm</td><td>—</td><td>95～100</td><td></td></tr><tr><td>26.5 mm</td><td>—</td><td>—</td><td>100</td></tr><tr><td>19 mm</td><td>50～80</td><td>55～85</td><td>95～100</td></tr><tr><td>13.2 mm</td><td>—</td><td>—</td><td>60～100</td></tr><tr><td>4.75 mm</td><td>15～40</td><td>15～45</td><td>20～50</td></tr><tr><td>2.36 mm</td><td>5～25</td><td>5～30</td><td>10～35</td></tr></table> 〔注〕再生骨材の粒度は、モルタル粒などを含んだ解砕されたままの見かけの骨材粒度を使用する。				粒度範囲（呼び名）		40～0 (RC-40)	30～0 (RC-30)	20～0 (RC-20)	ふるい目の開き					通過 質量 百分 率 (%)	5.3 mm	100			37.5 mm	95～100	100		31.5 mm	—	95～100		26.5 mm	—	—	100	19 mm	50～80	55～85	95～100	13.2 mm	—	—	60～100	4.75 mm	15～40	15～45	20～50	2.36 mm	5～25	5～30	10～35
粒度範囲（呼び名）		40～0 (RC-40)	30～0 (RC-30)	20～0 (RC-20)																																											
ふるい目の開き																																															
通過 質量 百分 率 (%)	5.3 mm	100																																													
	37.5 mm	95～100	100																																												
	31.5 mm	—	95～100																																												
	26.5 mm	—	—	100																																											
	19 mm	50～80	55～85	95～100																																											
	13.2 mm	—	—	60～100																																											
	4.75 mm	15～40	15～45	20～50																																											
	2.36 mm	5～25	5～30	10～35																																											
③P I（塑性指数）	試験方法	J I S A 1205「土の液性限界・塑性限界試験」に基づく。																																													
規格値	6以下 ただし、簡易舗装の下層路盤に使用する場合は9以下とする。																																														
④修正C B R	試験方法	舗装試験法便覧2－3－1「修正C B R試験方法」に基づく。																																													
規格値	20〔30〕%以上 ただし、簡易舗装の下層路盤に使用する場合は10〔20〕%以上とする。 アスファルトコンクリート再生材を含む再生クラッシュランを用いる場合は、修正C B Rの基準値に〔 〕内の数値を適用する。なお、40℃でC B R試験を行う場合は通常値を満足すればよい。																																														
⑤すり減り減量	試験方法	J I S A 1121「ロサンゼルス試験機による粗骨材のすりへり試験」〔粒度は道路用砕石S－13（13-5mm）のもの〕に基づく。																																													
規格値	50%以下																																														
⑥試験成績表	再生クラッシュランを使用する場合は、上記に掲げる②～⑤に関する試験成績表を使用前に提出しなければならない。 試験成績表は、工事で使用する日から 6か月以内 の試験成績表を有効とみなす。																																														

○再生粒度調整碎石

コンクリート塊から製造した再生粒度調整碎石を利用するにあたって、その用途を定め、品質基準を次のように規定する。

①使用用途	上層路盤材、埋戻材																																																						
②粒度	<p>最大粒径は目的に応じ適宜選択するものとする。</p> <p>試験方法は、J I S A 1 1 0 2「骨材のふるい分け試験」に基づき行い、望ましい粒度範囲は下表のとおりとする</p> <table><tr><th colspan="2">粒度範囲（呼び名）</th><th>4 0 ～ 0</th><th>3 0 ～ 0</th><th>2 0 ～ 0</th></tr><tr><th colspan="2">ふるい目の開き</th><th>(RM-40)</th><th>(RM-30)</th><th>(RM-25)</th></tr><tr><td rowspan="10">通過 質 量 百 分 率 (%)</td><td>5 3 mm</td><td>1 0 0</td><td></td><td></td></tr><tr><td>3 7 . 5 mm</td><td>9 5 ～ 1 0 0</td><td>1 0 0</td><td></td></tr><tr><td>3 1 . 5 mm</td><td>—</td><td>9 5 ～ 1 0 0</td><td>1 0 0</td></tr><tr><td>2 6 . 5 mm</td><td>—</td><td>—</td><td>9 5 ～ 1 0 0</td></tr><tr><td>1 9 mm</td><td>6 0 ～ 9 0</td><td>6 0 ～ 9 0</td><td>—</td></tr><tr><td>1 3 . 2 mm</td><td>—</td><td>—</td><td>5 5 ～ 8 5</td></tr><tr><td>4 . 7 5 mm</td><td>3 0 ～ 6 5</td><td>3 0 ～ 6 5</td><td>3 0 ～ 6 5</td></tr><tr><td>2 . 3 6 mm</td><td>2 0 ～ 5 0</td><td>2 0 ～ 5 0</td><td>2 0 ～ 5 0</td></tr><tr><td>4 2 5 μ m</td><td>1 0 ～ 3 0</td><td>1 0 ～ 3 0</td><td>1 0 ～ 3 0</td></tr><tr><td>7 5 μ m</td><td>2 ～ 1 0</td><td>2 ～ 1 0</td><td>2 ～ 1 0</td></tr></table> <p>〔注〕再生骨材の粒度は、モルタル粒などを含んだ解砕されたままの見かけの骨材粒度を使用する。</p>				粒度範囲（呼び名）		4 0 ～ 0	3 0 ～ 0	2 0 ～ 0	ふるい目の開き		(RM-40)	(RM-30)	(RM-25)	通過 質 量 百 分 率 (%)	5 3 mm	1 0 0			3 7 . 5 mm	9 5 ～ 1 0 0	1 0 0		3 1 . 5 mm	—	9 5 ～ 1 0 0	1 0 0	2 6 . 5 mm	—	—	9 5 ～ 1 0 0	1 9 mm	6 0 ～ 9 0	6 0 ～ 9 0	—	1 3 . 2 mm	—	—	5 5 ～ 8 5	4 . 7 5 mm	3 0 ～ 6 5	3 0 ～ 6 5	3 0 ～ 6 5	2 . 3 6 mm	2 0 ～ 5 0	2 0 ～ 5 0	2 0 ～ 5 0	4 2 5 μ m	1 0 ～ 3 0	1 0 ～ 3 0	1 0 ～ 3 0	7 5 μ m	2 ～ 1 0	2 ～ 1 0	2 ～ 1 0
粒度範囲（呼び名）		4 0 ～ 0	3 0 ～ 0	2 0 ～ 0																																																			
ふるい目の開き		(RM-40)	(RM-30)	(RM-25)																																																			
通過 質 量 百 分 率 (%)	5 3 mm	1 0 0																																																					
	3 7 . 5 mm	9 5 ～ 1 0 0	1 0 0																																																				
	3 1 . 5 mm	—	9 5 ～ 1 0 0	1 0 0																																																			
	2 6 . 5 mm	—	—	9 5 ～ 1 0 0																																																			
	1 9 mm	6 0 ～ 9 0	6 0 ～ 9 0	—																																																			
	1 3 . 2 mm	—	—	5 5 ～ 8 5																																																			
	4 . 7 5 mm	3 0 ～ 6 5	3 0 ～ 6 5	3 0 ～ 6 5																																																			
	2 . 3 6 mm	2 0 ～ 5 0	2 0 ～ 5 0	2 0 ～ 5 0																																																			
	4 2 5 μ m	1 0 ～ 3 0	1 0 ～ 3 0	1 0 ～ 3 0																																																			
	7 5 μ m	2 ～ 1 0	2 ～ 1 0	2 ～ 1 0																																																			
③ P I（塑性指数）	試験方法	J I S A 1 2 0 5「土の液性限界・塑性限界試験」に基づく。																																																					
	規格値	4 以下																																																					
④修正 C B R	試験方法	舗装試験法便覧 2－3－1「修正 C B R 試験方法」に基づく。																																																					
	規格値	8 0〔9 0〕%以上 ただし、簡易舗装の下層路盤に使用する場合は 6 0〔7 0〕%以上とする。 アスファルトコンクリート再生材を含む再生粒度調整碎石を用いる場合は、修正 C B R の基準値に〔 〕内の数値を適用する。なお、4 0℃で C B R 試験を行う場合は通常 の 値 を 満 足 す れ ば よ い。																																																					
⑤すり減り減量	試験方法	J I S A 1 1 2 1「ロサンゼルス試験機による粗骨材のすりへり試験」〔粒度は道路用碎石 S－1 3（13・5mm）のもの〕に基づく。																																																					
	規格値	5 0 % 以下																																																					
⑥骨材の安定性	試験方法	J I S A 1 1 2 2「硫酸ナトリウムによる骨材の安定性試験」に基づく。																																																					
	規格値	2 0 % 以下																																																					
⑦試験成績表	再生粒度調整碎石を使用する場合は、上記に掲げる②～⑥に関する試験成績表を使用前に提出しなければならない。ただし⑥については、再生材のみで製造されている場合は、提出は不要とする。 試験成績表は、工事で使用する日から 6 か月以内 の試験成績表を有効と見なす。																																																						

○再生コンクリート砂

セメントコンクリート塊から製造した再生コンクリート砂を基礎材に利用するにあたって、その用途を定め、品質基準を次のように規定する。

①使用用途	電線共同溝における管路及びます部の基礎材 下水道における管路の基礎材									
②粒度	試験方法は、J I S A 1 1 0 2「骨材のふるい分け試験」に基づき行い、最大粒径及び細粒分（75 μm以下）は以下のとおりとする。 <table><tr><th>用 途</th><th>最 大 粒 径</th><th>細 粒 分</th></tr><tr><td>電線共同溝における管路及びます部の基礎材</td><td>1 0 mm以下</td><td>5 0 %未満</td></tr><tr><td>下水道における管路部の基礎材</td><td>1 0 mm以下</td><td>1 0 %以下</td></tr></table>	用 途	最 大 粒 径	細 粒 分	電線共同溝における管路及びます部の基礎材	1 0 mm以下	5 0 %未満	下水道における管路部の基礎材	1 0 mm以下	1 0 %以下
用 途	最 大 粒 径	細 粒 分								
電線共同溝における管路及びます部の基礎材	1 0 mm以下	5 0 %未満								
下水道における管路部の基礎材	1 0 mm以下	1 0 %以下								
③不純物量の制限	ゴミや有機性不純物は含んではならない。									
④六価クロム溶出試験	平成3年8月23日付け環境庁告示第46号に規定される測定方法に基づき、あらかじめ土壌の汚染に係る環境基準に適合していなければならない。 各工事で1購入先当たり1検体の六価クロム溶出試験を行い、環境基準に適合することを確認しなければならない。その試験には、使用する再生砂を直接採取した試料を用い、試験を行うものとする。									
⑤試験成績表	再生コンクリート砂を使用する場合は、上記に掲げる②～④に関する試験成績表を使用前に提出しなければならない。 試験成績表は、工事で使用する日から <u>6か月以内</u> の試験成績表を有効と見なす。 六価クロム溶出試験は、プラントから提出される試験成績表と現場で採取した試料の試験成績表を提出しなければならない。									

○再生加熱アスファルト混合物

再生加熱アスファルト混合物の配合設計は、舗装再生便覧 平成22年版（社団法人 日本道路協会）に基づくものとする。

御所市公共下水道工事 家屋調査仕様書

総 則

1-1 適 用

1. この仕様書は、御所市が発注する公共下水道工事に伴い、「事前家屋調査に関する技術基準(調査対象判断基準)」に該当する家屋又は物件(以下「家屋等」という。)に与える影響に関する調査に適用する。
2. 調査は、工事受注業者(以下「受注者」という。)において、補償コンサルタント登録規定により事業損失部門に登録を行っている業者又はこれらと同等以上と認められる業者(以下「受託者」という。)に委託するものとし、その業務内容についてはこの仕様書に従い実施させるものとする。
3. この仕様書に記載されていない事項又は特殊な調査については、別途協議により検討するものとする。
4. 図面及び特記仕様書に記載された事項は、この仕様書より優先するものとする。

1-2 用語の定義

次に掲げる用語の定義は、土木工事共通仕様書に準ずるものとし当該各号に定めるところによる。

1. 監督員： 主任監督職員、監督職員を総称していう。受注者には主として主任監督職員、監督職員が対応する。
2. 指 示： 監督員が受注者に対し、工事の施工上必要な事項について書面をもって示し、実施させることをいう。
3. 承 諾： 契約図書で明示した事項について、発注者もしくは監督員または受注者が書面により同意することをいう。
4. 協 議： 書面により契約図書の協議事項について、発注者と受注者が対等の立場で合議し、結論を得ることをいう。

1-3 疑義に対する協議

仕様書等に記載された事項に解釈について疑義が生じたときは、監督員と協議しなければならない。

1-4 調査計画書

1. 受注者は、あらかじめ調査実施に必要な調査計画書を監督員に提出しなければならない。この場合、次の事項について記載する。
 - ・ 調査概要
 - ・ 実施工程表
 - ・ 調査組織表
 - ・ 調査方法
 - ・ 調査機器
 - ・ 調査管理
 - ・ 緊急時の体制
 - ・ その他
2. 調査計画書の内容に変更が生じ、その内容が重要な場合には、その都度変更に関連するものについて、変更計画書を提出しなければならない。
3. 監督員が特に指示した事項については、更に詳細な調査計画書を提出しなければならない。

1-5 諸法規の遵守

受注者及び受託者は、調査の実施にあたり、関連する諸法令及び諸法規を遵守し、調査の円滑な進捗を図るとともに、諸法令の運営適用は、受注者及び受託者の負担と責任で行わなければならない。

1-6 中立性の保持

受託者は、常にコンサルタントとしての中立性を保持するよう努めなければならない。

1-7 秘密の保持

受注者及び受託者は、業務の処理上知り得た秘密を他人に漏らしてはならない。

1-8 官公署等への手続き

1. 調査のため必要な関係官公署その他に対する諸手続きは、原則として受注者において迅速に処理しなければならない。
2. 必要な関係官公署その他に対して交渉を要するとき、又は、関係官公署その他から交渉を受けたときは、遅滞なくその旨を監督員に申し出て協議するものとする。

1-9 休日又は夜間における作業

受注者は、調査実施の都合上、休日又は夜間に作業を行う必要がある場合は、あらかじめ監督員に届け出なければならない。

1-10 主任技術者及び監理技術者

1. 受注者は、主任技術者及び監理技術者をもって秩序正しい業務を行わせるとともに、高度な技術を要する部門については、相当の経験を有する技術者を配備しなければならない。
2. 主任技術者及び監理技術者は、1級建築士若しくは2級建築士の資格を有する者又は相当の能力若しくは経験を有するものとする。
3. 主任技術者及び監理技術者は、業務の進捗を図るため十分な数の技術者を配備しなければならない。

1-11 成果品の確認

1. 受注者は、業務完了時に成果品の確認を行わなければならない。
2. 成果品の確認において、訂正を指示された箇所は、直ちに訂正し、指定期日までに納入しなければならない。
3. 業務完了後において、明らかに受託者の責めに負う業務の瑕疵が発見された場合、受注者は、直ちに当該業務の修正を行わなければならない。

1-12 報告書の提出

受注者は、別に示す様式により、指定の期日までにこの仕様書に示す関係書類を提出しなければならない。

1-13 引渡し

成果品の確認後、この仕様書に指定された提出書類一式を納品し、発注者への提出をもって業務の完了とする。

2-1 調査目的

工事施工箇所付近に隣接する家屋等に対して工事被害を与えたかどうかを正確に判断する資料を得るために、家屋等の状況を調査する。

2-2 調査の基本

この調査は、所有者等の財産に関するものであり、補償の基礎となるものであるから、正確かつ良心的に行うものとする。

2-3 調査のPR

受注者は、監督員の指示により調査内容を地元住民等に周知し、協力を求めるために必要な措置を講じるものとする。

2-4 調査用設備に必要な土地水面等

調査用設備に必要な土地・水面等は、受注者の責任において使用権を取得し、受注者の費用負担において使用するものとする。

2-5 調査内容の説明と了解

受注者は、監督員の指示により調査目的、調査項目、調査方法等を事前に当該土地、家屋等を管理する者及び居住者に通知し、了解を得なければならない。また、同意が得られないものにあつてはその理由を付して、監督員に報告しなければならない。

2-6 調査の立会

1. 調査を行う際に土地・家屋等に立ち入る場合には、当該土地・家屋等の所有者、居住者、管理者又はその代理人が立ち会った上で実施しなければならない。
2. 立ち入り調査は、日の出前及び日没後において行ってはならない。
3. 調査を実施する者は、身分を示す証明書を携帯し、立会人から請求があつたときは、速やかに提示する。

2-7 家屋等の調査

1. 家屋等に関する調査は、一棟ごとに行うものとする。
2. 同一の棟の中に異種又は異質の箇所が併存する場合は、それぞれ区別して調査するものとする。
3. 受注者は、調査中に家屋等に損害を与えた場合、直ちに復旧等の措置を施すものとする。

2-8 調査の内容

調査区域内にある家屋等の亀裂や傾斜等の変状を工事着手前に測定、スケッチ及び写真撮影により調査し、損傷部分の変化を把握するための調査を行うものとする。

2-9 外構・外柵調査(塀等)

外構・外柵調査とは、概略調査をいい、比較的工事による影響が少ないと判断される区域でこの仕様書に定める調査の項目及び方法を変更又は省略して行う調査をいう。

2-10 外部調査(建物)(外構・外柵調査(塀等)含む)

外部調査とは、概略調査をいい、比較的工事による影響が少ないと判断される区域でこの仕様書に定める調査の項目及び方法を変更又は省略して行う調査をいう。

2-11 内外部調査(建物)(外構・外柵調査～外部調査含む)

内外部調査とは、精密調査をいい、この仕様書に定める調査の区域、項目及び方法により行う調査をいう。

調 査

3-1 調査項目

調査項目は、原則として、次の項目について実施する。

- ・ 家屋等の全景
- ・ 外壁の亀裂
- ・ 内壁の亀裂
- ・ タイル張り部分の亀裂
- ・ 内壁と柱、又は回り縁との隙間
- ・ 柱、鴨居、又は敷居の傾斜
- ・ 建具の建付け状況
- ・ 犬走り、布基礎等の亀裂
- ・ 外構部分における亀裂
- ・ 家屋等の地盤等の水準測量
- ・ その他必要な箇所

(1) 家屋等の全景

調査対象家屋等が周辺家屋等と相対的にどういう位置にあり、家屋等の種類が何であるかわかるように、全景写真を撮る。また、工事との位置関係がわかるように写真撮影をする。

(2) 外壁の亀裂

外壁の亀裂、亀裂長の測定、写真撮影及びスケッチは、すべての亀裂について実施する。ただし、地表面より2m以上の高さにある亀裂については、測定のみ省略する。

(3) 内壁の亀裂

内壁の亀裂、亀裂長の測定、写真撮影及びスケッチは、すべての亀裂について実施する。ただし、床面より2m以上の高さにある亀裂については、測定のみ省略する。

(4) タイル張り部分の亀裂

玄関、浴室、便所等のタイル張り部分の亀裂については、亀裂幅、亀裂長を測定し、写真撮影及びスケッチを行う。タイルの目地切れの有無についても、調査を実施する。

(5) 内壁と柱又は回り縁との隙間

内壁と柱又は回り縁との隙間については、その間隔を測定し、写真撮影及びスケッチを行う。

(6) 柱、鴨居又は敷居の傾斜

柱、鴨居又は敷居の傾斜は、必ず、直交する二方向の傾斜状態を測定可能な箇所において測定し、写真撮影を行う。

(7) 建具の建付け状況

建具の建付状況について調査し、異常のあるものについては、その箇所及び柱又は窓枠との隙間間隔の測定を行い、写真撮影を行う。

(8) 犬走り、布基礎等の亀裂

犬走り、布基礎等の亀裂については、亀裂幅及び亀裂長を測定し写真撮影及びスケッチを行う。

(9) 外構部分における亀裂等

家屋等の周囲に位置する門、塀等について、亀裂幅及び亀裂長を測定し写真撮影及びスケッチを行う。

- (10) 家屋等の地盤等の水準測量
家屋等の基礎コンクリート又は基礎に固定する土間等の水準測量を行うものとする。
この点での測量が著しく困難な場合は、敷地地盤内に、これに代わる水準測点を設定する。なお、基準点は監督員の指示に従い、不動のベンチマークを設置する。
- (11) その他必要な箇所
その他必要な箇所には、屋根、植木等が含まれ、屋根については調査時点における雨漏れの有無を入居者に確認し、変状箇所を明示する。

3-2 調査方法

- (1) 亀裂幅
亀裂幅は、0.1mmの単位で測定する。原則として、最大の亀裂幅を測定するが、実際の作業を考慮して亀裂の分岐点とか、亀裂の折れ曲がり点などで測定してもよい。
- (2) 亀裂長
亀裂長は、亀裂の発生端と先端との直線距離を1cmの単位で測定し、この直線距離をもって亀裂長とする。なお、亀裂の先端位置は、明確に捕らえることが難しいため、亀裂発生面から約1m離れた位置か肉眼で認められる点を先端位置とする。
- (3) 隙間間隔
内壁と柱又は回り縁などの隙間は、原則として、最大隙間間隔1mmの単位で測定する。
- (4) 柱の傾斜
柱の鉛直方向1mについての傾斜を1mmの単位で測定し、傾斜方向を示し、直交する二方向について測定を行う。
- (5) 鴨居又は敷居の傾斜
鴨居又は敷居の水平傾斜度は、気泡式水準器で、右下がり又は左下がり測定し、気泡の位置によって傾斜の程度を記録する。
- (6) 建付け状況
建具の建付け状況は、建具の閉じた状態で、窓枠、柱との隙間間隔を建具の上端又は下端を1mmの単位で測定する。
- (7) 水準測量
一戸につき、最低2箇所以上を1mmの単位で測定する。

3-3 写真撮影

1. 撮影

撮影はフィルムカメラまたは、デジタルカメラとする。デジタルカメラを使用する場合は、改ざん防止メディア(例:SD WORMカード[書き込みは1回限り、読み取りは何度でも可能])を使用するものとし、その際は、あらかじめ監督職員の承諾を受けてから使用するものとする。

2. 写真

フィルムは、カラー35mmを使用し、写真は標準サイズとする。また、デジタルカメラを使用して撮影する場合は、有効画素数は500万画素以上を基本とし、写真は写真用紙にカラーサービス判(L判)で焼付したものとし、その際は、あらかじめ監督職員の承諾を受けてから使用するものとする。

3. 撮影項目

撮影対象物は、3-1の調査項目とし、変状の有無にかかわらず写真撮影を行う。

4. 撮影方法

写真撮影は、撮影箇所が明確に判断できるように、黒板に工事名、対象家屋等、調査年月日、撮影箇所、変状内容等を明示し、撮影する。ただし、上記方法により撮影し難い場合においては、写真説明書に代えることができる。

3-4 結果の記入

1. 間取り平面図

間取り平面図は、縮尺1/100程度で描き、原則として、次の項目を記入する。

- ・ 調査件名
- ・ 調査家屋番号
- ・ 測定位置番号
- ・ 測定値及び方向
- ・ 写真撮影の位置
- ・ 水準測定位置

2. スケッチ

スケッチは、写真撮影を補足するために実施する事ができる。

3. 測定結果の記入

亀裂長、隙間等の測定箇所及び写真撮影を実施した位置を平面図等に記入する。

また、変状内容(測定差)については、損傷箇所内訳書、垂直・水平測定表、水準測定表に記入することもある。

報告

4-1 報告書の様式

1. 報告書の大きさ

報告書の大きさは、A4版とする。

2. 装丁

報告書(正)の装丁は、一括製本として表紙・インデックスを付け整理し、左とじとする。

報告書(副)の装丁は、1件(1棟)ごとに表紙を付け整理し、左とじとする。

4-2 報告書の内容

報告書は、次の図書を含むものとする。

- ・ 調査報告書
- ・ 調査家屋等一覧表及び配置図
- ・ 家屋等調査表
- ・ 水準測定表
- ・ 家屋等調査図
- ・ 写真説明書及び記録写真
- ・ 打合せ簿

(1) 調査報告書(様式1-1(正)、1-2(副))

調査件名、整理番号等、調査年月日、工事施工業者名を記述する。

(2) 調査家屋等一覧表及び配置図(様式2-1, 2-2)

調査家屋等配置図を1:500~1:1,000程度の縮尺で描き、家屋調査番号及び家屋等の所有者名と居住者名を記入する。

(3) 家屋等調査書

家屋等調査書は、家屋等の所有関係、家屋等の概要、変状、所見等を記載し、原則として所有者又は居住者の調査時の確認印を付する。

- ・ 家屋等調査表(様式3-1)
- ・ 損傷箇所内訳書(様式3-2)
- ・ 垂直・水平測定表(様式3-3)

(4) 水準測定表(様式4)

測定年月日、水準測定、測定値等を一覧表に作成する。

(5) 家屋等調査図

測定及び撮影位置、傾斜測定位置、水準測定点等を記入した平面図等の図面を作成する。

- ・ 外構・外柵調査(塀等)(様式5-1)
- ・ 外部調査(建物)(外構・外柵調査(塀等)含む)(様式5-2)
- ・ 内外部調査(建物)(外構・外柵調査～外部調査含む)(様式5-3)

損傷箇所 ①～

垂直・水平測定 A～

水準測定 1/L ～

(6) 写真説明書及び記録写真(様式8)

1軒ごとに現況写真を付し、写真番号、撮影箇所、状況内容を記入する。

4-3 提出部数

報告書の提出部数は、製本2(正・副各1部)部とし、原図、ネガ等に加え、デジタルデータもあわせて、提出する。なお、報告書提出時には、報告書収納に必要な保管箱を添えて納品すること。

5. 井戸調査

1) 調査目的

御所市の公共下水道工事に伴い、周辺の家屋等について、井戸の有無・利用状況を聞き取りの上、井戸事前調査を行うことにより、同井戸の現況を把握する為の基礎資料を作成するものである。

当該工事期間中あるいは当該工事後に於いて、近隣住民より被害の申し出がなされた場合に即対応する為のものである。

2) 調査内容

1. 調査範囲

近隣家屋事前調査対象家屋全てにおいて範囲とするが、調査範囲外であっても監督員と協議の上、実施することができるものとする。

2. 調査内容

1) 井戸調査表

調査先名・調査日・所有者名・使用状況・用途・水位・水深
形状等を井戸調査表に記入する。(様式6)

2) 水質調査

用途で飲料水で使用されている井戸については、飲料水に
適合否かの検査を実施する。(10項目程度)
ただし、飲料水以外でも監督員と協議の上、水質検査実施する場合がある。

3. 井戸調査項目

- 1) 家屋の全景（写真撮影）
- 2) 井戸外部の現況（写真撮影）
- 3) 井戸内部の現況（写真撮影）
- 4) 電動ポンプの現況（写真撮影）
- 5) 井戸の使用用途（井戸調査表）
- 6) 井戸の形状測定（井戸調査表）
- 7) 井戸の水位測定（井戸調査表）

4. 調査報告書等の作成

- 1) 調査対象位置図
- 2) 井戸調査表（様式6）
- 3) 井戸位置平面図（様式7）
- 4) 写真集

5. むすび

本業務は、前記工事着工前の各井戸現況を把握し得るのみならず、事後調査結果と比較することにより工事施工期間中に生じた変化を検証し得るものである。

管渠内テレビカメラに関する特記仕様書

管渠内テレビカメラ調査

1. 調査にあたっては、管渠内を洗浄し、精度を高めるよう努めること。
2. 本管の調査は、原則として上流から下流に向け、テレビカメラを移動させながら行うこと。
3. 本管の調査にあたっては、管の破損、継手部の不良、クラック、取付管口等に十分注意しながら、全区間カラー撮影し、DVD等に収録すること。
取付管口、本管継手部、異常箇所等の必要箇所については、側視撮影を行うこと。
4. 異常箇所が認められた場合は、改善及び調査を必要とする。
5. 提出する成果品は次のとおりとする。
 - ①動画（DVD等の記録媒体）
 - ②報告書
 - ③その他監督員の指示するもの

御所市下水道工事

標 準 仕 様 書

平 成 2 6 年 1 0 月

御 所 市

都 市 整 備 課

[1] 管きょ工（開削）

（1）管きょ土工

1. 準備工

①管きょ工（開削）の施工にあたり、工事着手前に施工場所の土質、地下水の状況、地下埋設物、危険箇所、その他工事に係わる諸条件を十分調査し、その結果に基づき現場に適応した施工計画を作成して**監督職員に提出**しなければならない。

2. 管きょ掘削工

①管路掘削の施工にあたり、特に指定のない限り地質の硬軟、地形及び現地の状況により安全な工法をもって、設計図書に示した工事目的物の深さまで掘り下げなければならない。

②床掘り箇所の湧水及び滞水などは、ポンプあるいは排水溝を設けるなどして排除しなければならない。

③構造物及び埋設物に近接して掘削するにあたり、周辺地盤の緩み、沈下等の防止に注意して施工し、必要に応じ、当該施設の管理者と協議のうえ防護措置を行わなければならない。

3. 管きょ埋戻工

①埋戻し材料について、良質な土砂又は設計図書で指定されたもので監督職員の承諾を得たものを使用しなければならない。

②埋戻しの施工にあたり、管の両側より同時に埋戻し、管きょその他の構造物の側面に空隙を生じないように十分突固めなければならない。また、**管の周辺及び管頂30cm**までは特に注意して施工しなければならない。

③埋戻しを施工するにあたり、設計図書に基づき、各層所定の厚さ毎に両側の埋戻し高さが均等になるように、**必ず人力及びタンパ等**により十分締固めなければならない。また、一層の仕上がり厚は、**30cm以下を基本**として埋戻さなければならない。

④埋戻し箇所に湧水及び滞水がある場合は、施工前に排水しなければならない。

⑤埋戻しの施工にあたり、土質及び使用機械に応じた適切な含水比の状態で行わなければならない。

⑥埋戻し土の締固め試験を実施する。埋戻し土の締固度は90%以上を基準とする。試験箇所、試験頻度、試験方法は設計図書に示したとおりである。

4. 発生土処理工

①生土処分にあたり、発注者の指定した場所に運搬、処分する。指定のない場合は、捨場所、運搬方法、運搬経路等の計画書を作成し、監督職員に提出しなければならない。現場に管を保管する場合には、第三者が保管場所に立ち入らないよう柵等を設けるとともに、倒壊等が生じないように十分な安全対策を講じなければならない。

(2) 管布設工

1. 管等の保管

- ①現場に管を保管する場合には、第三者が保管場所に立ち入らないよう柵等を設けるとともに、倒壊等が生じないように十分な安全対策を講じなければならない。
- ②硬質塩化ビニル管を保管するときは、シート等の覆いをかけ、管に有害な曲がりやそりが生じないように措置しなければならない。
- ③接着剤、樹脂系接合剤、滑剤、ゴム輪等は、材質の変質を防止する措置をとらなければならない。

2. 管布設 (硬質塩化ビニル管)

- ①管の布設にあたり、上流の方向に受け口を向け、他方の管端を既設管に密着させ、中心線、勾配及び管底高を保ち、かつ漏水・不陸・偏心等が生じないように施工しなければならない。
- ②ゴム輪接合においてゴム輪が正確に溝に納まっているかを確認し、ゴム輪がねじれていたりはみ出している場合は、正確に再装着しなければならない。
- ③ゴム輪接合用滑剤をゴム輪表面及び差口管に均一に塗り、管軸に合わせて差口を所定の位置まで挿入し、ゴム輪の位置、ねじれ、はみ出しがないかチェックゲージ（薄板ゲージ）で確認しなければならない。また、管の挿入については、挿入機またはてこ棒を使用しなければならない。
- ④滑剤には、ゴム輪接合専用滑剤を使用し、グリス、油等を用いてはならない。
- ⑤接着接合においては、差込み深さの印を直管の外面に付けなければならない。
- ⑥接着接合において、接着剤を受口内面及び差口外面の接合面に塗りもらしなく均一に素早く塗らなければならない。

⑦接着剤塗布後は、素早く差口を受口に挿入し、所定の位置まで差込み、そのまま暫く保持する。なお、呼び径200以上は原則として挿入機を使用しなければならない。かけや等による叩込みはしてはならない。

3. 管布設（リブ付き硬質塩化ビニル管）

①ゴム輪が正確に挿入管の端面から第2番目と第3番目のリブの間に納まっているか確認し、ゴム輪がねじれていたり、はみ出している場合は、ゴム輪を外し溝及びゴム輪を拭いてから正確に再装着しなければならない。

②ゴム輪接合に使用する滑剤は硬質塩化ビニル管用滑剤を使用し、グリス、油等はゴム輪を劣化させるので使用してはならない。

③ゴム輪接合用滑剤をゴム輪表面及び差し口に均一に塗り、管軸に合わせて差込口を所定の位置まで挿入しなければならない。差込は原則として挿入機を使用しなくてはならない。ただし、呼び径300以下はてこ棒を使用してもよい。また挿入する時、たたき込みなど衝撃的な力を加えてはならない。

4. 管の切断・せん孔

①硬質塩化ビニル管を切断・せん孔する場合、寸法出しを正確に行い、管軸に直角に標線を記入して標線に沿って、切断・せん孔面の食違いを生じないようにしなければならない。なお、切断・せん孔面に生じたばりや食違いを平らに仕上げるとともに、管端内外面を軽く面取りし、**ゴム輪接合の場合は、グラインダー・やすり等を用いて規定（15～30度）の面取りをしなければならない。**

5. 埋設標識テープ

①本管の埋戻しに際し、設計図書に基づき、管の上部に埋設標識テープを布設しなければならない。埋設標識テープは埋戻し及び締固めを行った後、マンホールからマンホールまで切れ目なく布設しなければならない。

②埋設位置は、管頂から50cm上方を標準とする。

③埋設標識テープの材質、寸法、標語等は監督職員の承諾を得ること。

6. マンホール削孔接続

- ①マンホールに接続する管の端面を内壁に一致させなければならない。
- ②既設部分への接続に対しては必ず、既設管底高及びマンホール高を測量し、設計高との照査を行い監督職員に報告しなければならない。
- ③既設マンホールその他地下構造物に出入りする場合には、必ず事前に滞留する有毒ガス、酸素欠乏等に対して十分な調査を行わなければならない。

(3) 管基礎工

1. 砂基礎

- ①砂基礎を行う場合、設計図書に示す基礎用砂を所定の厚さまで十分締固めた後管布設を行い、さらに砂の敷均し、締固めを行わなければならない。なおこの時、砂は管の損傷、移動等が生じないように投入し、管の周辺には空隙が生じないように締固めなければならない。

2. 碎石基礎

- ①碎石基礎を行う場合、あらかじめ整地した基礎面に碎石を所定の厚さに均等に敷均し、十分に突固め所定の寸法に仕上げなければならない。

(4) 管きょ土留工

1. 軽量鋼矢板土留

- ①矢板は、余堀りをしないように堀削の進行に合わせて垂直に建込むものとし、矢板先端を堀削面下**20cm程度貫入**させなければならない。
- ②バックホウの打撃による建込み作業は行ってはならない。
- ③矢板と地山の間隙は、砂詰め等により裏込めを行わなければならない。
- ④建込みの法線が不揃いとなった場合は、一旦引抜いて再度建込むものとする。
- ⑤矢板を引抜くときは、埋戻しが完了した高さだけ引抜くこと。
- ⑥矢板の引抜き跡については、沈下など地盤の変状を生じないよう空洞を砂等で充填しなければならない。

2. 支保土

①土留支保工は、掘削の進行に伴い設置しなければならない。

②土留支保工は、土圧に十分耐えうるものを使用し、施工中に緩みが生じて落下することのないよう施工しなければならない。

(5) 開削水替工

①工事区域に湧水、滞水等がある場合は、現場に適した設備、方法により排水をしなければならない。

②工事により発生する濁水を関係法令等に従って、濁りの除去等の処理を行った後、放流しなければならない。

③周辺に井戸等がある場合には、状況の把握に努め被害を与えないようにしなければならない。
施工期間を通して、**井戸の水位調査**をすること。**水位低下が認められる場合には適切な措置**をとり、その結果を**監督職員へ報告**しなければならない。

④河川あるいは下水道等に排水する場合においては、工事着手前に、**河川法、下水道法**の規定に基づき、当該管理者に届出あるいは許可を受けなければならない。

[2] 管きょ工（小口径推進）

（1）小口径推進工

1. 準備工

①推進工の施工にあたり、工事着手前に施工場所の土質、地下水の状況、地下埋設物、危険箇所、その他工事に係わる諸条件を十分調査し、その結果に基づき現場に適応した施工計画を作成して**監督職員に提出**しなければならない。

2. 推進管の保管

- ①推進管の運搬、保管、据付けの際、管に衝撃を与えないように注意して取扱わなければならない。
- ②現場に管を保管する場合には、第三者が保管場所に立入らないよう柵等を設けるとともに、倒壊等が生じないよう十分な安全対策を講じなければならない。
- ③管の吊おろしについては、現場の状況に適応した安全な方法により丁寧に行わなければならない。

3. 掘進機

- ①掘進機について掘進路線の**土質条件に適応する**形式を選定しなければならない。
- ②基本的に位置・傾きを正確に測定でき、**容易に方向修正が可能な掘進機**を使用しなければならない。
- ③掘進機は、変形及び磨耗の少ない堅牢な構造のものでなければならない。

4. 計測

- ①小口径掘進機を推進管の計画管底高及び方向に基づいて設置しなければならない。
- ②掘進中常に掘進機の方向測量を行い、**掘進機の姿勢を制御**しなければならない。
- ③掘進時には**設計図書に示した管底高・方向等計画線の維持**に努め、管の蛇行・屈曲が生じないように測量を行わなければならない。
- ④計画線に基づく上下・左右のずれ等について計測を行い、**その記録を監督職員に提出**しなければならない。

5. 掘進管理

- ①掘進機の運転操作に従事する技能者は、豊富な実務経験と知識を有し熟知した者でなければならない。
- ②掘進機の操作に当たり、適切な運転を行い、**地盤の変動**には特に留意しなければならない。
- ③掘進管理において地盤の特性、施工条件等を考慮した**適切な管理基準を定めて**行わなければならない。

6. 管の接合

- ①管の接合にあたり、管の規格にあった接合方法で接合部を十分に密着させ、接合部の**水密性を保つ**ように施工しなければならない。

7. 滑剤注入

- ①滑材注入にあたり、注入材料の選定と注入圧及び注入量の管理に留意しなければならない。

8. 泥水推進工

- ①泥水推進工着手前に推進位置の土質と地下水位を十分把握して、適した泥水圧を選定しなければならない。

9. 発生土処理

- ①発生土、泥水及び泥土（建設汚泥）処分にあたり、発注者の指示した場所に運搬、処分する。
- ②特に指定のない場合は、捨場所、運搬方法、運搬経路等の計画書を作成し、監督職員に提出しなければならない。
- ③発生土、泥水及び泥土（建設汚泥）については**関係法令に基づき**適正に処分しなければならない。

（2）仮設備工

1. 鏡切り

- ①鏡切りの施工にあたり、**切羽部の地盤の安定を確認**した後、地山崩壊に注意し、慎重に作業しなければならない。

2. 推進設備

- ①油圧及び電気機器について十分能力に余裕あるものを選定するものとし、**常時点検整備**に努め故障を未然に防止しなければならない。
- ②推進延長に比例して増加する**ジャッキ圧の測定等**についてデータシートを**監督職員に提出**しなければならない。

(3) 送排泥設備工

1. 送排泥設備

- ①切羽の安定、送排泥の輸送等に必要な容量の送排泥ポンプ及び送排泥管等の設備を設けなければならない。
- ②**送排泥管に流体の流量を測定できる装置**を設け、掘削土量及び切羽の逸水等を監視しなければならない。
- ③送排泥ポンプの回転数、送泥水圧及び送排泥流量を監視し、十分な運転管理を行わなければならない。

(4) 汚泥処理設備工

1. 泥水処理設備

- ①掘削土の性状、掘削土量、作業サイクル及び立地条件等を十分考慮し、泥水処理設備を設けなければならない。
- ②泥水処理設備を常に監視し、泥水の処理に支障をきたさないよう運転管理に努めなければならない。
- ③泥水処理設備の管理及び処理にあたり、**周辺及び路上等の環境保全に留意**し必要な対策を講じなければならない。

2. 泥水運搬処理

- ①凝集剤は有害性のない薬品を使用しなければならない。
- ②凝集剤を使用する場合は土質成分に適した材質、配合のものとし、**その使用量は必要最小限にとどめ**なければならない。

③泥水処理された土砂を、運搬が可能な状態にして搬出しなければならない。

④**余剰水**は関係法令等に従い、必ず**規制基準値内**となるよう水質環境の保全に十分留意して処理しなければならない。

[3] マンホール工

(1) 組立マンホール工

1. 組立マンホール

- ①マンホールの設置位置は、設計図書に示された事項をもとに、決定しなければならない。
位置決定に際し、**監督職員の承諾**を得ること。
- ②マンホール天端の仕上り高さ及び勾配は、道路または敷地の**表面勾配に合致する**よう仕上げなければならない。
- ③マンホールの据付けにあたり、部材間が**密着する**よう施工しなければならない。
- ④ブロックの据付けにあたり、**内面を一致させ垂直に**据付けなければならない。また、据付け前にブロック相互の接合面を清掃し、**止水用シール材**の塗布あるいは設置を行わなければならない。
- ⑤マンホール蓋の高さの調整にあたり、**調整リング**、調整金具等で行い、調整部のモルタルは、十分充填しなければならない。
- ⑥組立マンホールの削孔は、原則として**製造工場**で行わなければならない。これにより難しい場合は**監督職員と協議**しなければならない。
- ⑦組立マンホールの削孔位置は、流出入管の管径、流出入数、流出入角度、落差等に適合するように定めなければならない。
- ⑧削孔は、**躯体ブロック及び直壁ブロック**に行うものとし、斜壁ブロックに削孔してはならない。
- ⑨マンホールに取付ける管の軸方向の中心線は、原則としてマンホールの中心に一致させなければならない。
- ⑩マンホールに取付ける管は、**管の端面を内壁に一致させ**なければならない。
- ⑪管体とマンホール壁体の接続部分には**可とう継手**を使用する。丁寧に施工し漏水のないよう仕上げなければならない。

2. インバート工

- ①インバートの施工は、管取付け部、底部及び側壁部より**漏水が生じないことを確認**した後、行わなければならない。
- ②インバートは、流入下水流れに沿う線形とし、表面は汚物等が付着、停滞せず流れるよう、接続管の管径、管底に合わせて**滑らかに仕上げ**なければならない。
- ③インバートは、**管径の1/2を超えない高さ**を標準とする。

3. 副管工

- ①副管の取付けにあたり、本管のせん孔は、クラックが入らないよう丁寧に施工し、また管口、目地等も本管の施工に準じて施工しなければならない。
- ②副管の本管への接合は、**管端が突出しない**よう注意しなければならない。
- ③副管の設置は**鉛直**に行わなければならない。
- ④段差が**60cm**以上のときは、流量に応じた副管を設置する。
- ⑤副管設置の**詳細図を作成**し監督職員の承諾を得ること。

(2) 小型マンホール工

1. 組立マンホール

- ①マンホールの設置位置は、設計図書に示された事項をもとに、決定しなければならない。
位置決定に際し、**監督職員の承諾**を得ること。
- ②マンホール天端の仕上り高さ及び勾配は、道路または敷地の**表面勾配に合致する**よう仕上げなければならない。
- ③基礎工は、マンホール本体に**歪みや沈下が生じない**ように施工しなければならない。
- ④据付けは、本管の勾配、軸心及び高さ、インバート部の勾配を考慮して施工しなければならない。
- ⑤インバート部と立上り部及び本管との接合にあたっては、接合時にマンホール本体が移動しないよう注意して施工しなければならない。

〔４〕 取付管及びます工

（１） ます設置工

１． ます

- ① ますの設置位置について、**監督職員の承諾**を得なければならない。
- ② ます設置工の施工について、安全かつ効率的な施工方法について検討の上、施工計画書に明記し監督職員に提出しなければならない。
- ③ ますの深さを決定する場合、宅地の奥行き・宅地の地盤高等を調査しなければならない。
- ④ ますの深さを決定する場合、御所市が定める排水管の内径及び勾配を遵守すること。

（２） 取付管布設工

１． 取付管

- ① 取付管布設工の施工については、工事着手前に公共下水道使用者と十分打合せて位置を選定しなければならない。
- ② 地下埋設物等の都合により設計図書で示す構造をとり難い場合は、**監督職員の指示**を受けなければならない。
- ③ 取付管と**本管の接合部**及び取付管と**ますの接合部**は、接合前に必ず汚泥等を除去し清掃しなければならない。
- ④ 取付管とますとの接続は、取付管の管端をますの**内面に一致**させ、突出してはならない。接合部は、モルタル、特殊接合剤等で充填し漏水がないよう仕上げること。
- ⑤ 取付管と施工について、安全かつ効率的な施工法について検討のうえ、施工計画書に明記し監督職員に提出しなければならない。
- ⑥ 取付管の**最小管径は１５０mm**とする。
- ⑦ 取付管は本管の**中心より上方４５度**付近に取り付ける。
- ⑧ 本管と取付管の接合は**可とう支管継手**を用いる。継手の仕様は**監督職員の承諾**を得ること。
- ⑨ 取付管は自在曲管を用いて勾配の調整をすること。

[5] 道路復旧工

(1) 舗装工

1. 材料

①アスファルト舗装工に使用する材料について、以下は**設計図書**によるものとする。

- ・ 表層・基層に使用する**アスファルト及びアスファルト混合物**の種類
- ・ 粒度調整路盤材の最大粒径

②以下の材料の**試料及び試験結果**を、工事に使用する前に**監督職員に提出**しなければならない。ただし、これまでに使用実績があるものを用いる場合は、その試験成績表を**監督職員が承諾**した場合はこの限りでない。

- ・ 表層・基層に使用する**アスファルト及びアスファルト混合物**の種類
- ・ 粒度調整路盤材の最大粒径

③以下の材料の品質証明書を**監督職員に提出**しなければならない。

- ・ 表層・基層に使用する**アスファルト**
- ・ プライムコート及びタックコートに使用する瀝青材料

④アスファルト舗装の基層及び表層に再生アスファルトを使用する場合、以下の規定に従わなければならない。

- ・ プラントで使用する**再生用添加剤の種類**については、**監督職員の承諾**を得ること。
- ・ 再生用添加剤は、**アスファルト系又は石油潤滑油系**とする。

⑤基層及び表層に使用する**骨材**は、碎石、玉砕、砂利、製鋼スラグ、砂及び再生骨材とする。

⑥基層及び表層に使用する**細骨材**は、天然砂、スクリーニングス、高炉水砕スラグ、クリンカーアッシュ、またはそれらを混合したものとする。

⑦基層及び表層に使用する**フィラー**は、石灰岩やその他の岩石を粉砕した石粉、消石灰、セメント、回収ダスト及びフライアッシュ等とする。

⑧密粒度アスファルトの骨材の最大粒径は**車道部 20 mm**、**歩道部及び車道部のすりつけ舗装は 20 mm または 13 mm**とする。

2. 舗装撤去工

- ①**設計図書**に示された断面となるように、既設舗装を撤去しなければならない。
- ②既設舗装の撤去によって周辺の舗装や構造物に影響を及ぼす懸念がもたれた場合や、計画撤去層より下層に**不良部分が発見**された場合は、その処置方法について速やかに**監督職員と協議**しなければならない。

3. アスファルト舗装工

- ①粒度調整路盤材の敷均しにあたり、**材料の分離に注意**して敷均し、締固めはマカダムローラ、タイヤローラを用いて締固めなければならない。
- ②加熱アスファルト混合物の粒度及びアスファルト量の決定にあたり、**設計配合**を行い**監督職員の確認**を得なければならない。ただし小規模工事においては、これまでの実績または定期試験による配合設計書の**提出**により配合設計を省略することができる。
- ③舗設に先立って、**設計配合に従い**試験練りを行わなければならない。ただし小規模工事においては、これまでの実績または定期試験による試験練り結果報告書の**提出**により試験練りを省略することができる。
- ④表層及び基層の加熱アスファルト混合物の**基準密度の決定**にあたり、小規模工事においては、実績や定期試験で得られている**基準密度の試験結果を提出**することにより、基準密度試験を省略することができる。
- ⑤表層工及び基層工の施工にあたり、プライムコート及びタックコートの使用量は設計図書によるものとする。
- ⑥プライムコート及びタックコートの散布にあたり、縁石等の構造物を汚さないようにしながら、**アスファルトディストリビュータ**または**エンジンブレーヤ**で均一に散布しなければならない。
- ⑦プライムコート施工後、交通を開放する場合は、瀝青材料の車輪への付着を防ぐため、粗目砂等を散布しなければならない。
- ⑧加熱アスファルト混合物の敷均しにあたり、敷均し機械は施工条件に合った機種のアスファルトフィニッシャーを選定すること。
- ⑨加熱アスファルト混合物の舗設作業を監督職員が承諾した場合を除き、気温が5℃以下の時は施工してはならない。
- ⑩加熱アスファルト混合物の締固めにあたり、締固め機械は施工条件に合ったローラを選定しなければならない。

- ⑪加熱アスファルト混合物を敷均した後、ローラにより締固めなければならない。
- ⑫加熱アスファルト混合物をローラによる締固めが不可能な箇所は、タンパ、プレート、コテ等で締固めなければならない。
- ⑬監督職員の指示による場合を除き、舗装表面温度が50℃以下になってから交通開放を行わなければならない。
- ⑭加熱アスファルト混合物の初期締固め温度は110℃以上でなければならない。
- ⑮表層施工後3メートルプロフィルメーター等を使用し、道路の平坦性試験を実施しなければならない。車道及び側帯の舗装路面の施工直後の平坦性の規格値は**2.4mm**以下とする。

位置図

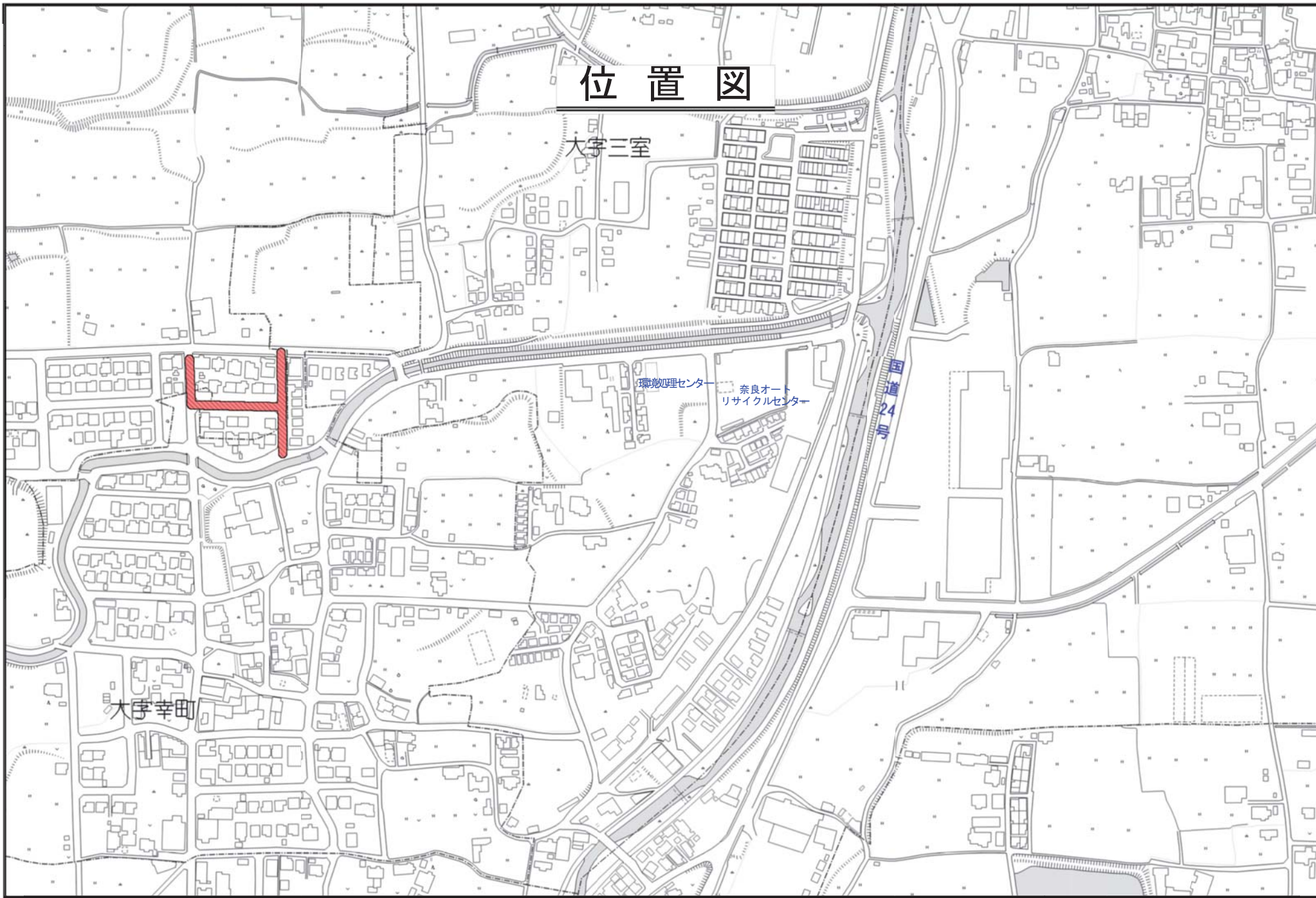
大字三室

環境センター

奈良オート
リサイクルセンター

国道24号

大字幸町



令和7年度

実施設計書

(当 初)

御所市

部長				課長				課長補佐				主任					検算				設計			
作成年月日											工 事 概 要	当 初				変 更								
工 事 名		御所污水9号幹線9工区 管路築造工事										[全体] 工事延長 L=216.2m												
工 事 番 号		都整第 号										開 削 工 PRP φ 200mm L=210.8m 人 孔 工 1号組立MH n= 6.0㍎ 取付管工 L=104.1m 污水枳工 n= 20.0㍎ 付 帯 工 一式												
路線・河川名																								
工 事 箇 所		御所市 幸町 地内																						
当初設計金額 (変更前)		円									当初請負金額 (変更前)		円											
変更設計金額 (変更後)		円									変更請負金額 (変更後)		円											
変更請負金額 計 算 式		(請 負 率) 当初請負額 ÷ 当初設計額 = 円÷ 円=																						
		(変 更 価 格) 変更設計工事価格×請負率 = 円× = 円																						
		(変 更 消 費 税 等 相 当 額) 変更価格 × 0.1 = 円× = 円																						
		(変 更 契 約 額) 変更価格+変更消費税等相当額= 円+ 円= 円																						

事 務 所 名	御所市	単価適用年月	令和 7年 4月
課 名・係 名	都市整備課	歩掛適用年月	令和 7年 4月
単 価 地 区	4 地区	損料適用年月	令和 7年 4月
適 用 工 種	下水道工事（2）	諸経費適用年月	令和 7年 4月
調 整 区 分	本附	一般管理費 前払	補正を行わない
施工地域区分	補正を行わない	契 約 保 証	補正しない
現場環境改善費	計上しない		
変 更 理 由	<div>-----</div> <div>-----</div> <div>-----</div> <div>-----</div>		

事業費総括表

費目	金額	摘要
事業費		
工事費		
本工事費		別紙内訳書のとおり
測量及び試験費		
補償費		
用地費		
機械器具費		
営繕費		
工事雑費		
応急工事費		
事務費		

令和7年度

実施設計書

(当 初)

御所市

部長				課長				課長 補佐				主任					検算				設計			
作成年月日											工 事 概 要	当 初				変 更								
工 事 名		御所污水9号幹線9工区 管路築造工事										[補助] 工事延長 L=173.2m												
工 事 番 号		都整第 号										開 削 工 PRP φ 200mm L=168.7m 人 孔 工 1号組立MH n= 5.0㍓ 取付管工 L= 95.5m 污水枳工 n= 18.0㍓ 付 帯 工 一式												
路線・河川名																								
工 事 箇 所		御所市 幸町 地内																						
当初設計金額 (変更前)		円									当初請負金額 (変更前)		円											
変更設計金額 (変更後)		円									変更請負金額 (変更後)		円											
変更請負金額 計 算 式		(請 負 率) 当初請負額 ÷ 当初設計額 = 円÷ 円=																						
		(変 更 価 格) 変更設計工事価格×請負率 = 円× = 円																						
		(変 更 消 費 税 等 相 当 額) 変更価格 × 0.1 = 円× = 円																						
		(変 更 契 約 額) 変更価格+変更消費税等相当額 = 円+ 円= 円																						

事 務 所 名	御所市	単価適用年月	令和 7年 4月
課 名・係 名	都市整備課	歩掛適用年月	令和 7年 4月
単 価 地 区	4 地区	損料適用年月	令和 7年 4月
適 用 工 種	下水道工事（2）	諸経費適用年月	令和 7年 4月
調 整 区 分	本附	一般管理費 前払	補正を行わない
施工地域区分	補正を行わない	契 約 保 証	補正しない
現場環境改善費	計上しない		
変 更 理 由	<div>-----</div> <div>-----</div> <div>-----</div> <div>-----</div>		

設計内訳書（本工事）

工事番号： 都整第 号

工事名	御所汚水9号幹線9工区 管路築造工事				事業区分 工事区分	下水道 管路	
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
管路							レベル1
			式	1			
管きょ工(開削)＜PRP φ200mm＞							レベル2
			式	1			
管路土工							レベル3
			式	1			
管路掘削							単 1 号
			m3	385.7			
管路埋戻							単 2 号
			m3	291.6			
発生土処理							単 3 号
			m3	385.7			
管布設工							レベル3
			式	1			
リフ付硬質塩化ビニル管	PRP φ200mm						単 4 号
			m	168.7			
伸縮可とう継手(管)							単 5 号
			箇所	10			
埋設標識テープ							単 6 号
			m	168.0			
管基礎工							レベル3
			式	1			

設計内訳書（本工事）

工事番号： 都整第 号

工事名	御所污水9号幹線9工区 管路築造工事				事業区分 工事区分	下水道 管路
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
砕石基礎 土留路線						単 7 号
		m	168.0			
管路土留工						レベル3
		式	1			
アルミ矢板土留 h=3.0m						単 8 号
		m	133.8			
アルミ矢板土留 h=3.5m						単 9 号
		m	38.5			
開削水替工						レベル3
		式	1			
開削水替						単 10 号
		日				
マンホール工						レベル2
		式	1			
組立マンホール工						レベル3
		式	1			
組立1号マンホール	T-14					単 11 号
		箇所	5			
底部工 1方						単 12 号
		箇所	3			
底部工 2方						単 13 号
		箇所	2			

設計内訳書（本工事）

工事番号： 都整第 号

工事名	御所汚水9号幹線9工区 管路築造工事				事業区分 工事区分	下水道 管路
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
内副管	スリムタイプ φ150mm					単 14 号
		箇所	2			
取付管およびます工						レベル2
		式	1			
管路土工						レベル3
		式	1			
管路掘削						単 15 号
		m3	87.0			
管路掘削 人力						単 16 号
		m3	26.5			
管路埋戻						単 17 号
		m3	77.1			
発生土処理						単 18 号
		m3	36.4			
ます設置工						レベル3
		式	1			
ます 塩ビ蓋	塩ビ桝 φ200					単 19 号
		箇所	11			
ます 铸铁蓋	塩ビ桝 φ200					単 20 号
		箇所	7			
取付管布設工						レベル3
		式	1			

設計内訳書（本工事）

工事番号： 都整第 号

工事名	御所污水9号幹線9工区 管路築造工事				事業区分 工事区分	下水道 管路
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
取付管 L=≦3.0m	プ レ-エント 〃 φ 150mm					単 21 号
		m	10.4			
取付管 3.0m<L=≦5.0m	プ レ-エント 〃 φ 150mm					単 22 号
		m	3.5			
取付管 5.0m<L=≦12.0m	プ レ-エント 〃 φ 150mm					単 23 号
		m	81.6			
付帯工						レベル2
		式	1			
舗装版破碎工						レベル3
		式	1			
殻運搬						単 24 号
		m3	11.0			
殻処分	アスファルト殻					単 25 号
		m3	11.0			
舗装版切断	アスファルト舗装版 舗装厚：50mm					単 26 号
		m	488.5			
舗装版破碎						単 27 号
		m2	219.6			
舗装仮復旧工(種別毎)						レベル3
		式	1			
上層路盤(車道・路肩部)	路盤材(碎石各種) RC-40 仕上り厚：200mm					単 28 号
		m2	217.5			

設計内訳書（本工事）

工事番号： 都整第 号

工事名	御所污水9号幹線9工区 管路築造工事				事業区分 工事区分	下水道 管路
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
表層(車道・路肩部)	再生密粒度アスコン(20) 舗装厚：50mm 1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)					単 29 号
		m2	219.6			
仮設工						レベル2
		式	1			
交通管理工						レベル3
		式	1			
交通誘導警備員						単 30 号
		人日	18.0			
直接工事費						
		式	1			
共通仮設						レベル1
		式	1			
共通仮設費						レベル2
		式	1			
運搬費						レベル3
		式	1			
仮設材運搬費						単 31 号
		t	1.810			
事業損失防止施設費						レベル3
		式	1			
家屋調査費						内 1 号
		式	1			

設計内訳書（本工事）

工事番号： 都整第 号

工事名	御所污水9号幹線9工区 管路築造工事				事業区分 工事区分	下水道 管路	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
技術管理費							レベル3
		式	1				
施工調査費 L=400m							内 2 号
		式	1				
共通仮設費(率計上)							レベル2
		式	1				
純工事費							
		式	1				
現場管理費							
		式	1				
工事原価							
		式	1				
一般管理費等							
		式	1				
工事価格							
		式	1				
消費税相当額							
		式	1				
工事費							
		式	1				

一式当り内訳書（本工事）

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

内 1号	家屋調査費				単位	式	数量	1			
名称・規格		条件		単位	数量	単価	金額		数量増減	金額増減	摘要
家屋調査費(一式)											単 68 号
				式	1						
計											

一式当り内訳書（本工事）

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

内 2号	施工調査費				単位	式	数量	1			
名称・規格		条件		単位	数量	単価	金額		数量増減	金額増減	摘要
施工調査費											単 69 号
				式	1						
計											

1 次 単 価 表 (本工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 1号	管路掘削		単位	m3	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
機械掘削工(ハッパ)		排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3)					単 32 号	
計			m3	1				
単価							円/m3	

1 次 単 価 表 (本工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 2号	管路埋戻		単位	m3	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
機械投入埋戻工(ハッパ)		排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3) タンハ 締固め数量(m3)(実数)100m3					単 33 号	
土材料			m3	1			施 1 号	
計			m3	1				
単価							円/m3	

1 次 単 価 表 (本工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 3号	発生土処理		単位	m3	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
発生土運搬工(4t積級・2t積級) 機械積込み		ダンプトラック 4t積級 運搬距離(実数入力)6km DID区間なし 排対(2次)山積 0.28m3(平0.2m3) 良好					単 34 号	
処分費(m3)			m3	1			単 35 号	
計			m3	1				
単価							円/m3	

1 次 単 価 表 (本工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 4号	リフ付硬質塩化ビニル管	PRP φ200mm	単位	m	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
リフ付硬質塩化管設置工(市場単価)		呼び径 200mm 20m以上 無 無					単 36 号	
計			m	1				
単価							円/m	

1 次 単 価 表 (本工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 5号	伸縮可とう継手(管)		単位	箇所	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
伸縮可とう継手(管)材料							単 37 号	
			個	1				
計								
単価							円/箇所	

1 次 単 価 表 (本工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 6号	埋設標識テープ		単位	m	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
埋設標識テープ 布設費							単 38 号	
			式	1				
計								
単価							円/m	

1 次 単 価 表 (本工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 7号	碎石基礎		単位	m	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
碎石							単 39 号	
			m3	0.332				
碎石基礎設置工(機械施工) (市場単価)		10m3以上 無 無					単 40 号	
			m3	0.332				
計								
単価							円/m	

1 次 単 価 表 (本工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 8号	アルミ矢板土留		単位	m	割戻数量	133.8	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
アルミ矢板建込工 (両側分)		掘削深3.0m以下 排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3)					単 41 号	
			m	133.8				
アルミ矢板引抜工 (両側分)		掘削深3.0m以下 トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型4.9t吊 標準(1.0)					単 42 号	
			m	133.8				
土留支保工(軽量金属支保工)		設置撤去 2段 3.5m以下 切梁材 水圧式パイプサポート					単 43 号	
			m	133.8				
アルミ矢板賃料							単 44 号	
			式	1				
計								
単価							円/m	

1 次 単 価 表 (本工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 9号	アルミ矢板土留		単位	m	割戻数量	38.5	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
アルミ矢板建込工 (両側分)		掘削深3.5m以下 排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3)					単	45 号
			m	38.5				
アルミ矢板引抜工 (両側分)		掘削深3.5m以下 トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型4.9t吊 標準(1.0)					単	46 号
			m	38.5				
土留支保工(軽量金属支保工)		設置撤去 2段 3.5m以下 切梁材 水圧式パイプサポート					単	43 号
			m	38.5				
アルミ矢板賃料							単	47 号
			式	1				
計								
単価								
							円/m	

1 次 単 価 表 (本工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 10号	開削水替		単位	日	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
ポンプ運転工		作業時排水 商用電源 ポンプ 台数（ 実数入力）1台					単 48 号	
			日					
ポンプ 据付・撤去工							単 49 号	
			現場	1				
計								
単価							円/日	

1 次 単 価 表（本工事）

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 11号	組立1号マンホール	T-14	単位	箇所	割戻数量	5	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
ブロック 蓋 受枠 可とう継手等							単 50 号	
			式	1				
組立マンホール設置工（市場単価）		1号(900mm) 3m以下 4箇所以上 無 無					単 51 号	
			箇所	5				
流入口削孔工							単 52 号	
			式	1				
計								
単価								
							円/箇所	

1 次 単 価 表 (本工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 12号	底部工		単位	箇所	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
基礎碎石		17.5cmを超え20.0cm以下 再生クラッシャー 40～0 全ての費用					施 2 号	
			m2	0.95			0.950m ² /基	
インバートコンクリート		無筋・鉄筋構造物 人力打設 18-8-40 (高炉) 養生無し 無し 全ての費用					施 3 号	
			m3	0.19			0.194m ³ /基	
モルタル上塗り マンホール用		配合比1:2 モルタル厚さ(10～30mm)(実数入力)20mm 高炉					単 53 号	
			m2	0.74			0.636m ² /基	
計								
単価								
							円/箇所	

1 次 単 価 表 (本工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 13号	底部工		単位	箇所	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
基礎碎石		17.5cmを超え20.0cm以下 再生クラッシャー 40～0 全ての費用					施 2 号	
			m2	0.95			0.950m ² /基	
インパートコンクリート		無筋・鉄筋構造物 人力打設 18-8-40 (高炉) 養生無し 無し 全ての費用					施 3 号	
			m3	0.18			0.194m ³ /基	
モルタル上塗り マンホール用		配合比1:2 モルタル厚さ(10～30mm)(実数入力)20mm 高炉					単 53 号	
			m2	0.78			0.636m ² /基	
計								
単価								
							円/箇所	

1 次 単 価 表 (本工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 14号	内副管	スリムタイプ φ 150mm	単位	箇所	割戻数量	2	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
内副管取付工		段差2.0m以上～2.5m未満					単 54 号	
			箇所	1				
内副管取付工		段差1.0m未満					単 55 号	
			箇所	1				
内副管材料費							単 56 号	
			式	1				
計								
単価							円/箇所	

1 次 単 価 表（本工事）

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 15号	管路掘削		単位	m3	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
掘削		土砂 上記以外（小規模） 小規模（標準）					施 4 号	
計			m3	1				
単価							円/m3	

1 次 単 価 表（本工事）

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 16号	管路掘削		単位	m3	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
掘削		土砂 現場制約あり					施 5 号	
計			m3	1				
単価							円/m3	

1 次 単 価 表 (本工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 17号	管路埋戻		単位	m3	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
機械投入埋戻工(バックホ)		排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3)タンハ 締固め数量(m3)(実数)100m3					単 33 号	
計			m3	1				
単価							円/m3	

1 次 単 価 表 (本工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 18号	発生土処理		単位	m3	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
発生土運搬工(4t積級・2t積級) 機械積込み		ダンプトラック 4t積級 運搬距離(実数入 力)6km DID区間なし 排対(2次)山積 0.28m3(平0.2m3) 良好					単 34 号	
処分費(m3)			m3	1			単 35 号	
計			m3	1				
単価							円/m3	

1 次 単 価 表（本工事）

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 19号	ます	塩ビ樹 φ200	単位	箇所	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
ます設置工(塩化ビニル製) (市場単価)		ます径 200mm 5箇所以上 無 無 無					単 57 号	
			箇所	1				
計								
単価							円/箇所	

1 次 単 価 表 (本工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 20号	ます	塩ビ樹 φ200	単位	箇所	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
蓋等材料費							単 58 号	
			個	1				
ます設置工(塩化ビニル製) (市場単価)		ます径 200mm 5箇所以上 無 無 有					単 59 号	
			箇所	1				
蓋設置工(鋳鉄製防護蓋)							単 60 号	
			箇所	1				
計								
単価							円/箇所	

1 次 単 価 表 (本工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 21号	取付管	ﾌﾟﾚｰﾝﾄﾞ φ 150mm	単位	m	割戻数量	10.38	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
取付管布設および支管取付工 (市場単価)		管径 150mm 5箇所以上 無 無 有 無 無					単 61 号	
計			箇所	4				
単価							円/m	

1 次 単 価 表 (本工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 22号	取付管	ﾌﾟﾚｰﾝﾄﾞ φ 150mm	単位	m	割戻数量	3.47	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
取付管布設および支管取付工 (市場単価)		管径 150mm 5箇所以上 無 無 無 無 無					単 62 号	
計			箇所	1				
単価							円/m	

1 次 単 価 表 (本工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 23号	取付管	プ レ-エント φ 150mm	単位	m	割戻数量	81.61	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
取付管布設および支管取付工 (市場単価)		管径 150mm 5箇所以上 無 無 無 有 無					単 63 号	
計			箇所	13				
単価							円/m	

1 次 単 価 表 (本工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 24号	殻運搬		単位	m3	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
運搬		アスファルト塊 無し 11.5km以下					施 6 号	
計			m3	1				
単価							円/m3	

1 次 単 価 表 (本工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 25号	処処分	アスファルト殻	単位	m3	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費 (m3)							単 64 号	
			m3	1				
計								
単価							円/m3	

1 次 単 価 表 (本工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 26号	舗装版切断	アスファルト舗装版 舗装厚 : 50mm	単位	m	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
舗装版切断		アスファルト舗装版 15cm以下 全ての費用					施 7 号	
			m	1				
計								
単価							円/m	

1 次 単 価 表 (本工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 27号	舗装版破碎		単位	m2	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
舗装版破碎積込							施 8 号	
			m2	1				
計								
単価							円/m2	

1 次 単 価 表 (本工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 28号	上層路盤(車道・路肩部)	路盤材(碎石各種) RC-40 仕上り厚 : 200mm	単位	m2	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
上層路盤 (車道・路肩部)		路盤材 (碎石各種) 全仕上り厚 (実数入力) 200mm 2層施工 全ての費用					施 9 号	
			m2	1				
計								
単価							円/m2	

1 次 単 価 表（本工事）

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 29号	表層(車道・路肩部)	再生密粒度アスコン(20) 舗装厚:50mm 1.4m未満(1層当り平均仕上り厚5	単位	m2	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
表層(車道・路肩部)		1.4m未満(仕上厚50mm以下) 1層当 平均仕上厚 50mm以下50mm 再生密粒 度アスコン(20) プライムコート PK	m2	1			施 10 号	
計								
単価							円/m2	

1 次 単 価 表（本工事）

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 30号	交通誘導警備員		単位	人日	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
交通誘導警備員B			人日	2			単 65 号	
計								
単価							円/人日	

1 次 単 価 表 (本工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 31号	仮設材運搬費		単位	t	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
仮設材等の運搬 (鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)		関東・中部・近畿 片道運搬距離(実数入力)10km 12m以内 各種(実数入力)運搬割増率(実数入力)1 無	t	1			単	66 号
仮設材等の積込み取卸し費		積込み、取卸し(往復分)	t	1			単	67 号
計								
単価							円/t	

2 次 単 価 表(参考資料) (本工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 32号	機械掘削工(ハックホ)	排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3)	単位	m3	割戻数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
土木一般世話役								
			人					
普通作業員								
			人					
ハックホ[クラ]排対(2次) 山積0.28m3(平積0.2m3)							単 70 号	
			時間					
諸雑費(まるめ)		まるめ						
			式	1				
計								
単価							円/m3	

2 次 単 価 表(参考資料) (本工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 33号	機械投入埋戻工(ハック杓)	排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3) タンバ 締固め数量(m3)(実数)100m3	単位	m3	割戻数量	100	単価	
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
土木一般世話役								
			人					
普通作業員								
			人					
ハック杓[クローラ]排対(2次) 山積0.28m3(平積0.2m3)							単 70 号	
			時間					
タンバ締固め		全ての費用					施 11 号	
			m3	100				
諸雑費(まるめ)		まるめ						
			式	1				
計								
単価							円/m3	

2 次 単 価 表(参考資料) (本工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 34号	発生土運搬工(4t積級・2t積級) 機械積込み	ダンプトラック 4t積級 運搬距離(実数入力)6km DID区間なし 排対(2次)	単位	m3	割戻数量	10	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
ダンプトラック[オンロード・デイスル] 4t積級		良好					単 71 号	
計			日					
単価							円/m3	

2 次 単 価 表(参考資料) (本工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 35号	処分費(m3)		単位	m3	割戻数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費 残土								
計			m 3	100				
単価							円/m3	

2 次 単 価 表(参考資料) (本工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 36号	リブ付硬質塩ビ管設置工（市場単価）	呼び径 200mm 20m以上 無 無	単位	m	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
リブ付硬質塩ビ管設置工(材工共) 呼び径200mm 単価補正1.000								
			m	1				
計								
単価							円/m	

2 次 単 価 表(参考資料) (本工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 37号	伸縮可とう継手(管)材料		単位	個	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
可とう継手 PRP φ 200mm								
			本	1				
計								
単価							円/個	

2 次 単 価 表(参考資料) (本工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 38号	埋設標識テープ 布設費		単位	式	割戻数量	1	単価	
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
埋設標識シート								
			m	1				
計								

2 次 単 価 表(参考資料) (本工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 39号	砕石		単位	m3	割戻数量	1	単価	
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
再生クラッシャーラン RC-40								
			m3	1				
計								
単価							円/m3	

2 次 単 価 表(参考資料) (本工事)

單價使用年月	2025.04
步掛適用年月	2025.04
勞務調整係數	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

[illegible]

2 次 単 価 表(参考資料) (本工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 41号	アルミ板建込工 (両側分)	掘削深3.0m以下 排対(2次)山積0.28m3 (平0.2m3)	単位	m	割戻数量	100	単価	
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
土木一般世話役								
			人					
特殊作業員								
			人					
普通作業員								
			人					
バックホウ[クローラ]排対(2次) 山積0.28m3(平積0.2m3)							単 70 号	
			時間					
計								
単価							円/m	

2 次 単 価 表(参考資料) (本工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 42号	アルミ矢板引抜工 (両側分)	掘削深3.0m以下 トラッククレーン 油圧伸縮 ジブ型4.9t吊 標準(1.0)	単位	m	割戻数量	100	単価	
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
土木一般世話役								
			人					
特殊作業員								
			人					
普通作業員								
			人					
トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型] 4.9t吊 単価補正1.000								
			日					
計								
単価								
							円/m	

2 次 単 価 表(参考資料) (本工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 43号	土留支保工(軽量金属支保工)	設置撤去 2段 3.5m以下 切梁材 水 圧式パイプサポート	単位	m	割戻数量	100	単価	
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
土木一般世話役								
			人					
特殊作業員								
			人					
普通作業員								
			人					
腹起し材賃料 2段(100m当り)								
			式	1				
切梁材賃料 軽量金属切梁材 2段(100m当り)								
			式	1				
水圧ポンプ賃料 (100m当り)								
			式	1				
諸雑費(まるめ)		まるめ						
			式	1				
計								
単価								
							円/m	

2 次 単 価 表(参考資料) (本工事)

単価使用年月	2025.04			
歩掛適用年月	2025.04			
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00	0.0	0	

[illegible]

2 次 単 価 表(参考資料) (本工事)

単価使用年月	2025. 04
歩掛適用年月	2025. 04
労務調整係数	1. 000-0000-0-1. 00 0. 0 0

単 45号	アルミ板建込工 (両側分)	掘削深3. 5m以下 排対(2次)山積0. 28 m3 (平0. 2m3)	単位	m	割戻数量	100	単価	
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
土木一般世話役								
			人					
特殊作業員								
			人					
普通作業員								
			人					
バックホウ[クローラ]排対(2次) 山積0. 28m3(平積0. 2m3)							単 70 号	
			時間					
諸雑費(まるめ)		まるめ						
			式	1				
計								
単価							円/m	

2 次 単 価 表(参考資料) (本工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 46号	アルミ矢板引抜工 (両側分)	掘削深3.5m以下 トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型4.9t吊 標準(1.0)	単位	m	割戻数量	100	単価	
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
土木一般世話役								
			人					
特殊作業員								
			人					
普通作業員								
			人					
トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型] 4.9t吊 単価補正1.000			日					
諸雑費(まるめ)	まるめ							
			式	1				
計								
単価								
							円/m	

2 次 単 価 表(参考資料) (本工事)

単価使用年月	2025.04			
歩掛適用年月	2025.04			
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00	0.0	0	

[illegible]

2 次 単 価 表(参考資料) (本工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 48号	ポンプ運転工	作業時排水 商用電源 ポンプ 台数 (実数入力) 1台	単位	日	割戻数量	1	単価	
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額		摘要
特殊作業員								
			人					
普通作業員								
			人					
工事用水中ポンプ [普通型] 潜水ポンプ 口径 φ 50mm 全揚程5m								
			日					
諸雑費		率+まるめ						
			式	1				
計								
単価								
							円/日	

2 次 単 価 表(参考資料) (本工事)

単価使用年月	2025.04			
歩掛適用年月	2025.04			
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00	0.0	0	

[illegible]

2 次 単 価 表(参考資料) (本工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 50号	ブロック 蓋 受枠 可とう継手等		単位	式	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
マンホール(浮上防止型)T-14 マーク入 ロック付転落防止用梯子								
			個	5				
無収縮モルタル 25kg								
			袋	4				
調整金具 h=25mm								
			個	3				
調整金具 h=45mm								
			個	2				
調整リング 600×50mm								
			個	1				
調整リング 600×100mm								
			個	3				
調整リング 600×150mm								
			個	1				
組立式マンホール1号 斜壁 600×900×450(JSWAS A-11)								
			個	4				
組立式マンホール1号 斜壁 600×900×600(JSWAS A-11)								
			個	1				
組立式マンホール1号 直壁 900× 300 (JSWAS A-11)								
			個	1				
組立式マンホール1号 直壁 900× 600 (JSWAS A-11)								
			個	1				

2 次 単 価 表(参考資料) (本工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 50号	ブロック 蓋 受枠 可とう継手等		単位	式	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
組立式マンホール 1 号 く体ブロック900×1500(JSWAS A-11)								
			個	1				
組立式マンホール 1 号 く体ブロック900×1800(JSWAS A-11)								
			個	4				
組立式マンホール 1 号 底版 有効高130 (JSWAS A-11)								
			個	5				
計								

2 次 単 価 表(参考資料) (本工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 51号	組立マンホール設置工（市場単価）	1号(900mm) 3m以下 4箇所以上 無 無	単位	箇所	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
組立マンホール設置工 1号(900mm) 3m以下 単価補正1.000								
			箇所	1				
計								
単価							円/箇所	

2 次 単 価 表(参考資料) (本工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 52号	流入口削孔工		単位	式	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
削孔費 φ 200mm								
			孔	6				
計								

2 次 単 価 表(参考資料) (本工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 53号	モルタル上塗り マンホール用	配合比1:2 モルタル厚さ(10～30mm)(実数入力)20mm 高炉	単位	m2	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
左官								
			人					
普通作業員								
			人					
モルタル練工								
配合比1:2			m3	0.02				
諸雑費(まるめ)		まるめ						
			式	1				
計								
単価							円/m2	

2 次 単 価 表(参考資料) (本工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 54号	内副管取付工	段差2.0m以上～2.5m未満	単位	箇所	割戻数量	1	単価	
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額		摘要
土木一般世話役								
			人					
特殊作業員								
			人					
普通作業員								
			人					
計								
単価								円/箇所

2 次 単 価 表(参考資料) (本工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 55号	内副管取付工	段差1.0m未満	単位	箇所	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
土木一般世話役								
			人					
特殊作業員								
			人					
普通作業員								
			人					
諸雑費(まるめ)		まるめ						
			式	1				
計								
単価							円/箇所	

2 次 単 価 表(参考資料) (本工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 56号	内副管材料費		単位	式	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
副管用継手 点検口付 φ200×150mm スリムタイプ°								
			本	2				
副管用立管 φ150×1,000mm スリムタイプ°								
			本	1				
副管用立管 φ150×2,000mm スリムタイプ°								
			本	1				
副管用90° 曲管 φ150mm スリムタイプ°								
			本	2				
副管用固定バンド° φ150mm スリムタイプ°								
			本	4				
計								

2 次 単 価 表(参考資料) (本工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 57号	ます設置工(塩化ビニル製) (市場単価)	ます径 200mm 5箇所以上 無 無 無	単位	箇所	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
塩化ビニル製ます設置工(材工共) ます(径200) 単価補正1.000								
			箇所	1				
計								
単価							円/箇所	

2 次 単 価 表(参考資料) (本工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 58号	蓋等材料費		単位	個	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
鑄鉄蓋 φ 200mm T-8 台座付								
			枚	1				
内蓋 φ 200mm								
			枚	1				
計								
単価							円/個	

2 次 単 価 表(参考資料) (本工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 59号	ます設置工(塩化ビニル製) (市場単価)	ます径 200mm 5箇所以上 無 無 有	単位	箇所	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
塩化ビニル製ます設置工(材工共) ます(径200)								
			箇所	1				
単価補正1.000 塩化ビニル製ます設置工 加算額 鋳鉄製防護蓋設置費 (手間のみ)								
			箇所	1				
諸雑費(まるめ)		まるめ						
			式	1				
計								
単価							円/箇所	

2 次 単 価 表(参考資料) (本工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 60号	蓋設置工(鉄製防護蓋)		単位	箇所	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
特殊作業員								
			人					
普通作業員								
			人					
計								
単価							円/箇所	

2 次 単 価 表(参考資料) (本工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 61号	取付管布設および支管取付工 (市場単価)	管径 150mm 5箇所以上 無 無 有 無	単位	箇所	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
取付管布設及び支管取付工(材工共) 管径150 単価補正0.850								
			箇所	1				
計								
単価							円/箇所	

2 次 単 価 表(参考資料) (本工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 62号	取付管布設および支管取付工 (市場単価)	管径 150mm 5箇所以上 無 無 無 無	単位	箇所	割戻数量	1	単価	
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	取付管布設及び支管取付工(材工共)							
	管径150							
	単価補正1.000		箇所	1				
	計							
	単価							
							円/箇所	

2 次 単 価 表(参考資料) (本工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 63号	取付管布設および支管取付工 (市場単価)	管径 150mm 5箇所以上 無 無 無 有	単位	箇所	割戻数量	1	単価	
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	取付管布設及び支管取付工(材工共)							
	管径150							
	単価補正1.150		箇所	1				
	計							
	単価							
							円/箇所	

2 次 単 価 表(参考資料) (本工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 64号	処分費 (m3)		単位	m3	割戻数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費 As								
			m 3	100				
計								
単価							円/m3	

2 次 単 価 表(参考資料) (本工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 65号	交通誘導警備員B		単位	人日	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
交通誘導警備員B								
			人	1				
計								
単価							円/人日	

2 次 単 価 表(参考資料) (本工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 66号	仮設材等の運搬 (鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)	関東・中部・近畿 片道運搬距離(実数入力)10km 12m以内 各種(実数入	単位	t	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
基本運賃区分A								
製品長12m以内 10kmまで								
単価補正2.000			t	1				
計								
単価								
							円/t	

2 次 単 価 表(参考資料) (本工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 67号	仮設材等の積込み取卸し費	積込み、取卸し(往復分)	単位	t	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
積込み、取卸し費 (仮設材等)								
			t	2				
計								
単価								
							円/t	

2 次 単 価 表(参考資料) (本工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 68号	家屋調査費(一式)		単位	式	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
物件補償費								
			式	1				
計								

2 次 単 価 表(参考資料) (本工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 69号	施工調査費		単位	式	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
管内カマ調査 L=400m								
			式	1				
計								

構成比（本工事）

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

施 1号	土材料		単位		m3	割戻数量	1	単価	
名称・規格		標準 名称・規格	単位		構成比	単価	金額		摘要
再生クラッシャーラン RC－40		材料費	標	式 (100)					
				m 3					
計									
単価									円/m3

構成比（本工事）

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

施 2号	基礎碎石	17.5cmを超え20.0cm以下 再生クラッシャーラン 40～0 全ての費用	単位	m2	割戻数量	1	単価	
名称・規格		標準 名称・規格	単位	構成比	単価	金額		摘要
バックホウ(クローラ) [標準] 山積0.8m3(平積0.6m3)		バックホウ (クローラ) [標準] 山積0.8 m 3 (平積0.6 m 3)	標	日	(4.96)			
				日				
その他(機械)								
普通作業員		普通作業員	標	人	(33.14)			
				人				
特殊作業員		特殊作業員	標	人	(14.04)			
				人				
運転手 (特殊)		運転手 (特殊)	標	人	(13.23)			
				人				
土木一般世話役		土木一般世話役	標	人	(8.28)			
				人				
その他(労務)								
再生クラッシャーラン RC-40		再生クラッシャーラン RC-40	標	m3	(21.33)			
				m 3				
軽油		軽油	標	L	(4.48)			
				L				
その他(材料)								
諸雑費								

構 成 比 (本工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

施 2号	基礎碎石	17.5cmを超え20.0cm以下 再生クワッシャー 40～0 全ての費用	単位	m2	割戻数量	1	単価	
名称・規格		標準 名称・規格	単位	構成比	単価	金額		摘要
計								
単価								円/m2

--	--	--	--	--	--	--	--	--

構 成 比 (本工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

施 3号	インパートコンクリート	無筋・鉄筋構造物 人力打設 18-8-40 (高炉) 養生無し 無し 全ての費用	単位	m3	割戻数量	1	単価	
名称・規格		標準 名称・規格	単位	構成比	単価	金額		摘要
普通作業員		普通作業員	標	人 (11.44)				
				人				
特殊作業員		特殊作業員	標	人 (7.77)				
				人				
土木一般世話役		土木一般世話役	標	人 (6.06)				
				人				
その他(労務)								
生コンクリート 18-8-40 高炉		生コンクリート 24-12-25 (20) 高炉	標	m3 (72.96)				
				m 3				
諸雑費								
計								
単価								
								円/m3

構成比（本工事）

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

施 4号	掘削	土砂 上記以外（小規模） 小規模（標準）	単位		m3	割戻数量	1	単価	
名称・規格		標準 名称・規格	単位		構成比	単価	金額		摘要
バックホウ(クローラ) [標準] 排ガス型(第2次) 山積0.28m3		バックホウ（クローラ） [標準] 排ガス型（第2次） 山積0.28m3	標	時間	(27.26)				
				供用日					
運転手（特殊）		運転手（特殊）	標	人	(61.7)				
				人					
軽油		軽油	標	L	(11.04)				
				L					
諸雑費									
計									
単価									円/m3

--	--	--	--	--	--	--	--	--

構 成 比 (本工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

施 5号	掘削	土砂 現場制約あり	単位	m3	割戻数量	1	単価	
名称・規格		標準 名称・規格	単位	構成比	単価	金額		摘要
普通作業員		普通作業員	標	人 (100)				
				人				
計								
単価								
								円/m3

--	--	--	--	--	--	--	--	--

構成比（本工事）

						<div> <div> <div>単価使用年月</div> <div>歩掛適用年月</div> <div>労務調整係数</div> </div> <div> <div>2025. 04</div> <div>2025. 04</div> <div>1. 000-0000-0-1. 00 0. 0 0</div> </div> </div>		
施 6号	運搬	アスファルト塊 無し 11. 5km以下	単位	m3	割戻数量	1	単価	
名称・規格		標準 名称・規格	単位	構成比	単価	金額		摘要
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級（タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む）		ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 4 t 積級（タイヤ損耗費及び補修費（良好）含む）	標	時間	(23. 93)			
				供用日				
運転手（一般）		運転手（一般）	標	人	(62. 6)			
				人				
軽油		軽油	標	L	(13. 47)			
				L				
諸雑費								
計								
単価								円/m3

構成比（本工事）

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

施 7号	舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下 全ての費用	単位		m	割戻数量	1	単価	
名称・規格		標準 名称・規格	単位		構成比	単価	金額		摘要
コンクリートカッタ[バキューム式(超低騒音型)] 湿式 切削深20cm級 ブレード径φ56cm		コンクリートカッタ [バキューム式 (超低騒音型)] 湿式 切削深20cm級 ブレード径φ56cm	標	日	(10.49)				
				供用日					
その他(機械)									
特殊作業員		特殊作業員	標	人	(19.6)				
				人					
土木一般世話役		土木一般世話役	標	人	(10.55)				
				人					
普通作業員		普通作業員	標	人	(8.73)				
				人					
その他(労務)									
コンクリートカッタ (ブレード) 径18インチ		コンクリートカッタ (ブレード) 径18インチ	標	枚	(23.29)				
				枚					
ガソリン レギュラー		ガソリン レギュラー	標	L	(2.83)				
				L					
その他(材料)									
諸雑費									
計									

構成比（本工事）

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

施 7号	舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下 全ての費用	単位		m	割戻数量	1	単価	
名称・規格		標準 名称・規格	単位		構成比	単価	金額		摘要
単価									円/m

構成比（本工事）

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

施 8号	舗装版破碎積込		単位	m2	割戻数量	1	単価	
名称・規格		標準 名称・規格	単位	構成比	単価	金額		摘要
バックホウ(クローラ) [超小旋回型・クレーン機能付き] 山積0.28m3(平積0.2m3) 1.7t吊		バックホウ (クローラ) [超小旋回型・クレーン機能] 山積0.28m3 (平積0.2m3) 1.7t吊	標 日	(4.78)				
普通作業員		普通作業員	日					
土木一般世話役		土木一般世話役	標 人	(53.88)				
			人					
運転手 (特殊)		運転手 (特殊)	標 人	(23.25)				
			人					
軽油		軽油	標 L	(15.6)				
			L	(2.49)				
諸雑費								
計								
単価								
								円/m2

構 成 比 (本工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

施 9号	上層路盤（車道・路肩部）	路盤材（碎石各種） 全仕上り厚（実数入力）200mm 2 層施工 全ての費用	単位	m2	割戻数量	1	単価	
名称・規格		標準 名称・規格	単位	構成比	単価	金額		摘要
モータグレーダ [土工用・排ガス対策型 (第2次)] ブレード幅3.1m		モータグレーダ [土工用・排ガス対策型 (第2次)] ブレード幅3.1m	標	時間	(4.83)			
				供用日				
ロードローラ [マカダム・排ガス対策型 (第2次)] 運転質量10t 締固め幅2.1m		ロードローラ [マカダム・排ガス対策型 (第2次)] 運転質量10t 締固め幅2.1m	標	時間	(3.83)			
				供用日				
タイヤローラ [普通型] 運転質量8～20t		タイヤローラ [普通型] 運転質量8～20t	標	日	(1.24)			
				日				
その他 (機械)								
運転手 (特殊)		運転手 (特殊)	標	人	(18.87)			
				人				
特殊作業員		特殊作業員	標	人	(6.26)			
				人				
普通作業員		普通作業員	標	人	(6.11)			
				人				
土木一般世話役		土木一般世話役	標	人	(1.84)			
				人				
その他 (労務)								
再生クラッシャーラン RC-40 単価補正200.000		再生粒度調整碎石 RM-40 全仕上り厚 200mm	標	式	(43.39)			
				m3				
軽油		軽油	標	L	(3.43)			
				L				

構 成 比（本工事）

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

施 9号	上層路盤（車道・路肩部）	路盤材（碎石各種） 全仕上り厚（実数入力）200mm 2 層施工 全ての費用	単位	m2	割戻数量	1	単価	
名称・規格		標準 名称・規格	単位	構成比	単価	金額		摘要
その他(材料)								
諸雑費								
計								
単価								円/m2

構 成 比 (本工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

施 10号	表層（車道・路肩部）	1.4m未満（仕上厚50mm以下） 1層当平均仕上厚 50mm 以下50mm 再生密粒度アスコン（20） プライムコート PK-	単位	m2	割戻数量	1	単価	
名称・規格		標準 名称・規格	単位	構成比	単価	金額		摘要
振動ローラ（舗装用）[ハンドガイド式] 運転質量0.5～0.6t		振動ローラ（舗装用） [ハンドガイド式] 運転質量0.5～0.6 t	標	時間 (0.24)				
				供用日				
振動コンパクタ[前進型] 機械質量40～60kg		振動コンパクタ [前進型] 機械質量40～60 kg	標	日 (0.13)				
				供用日				
その他(機械)								
特殊作業員		特殊作業員	標	人 (18.71)				
				人				
普通作業員		普通作業員	標	人 (13.4)				
				人				
土木一般世話役		土木一般世話役	標	人 (4.05)				
				人				
その他(労務)								
再生アスファルト混合物 再生密粒度アスコン（20） 単価補正50.000		アスファルト混合物 密粒度（20） 平均仕上り厚50mm	標	式 (52.51)				
				t				
アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用		アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	標	L (4.54)				
				L				
ガソリン レギュラー		ガソリン レギュラー	標	L (0.16)				
				L				
軽油		軽油	標	L (0.03)				
				L				

構成比（本工事）

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

施 10号	表層（車道・路肩部）	1. 4m未満（仕上厚50mm以下） 1層当平均仕上厚 50mm 以下50mm 再生密粒度アスコン（20） フライムコート PK-	単位	m2	割戻数量	1	単価	
名称・規格		標準 名称・規格	単位	構成比	単価	金額		摘要
その他(材料)								
諸雑費								
計								
単価								円/m2

構 成 比 (本工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

施 11号	タンバ締固め	全ての費用	単位	m3	割戻数量	1	単価	
名称・規格		標準 名称・規格	単位	構成比	単価	金額		摘要
タンバ 及びランマ 質量 60～80kg		タンバ及びランマ 質量 6 0 ～ 8 0 k g	標	日	(1.24)			
				日				
特殊作業員		特殊作業員	標	人	(51.22)			
				人				
普通作業員		普通作業員	標	人	(45.83)			
				人				
ガソリン レギュラー		ガソリン レギュラー	標	L	(1.71)			
				L				
諸雑費								
計								
単価								円/m3

--	--	--	--	--	--	--	--	--

機労材集計リスト（材料）（本工事）

工事名	御所汚水9号幹線9工区 管路築造工事					
単価コード	名称	規格	単位	数量	金額	摘要
Y007600000001	処分費	残土	m 3	422. 1		
Y007600000002	処分費	As	m 3	11		
Y008110000	物件補償費		式	1		
Y0G5010030002	腹起し材質料	2段(100m当り)	式	1. 723		
Y0G5020020002	切梁材質料	軽量金属切梁材 2段(100m当り)	式	1. 723		
Y0G5030020001	水圧ポンプ賃料	(100m当り)	式	1. 723		
Y7G0010020001	モルタル練工	配合比1：2	m3	0. 075		
Z002122003	再生クラッシャーラン	R C－4 0	m 3	55. 776		
Z006702002	軽油		L	1, 353. 063		
Z006800001001	積込み、取卸し費（仮設材等）		t	3. 62		
Z006810001001	基本運賃区分A	製品長12m以内 10kmまで	t	1. 81		
Z010020045	タイヤ損耗費	4 t 積級 良好 供用日	供用日	32. 67		
ZA04593140	組立式マンホール 1 号	斜壁 600×900×450(JSWAS A-11)	個	4		
ZA04593150	組立式マンホール 1 号	斜壁 600×900×600(JSWAS A-11)	個	1		
ZA04593160	組立式マンホール 1 号	直壁 900× 300 (JSWAS A-11)	個	1		
ZA04593170	組立式マンホール 1 号	直壁 900× 600 (JSWAS A-11)	個	1		
ZA04593250	組立式マンホール 1 号	く体フロック900×1500(JSWAS A-11)	個	1		

機労材集計リスト (材料) (本工事)

[illegible]

機労材集計リスト (材料) (本工事)

[illegible]

機労材集計リスト（材料）（本工事）

工事名	御所汚水9号幹線9工区 管路築造工事					
単価コード	名称	規格	単位	数量	金額	摘要
ZZ00000001001	埋設標識シート		m	168		
ZZ00000002002	アルミ板	h=3. 0m	式	1		
ZZ00000002003	アルミ板	h=3. 5m	式	1		
ZZ00000003001	可とう継手	PRP φ 200mm	本	10		
ZZ00000004001	無収縮モルタル	25kg	袋	4		
ZZ00000005001	調整金具	h=25mm	個	3		
ZZ00000005002	調整金具	h=45mm	個	2		
ZZ00000006001	調整リング	600×50mm	個	1		
ZZ00000006002	調整リング	600×100mm	個	3		
ZZ00000006003	調整リング	600×150mm	個	1		
ZZ00000008003	鋳鉄蓋	φ 200mm T-8 台座付	枚	7		
ZZ00000008004	内蓋	φ 200mm	枚	7		
ZZ00000009001	副管用継手	点検口付 φ 200×150mm スリムタイプ	本	2		
ZZ00000009003	副管用立管	φ 150×1, 000mm スリムタイプ	本	1		
ZZ00000009004	副管用立管	φ 150×2, 000mm スリムタイプ	本	1		
ZZ00000009005	副管用90° 曲管	φ 150mm スリムタイプ	本	2		
ZZ00000009006	副管用固定バンド	φ 150mm スリムタイプ	本	4		

機労材集計リスト (材料) (本工事)

[illegible]

施工パッケージ 機労材集計リスト（材料）（本工事）

工事名	御所污水9号幹線9工区 管路築造工事					
単価コード	名称	規格	単位	数量	金額	摘要
Z002012010	生コンクリート	1 8 - 8 - 4 0 高炉	m 3	0. 995		
Z002122003	再生クラッシャーラン	R C - 4 0	m 3	348. 05		
Z004101003	再生アスファルト混合物	再生密粒度アスコン（2 0）	t	27. 626		
Z004130002	アスファルト乳剤	P K - 3 プライムコート用	L	275. 981		
Z006540009	コンクリートカッタ（ブレード）	径1 8 インチ	枚	1. 122		
Z006702002	軽油		L	224. 178		
Z006704001	ガソリン	レギュラー	L	135. 337		
	その他(材料)		式	1		
	諸雑費		式	1		
	判別中計					
	トータル額					

令和7年度

実施設計書

(当 初)

御所市

部長				課長				課長 補佐				主任					検算				設計			
作成年月日											工 事 概 要	当 初				変 更								
工 事 名		御所污水9号幹線9工区 管路築造工事										[単独] 工事延長 L= 43.0m												
工 事 番 号		都整第 号										開 削 工 PRP φ 200mm L= 42.1m 人 孔 工 1号組立MH n= 1.0㍎ 取付管工 L= 8.6m 污水枳工 n= 2.0㍎ 付 帯 工 一式												
路線・河川名																								
工 事 箇 所		御所市 幸町 地内																						
当初設計金額 (変更前)		円									当初請負金額 (変更前)		円											
変更設計金額 (変更後)		円									変更請負金額 (変更後)		円											
変更請負金額 計 算 式		(請 負 率) 当初請負額 ÷ 当初設計額 = 円÷ 円=																						
		(変 更 価 格) 変更設計工事価格×請負率 = 円× = 円																						
		(変 更 契 約 額) 変更価格 × 0.1 = 円× = 円																						
		(変 更 契 約 額) 変更価格+変更消費税等相当額 = 円+ 円= 円																						

事 務 所 名	御所市	単価適用年月	令和 7年 4月
課 名・係 名	都市整備課	歩掛適用年月	令和 7年 4月
単 価 地 区	4 地区	損料適用年月	令和 7年 4月
適 用 工 種	下水道工事（2）	諸経費適用年月	令和 7年 4月
調 整 区 分	本附	一般管理費 前払	補正を行わない
施工地域区分	補正を行わない	契 約 保 証	補正しない
現場環境改善費	計上しない		
変 更 理 由	<div>-----</div> <div>-----</div> <div>-----</div> <div>-----</div>		

設計内訳書（附帯工事）

工事番号： 都整第 号

工事名	御所汚水9号幹線9工区 管路築造工事				事業区分 工事区分	下水道 管路	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
管路							レベル1
		式	1				
管きょ工(開削)＜PRP φ200mm＞							レベル2
		式	1				
管路土工							レベル3
		式	1				
管路掘削							単 1 号
		m3	66.2				
管路埋戻							単 2 号
		m3	42.8				
発生土処理							単 3 号
		m3	66.2				
管布設工							レベル3
		式	1				
リブ付硬質塩化ビニル管	PRP φ200mm						単 4 号
		m	42.1				
伸縮可とう継手(管)							単 5 号
		箇所	2				
埋設標識テープ							単 6 号
		m	42.0				
管基礎工							レベル3
		式	1				

設計内訳書（附帯工事）

工事番号： 都整第 号

工事名	御所污水9号幹線9工区 管路築造工事				事業区分 工事区分	下水道 管路
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
砕石基礎 土留路線						単 7 号
		m	42.0			
管路土留工						レベル3
		式	1			
アルミ矢板土留 h=2.0m						単 8 号
		m	43.0			
開削水替工						レベル3
		式	1			
開削水替						単 9 号
		日				
マンホール工						レベル2
		式	1			
組立マンホール工						レベル3
		式	1			
組立1号マンホール	T-14					単 10 号
		箇所	1			
底部工 1方						単 11 号
		箇所	3			
取付管およびます工						レベル2
		式	1			
管路土工						レベル3
		式	1			

設計内訳書（附帯工事）

工事番号： 都整第 号

工事名	御所污水9号幹線9工区 管路築造工事				事業区分 工事区分	下水道 管路
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
管路掘削						単 12 号
		m3	5.8			
管路掘削 人力						単 13 号
		m3	2.0			
管路埋戻						単 14 号
		m3	4.6			
発生土処理						単 15 号
		m3	3.2			
ます設置工						レベル3
		式	1			
ます 塩ビ蓋	塩ビ桝 φ200					単 16 号
		箇所	2			
取付管布設工						レベル3
		式	1			
取付管 L≦3.0m	プレセント φ150mm					単 17 号
		m	2.8			
取付管 5.0m<L≦12.0m	プレセント φ150mm					単 18 号
		m	5.9			
付帯工						レベル2
		式	1			
舗装版破碎工						レベル3
		式	1			

設計内訳書（附帯工事）

工事番号： 都整第 号

工事名	御所汚水9号幹線9工区 管路築造工事				事業区分 工事区分	下水道 管路
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
殻運搬						単 19 号
		m3	2.2			
殻処分	アスファルト殻					単 20 号
		m3	2.2			
舗装版切断	アスファルト舗装版 舗装厚：50mm					単 21 号
		m	98.6			
舗装版破碎						単 22 号
		m2	43.9			
舗装仮復旧工(種別毎)						レベル3
		式	1			
上層路盤(車道・路肩部)	路盤材(砕石各種) RC-40 仕上り厚：200mm					単 23 号
		m2	43.7			
表層(車道・路肩部)	再生密粒度アスコン(20) 舗装厚：50mm 1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)					単 24 号
		m2	43.9			
仮設工						レベル2
		式	1			
交通管理工						レベル3
		式	1			
交通誘導警備員						単 25 号
		人日	4.0			
直接工事費						
		式	1			

設計内訳書（附帯工事）

工事番号： 都整第 号

工事名	御所污水9号幹線9工区 管路築造工事				事業区分 工事区分	下水道 管路
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
共通仮設						レベル1
		式	1			
共通仮設費						レベル2
		式	1			
運搬費						レベル3
		式	1			
仮設材運搬費						単 26 号
		t	0.800			
事業損失防止施設費						レベル3
		式	1			
家屋調査費						内 1 号
		式	1			
技術管理費						レベル3
		式	1			
施工調査費 L=400m						内 2 号
		式	1			
共通仮設費（率計上）						レベル2
		式	1			
純工事費						
		式	1			
現場管理費						
		式	1			

設計内訳書（附帯工事）

工事番号： 都整第 号

工事名	御所污水9号幹線9工区 管路築造工事					事業区分 工事区分	下水道 管路	
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
工事原価								
			式	1				
一般管理費等								
			式	1				
工事価格								
			式	1				
消費税相当額								
			式	1				
工事費								
			式	1				

一式当り内訳書（附帯工事）

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

内 1号	家屋調査費		単位	式	数量	1			
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
家屋調査費(一式)									単 52 号
			式	1					
計									

一式当り内訳書（附帯工事）

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

内 2号	施工調査費				単位	式	数量	1			
名称・規格		条件		単位	数量	単価	金額		数量増減	金額増減	摘要
施工調査費											単 53 号
				式	1						
計											

1 次 単 価 表 (附 帯 工 事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 1号	管路掘削		単位	m3	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
機械掘削工(ハックホ)		排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3)					単 27 号	
計			m3	1				
単価							円/m3	

1 次 単 価 表 (附 帯 工 事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 2号	管路埋戻		単位	m3	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
機械投入埋戻工(ハックホ)		排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3) タンハ 締固め数量(m3)(実数)100m3					単 28 号	
土材料			m3	1			施 1 号	
計			m3	1				
単価							円/m3	

1 次 単 価 表 (附 帯 工 事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 3号	発生土処理		単位	m3	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
発生土運搬工(4t積級・2t積級) 機械積込み		ダンプトラック 4t積級 運搬距離(実数入力)6km DID区間なし 排対(2次)山積 0.28m3(平0.2m3) 良好	m3	1			単	29 号
処分費(m3)			m3	1			単	30 号
計								
単価							円/m3	

1 次 単 価 表 (附 帯 工 事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 4号	リフ付硬質塩化ビニル管	PRP φ200mm	単位	m	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
リフ付硬質塩化管設置工(市場単価)		呼び径 200mm 20m以上 無 無	m	1			単	31 号
計								
単価							円/m	

1 次 単 価 表 (附 帯 工 事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 5号	伸縮可とう継手(管)		単位	箇所	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
伸縮可とう継手(管)材料							単 32 号	
			個	1				
計								
単価							円/箇所	

1 次 単 価 表 (附 帯 工 事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 6号	埋設標識テープ		単位	m	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
埋設標識テープ 布設費							単 33 号	
			式	1				
計								
単価							円/m	

1 次 単 価 表 (附 帯 工 事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 7号	砕石基礎		単位	m	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
砕石							単 34 号	
			m3	0.332				
砕石基礎設置工(機械施工)(市場単価)		10m3以上 無 無					単 35 号	
			m3	0.332				
計								
単価							円/m	

1 次 単 価 表 (附 帯 工 事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 8号	アルミ矢板土留		単位	m	割戻数量	43	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
アルミ矢板建込工 (両側分)		掘削深2.0m以下 排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3)					単	36 号
			m	43				
アルミ矢板引抜工 (両側分)		掘削深2.0m以下 トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型4.9t吊 標準(1.0)					単	37 号
			m	43				
土留支保工(軽量金属支保工)		設置撤去 1段 2.0m以下 切梁材 水圧式パイプサポート					単	38 号
			m	43				
アルミ矢板賃料							単	39 号
			式	1				
計								
単価							円/m	

1 次 単 価 表 (附 帯 工 事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 9号	開削水替		単位	日	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
ポンプ運転工		作業時排水 商用電源 ポンプ 台数（ 実数入力）1台					単 40 号	
			日					
ポンプ 据付・撤去工							単 41 号	
			現場	1				
計								
単価							円/日	

1 次 単 価 表 (附 帯 工 事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 10号	組立1号マンホール	T-14	単位	箇所	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
ブロック 蓋 受枠 可とう継手等							単 42 号	
			式	1				
組立マンホール設置工（市場単価）		1号(900mm) 3m以下 4箇所未満 無 無					単 43 号	
			箇所	1				
計								
単価							円/箇所	

1 次 単 価 表 (附帯工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 11号	底部工		単位	箇所	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
基礎碎石		17.5cmを超え20.0cm以下 再生クラッシャー 40～0 全ての費用					施 2 号	
			m2	0.95			0.950m ² /基	
インバートコンクリート		無筋・鉄筋構造物 人力打設 18-8-40 (高炉) 養生無し 無し 全ての費用					施 3 号	
			m3	0.19			0.194m ³ /基	
モルタル上塗り マンホール用		配合比1:2 モルタル厚さ(10～30mm)(実数入力)20mm 高炉					単 44 号	
			m2	0.74			0.636m ² /基	
計								
単価								
							円/箇所	

1 次 単 価 表 (附 帯 工 事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 12号	管路掘削		単位	m3	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
掘削		土砂 上記以外 (小規模) 小規模 (標準)					施 4 号	
計			m3	1				
単価							円/m3	

1 次 単 価 表 (附 帯 工 事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 13号	管路掘削		単位	m3	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
掘削		土砂 現場制約あり					施 5 号	
計			m3	1				
単価							円/m3	

1 次 単 価 表 (附 帯 工 事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 14号	管路埋戻		単位	m3	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
機械投入埋戻工(バックホウ)		排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3) タンハ 締固め数量(m3)(実数)100m3					単 28 号	
計			m3	1				
単価							円/m3	

1 次 単 価 表 (附 帯 工 事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 15号	発生土処理		単位	m3	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
発生土運搬工(4t積級・2t積級) 機械積込み		ダンプトラック 4t積級 運搬距離(実数入 力)6km DID区間なし 排対(2次)山積 0.28m3(平0.2m3) 良好					単 29 号	
処分費(m3)			m3	1			単 30 号	
計			m3	1				
単価							円/m3	

1 次 単 価 表 (附 帯 工 事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 16号	ます	塩ビ桝 φ200	単位	箇所	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
ます設置工(塩化ビニル製) (市場単価)		ます径 200mm 5箇所未満 無 無 無					単 45 号	
			箇所	1				
計								
単価							円/箇所	

1 次 単 価 表 (附 帯 工 事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 17号	取付管	プレキャスト φ150mm	単位	m	割戻数量	2.77	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
取付管布設および支管取付工 (市場単価)		管径 150mm 5箇所未満 無 無 有 無 無					単 46 号	
			箇所	1				
計								
単価							円/m	

1 次 単 価 表（附帯工事）

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 18号	取付管	ﾌﾟﾚｰﾝﾄﾞ φ150mm	単位	m	割戻数量	5.87	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
取付管布設および支管取付工（市場単価）		管径 150mm 5箇所未満 無 無 無 有 無					単 47 号	
計			箇所	1				
単価							円/m	

1 次 単 価 表（附帯工事）

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 19号	殻運搬		単位	m3	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
運搬		ｱｽﾌｧﾙﾄ塊 無し 11.5km以下					施 6 号	
計			m3	1				
単価							円/m3	

1 次 単 価 表 (附帯工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 20号	処処分	アスファルト殻	単位	m3	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費 (m3)							単 48 号	
			m3	1				
計								
単価							円/m3	

1 次 単 価 表 (附帯工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 21号	舗装版切断	アスファルト舗装版 舗装厚：50mm	単位	m	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
舗装版切断		アスファルト舗装版 15cm以下 全ての費用					施 7 号	
			m	1				
計								
単価							円/m	

1 次 単 価 表 (附 帯 工 事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 22号	舗装版破碎		単位	m2	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
舗装版破碎積込							施 8 号	
			m2	1				
計								
単価							円/m2	

1 次 単 価 表 (附 帯 工 事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 23号	上層路盤(車道・路肩部)	路盤材(碎石各種) RC-40 仕上り厚 : 200mm	単位	m2	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
上層路盤 (車道・路肩部)		路盤材 (碎石各種) 全仕上り厚 (実数入力) 200mm 2層施工 全ての費用					施 9 号	
			m2	1				
計								
単価							円/m2	

1 次 単 価 表 (附帯工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 24号	表層(車道・路肩部)	再生密粒度アスコン(20) 舗装厚: 50mm 1.4m未満(1層当り平均仕上り厚5	単位	m2	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
表層(車道・路肩部)		1.4m未満(仕上厚50mm以下) 1層当 平均仕上厚 50mm以下50mm 再生密粒 度アスコン(20) プライムコート PK	m2	1			施 10 号	
計								
単価							円/m2	

1 次 単 価 表 (附帯工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 25号	交通誘導警備員		単位	人日	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
交通誘導警備員B			人日	2			単 49 号	
計								
単価							円/人日	

1 次 単 価 表 (附 帯 工 事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 26号	仮設材運搬費		単位	t	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
仮設材等の運搬 (鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)		関東・中部・近畿 片道運搬距離(実数入力)10km 12m以内 各種(実数入力)運搬割増率(実数入力)1 無	t	1			単	50 号
仮設材等の積込み取卸し費		積込み、取卸し(往復分)	t	1			単	51 号
計								
単価							円/t	

2 次 単 価 表(参考資料) (附帯工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 27号	機械掘削工(ハックホ)	排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3)	単位	m3	割戻数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
土木一般世話役								
			人					
普通作業員								
			人					
ハックホ[クラ]排対(2次) 山積0.28m3(平積0.2m3)							単 54 号	
			時間					
諸雑費(まるめ)		まるめ						
			式	1				
計								
単価							円/m3	

2 次 単 価 表(参考資料) (附帯工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 28号	機械投入埋戻工(ハック杓)	排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3) タンバ 締固め数量(m3)(実数)100m3	単位	m3	割戻数量	100	単価	
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
土木一般世話役								
			人					
普通作業員								
			人					
ハック杓[クローラ]排対(2次) 山積0.28m3(平積0.2m3)							単 54 号	
			時間					
タンバ締固め		全ての費用					施 11 号	
			m3	100				
諸雑費(まるめ)		まるめ						
			式	1				
計								
単価							円/m3	

2 次 単 価 表(参考資料) (附帯工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 29号	発生土運搬工(4t積級・2t積級) 機械積込み	ダンプトラック 4t積級 運搬距離(実数入力)6km DID区間なし 排対(2次)	単位	m3	割戻数量	10	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級		良好					単 55 号	
			日					
計								
単価							円/m3	

2 次 単 価 表(参考資料) (附帯工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 30号	処分費(m3)		単位	m3	割戻数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
処分費 残土								
			m 3	100				
計								
単価							円/m3	

2 次 単 価 表(参考資料) (附帯工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 31号	リップ付硬質塩ビ管設置工（市場単価）	呼び径 200mm 20m以上 無 無	単位	m	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
リップ付硬質塩ビ管設置工(材工共) 呼び径200mm 単価補正1.000								
			m	1				
計								
単価							円/m	

2 次 単 価 表(参考資料) (附帯工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 32号	伸縮可とう継手(管)材料		単位	個	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
可とう継手 PRP φ 200mm								
			本	1				
計								
単価							円/個	

2 次 単 価 表(参考資料) (附帯工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 33号	埋設標識テープ 布設費		単位	式	割戻数量	1	単価	
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
埋設標識シート								
			m	1				
計								

2 次 単 価 表(参考資料) (附帯工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 34号	砕石		単位	m3	割戻数量	1	単価	
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
再生クラッシャーラン RC-40								
			m3	1				
計								
単価							円/m3	

2 次 単 価 表(参考資料) (附帯工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 35号	砕石基礎設置工(機械施工) (市場単価)	10m3以上 無 無	単位	m3	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
砕石基礎工(手間のみ)								
砕石基礎設置 機械施工								
単価補正1.000			m3	1				
計								
単価							円/m3	

2 次 単 価 表(参考資料) (附帯工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 36号	アルミ板建込工 (両側分)	掘削深2.0m以下 排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3)	単位	m	割戻数量	100	単価	
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
土木一般世話役								
			人					
特殊作業員								
			人					
普通作業員								
			人					
バックホウ[クローラ]排対(2次) 山積0.28m3(平積0.2m3)							単 54 号	
			時間					
諸雑費(まるめ)		まるめ						
			式	1				
計								
単価							円/m	

2 次 単 価 表(参考資料) (附帯工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 37号	アルミ板引抜工 (両側分)	掘削深2.0m以下 トラッククレーン 油圧伸縮ジブ型4.9t吊 標準(1.0)	単位	m	割戻数量	100	単価	
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
土木一般世話役								
			人					
特殊作業員								
			人					
普通作業員								
			人					
トラッククレーン[油圧伸縮ジブ型] 4.9t吊 単価補正1.000			日					
諸雑費(まるめ)	まるめ							
			式	1				
計								
単価								
							円/m	

2 次 単 価 表(参考資料) (附帯工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 38号	土留支保工(軽量金属支保工)	設置撤去 1段 2.0m以下 切梁材 水 圧式 ^ハ イ ^グ サ ^ホ ート	単位	m	割戻数量	100	単価	
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
土木一般世話役								
			人					
特殊作業員								
			人					
普通作業員								
			人					
腹起し材賃料 1段(100m当り)								
			式	1				
切梁材賃料 軽量金属切梁材 1段(100m当り)								
			式	1				
水圧ポンプ賃料 (100m当り)								
			式	1				
諸雑費(まるめ)		まるめ						
			式	1				
計								
単価								
							円/m	

2 次 単 価 表(参考資料) (附帶工事)

單價使用年月	2025.04
步掛適用年月	2025.04
勞務調整係數	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

[illegible]

2 次 単 価 表(参考資料) (附帯工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 40号	ポンプ運転工	作業時排水 商用電源 ポンプ 台数 (実数入力) 1台	単位	日	割戻数量	1	単価	
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額		摘要
特殊作業員								
			人					
普通作業員								
			人					
工事用水中ポンプ [普通型] 潜水ポンプ 口径 φ 50mm 全揚程5m								
			日					
諸雑費		率+まるめ						
			式	1				
計								
単価								
							円/日	

2 次 単 価 表(参考資料) (附帶工事)

單價使用年月	2025.04
步掛適用年月	2025.04
勞務調整係數	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

[illegible]

2 次 単 価 表(参考資料) (附帯工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 42号	ブロック 蓋 受枠 可とう継手等		単位	式	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
マンホール(浮上防止型)T-14 マーク入 ロック付転落防止用梯子								
			個	1				
無収縮モルタル 25kg								
			袋	1				
調整金具 h=25mm								
			個	1				
調整リング 600×100mm								
			個	1				
組立式マンホール 1 号 斜壁 600×900×600(JSWAS A-11)								
			個	1				
組立式マンホール 1 号 く体ブロック900×1200(JSWAS A-11)								
			個	1				
組立式マンホール 1 号 底版 有効高130 (JSWAS A-11)								
			個	1				
計								

2 次 単 価 表(参考資料) (附帯工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 43号	組立マンホール設置工（市場単価）	1号(900mm) 3m以下 4箇所未満 無 無	単位	箇所	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
組立マンホール設置工 1号(900mm) 3m以下 単価補正1.150								
			箇所	1				
諸雑費(まるめ)		まるめ						
			式	1				
計								
単価							円/箇所	

2 次 単 価 表(参考資料) (附帯工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 44号	モルタル上塗り マンホール用	配合比1:2 モルタル厚さ(10~30mm)(実数入力)20mm 高炉	単位	m2	割戻数量	1	単価	
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
左官								
			人					
普通作業員								
			人					
モルタル練工 配合比1:2								
			m3	0.02				
諸雑費(まるめ)		まるめ						
			式	1				
計								
単価							円/m2	

2 次 単 価 表(参考資料) (附帯工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 45号	ます設置工(塩化ビニル製) (市場単価)	ます径 200mm 5箇所未満 無 無 無	単位	箇所	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
塩化ビニル製ます設置工(材工共) ます(径200) 単価補正1.100								
			箇所	1				
計								
単価							円/箇所	

2 次 単 価 表(参考資料) (附帯工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 46号	取付管布設および支管取付工（市場単価）	管径 150mm 5箇所未満 無 無 有 無	単位	箇所	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
取付管布設及び支管取付工(材工共) 管径150 単価補正0.935								
			箇所	1				
諸雑費(まるめ)		まるめ						
			式	1				
計								
単価							円/箇所	

2 次 単 価 表(参考資料) (附帯工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 47号	取付管布設および支管取付工 (市場単価)	管径 150mm 5箇所未満 無 無 無 有	単位	箇所	割戻数量	1	単価	
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	取付管布設及び支管取付工(材工共)							
	管径150		箇所	1				
	単価補正1.265							
	諸雑費(まるめ)	まるめ						
			式	1				
	計							
	単価							
							円/箇所	

2 次 単 価 表(参考資料) (附帯工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 48号	処分費(m3)		単位	m3	割戻数量	100	単価	
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	処分費							
	As		m 3	100				
	計							
	単価							
							円/m3	

2 次 単 価 表(参考資料) (附帯工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 49号	交通誘導警備員B		単位	人日	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
交通誘導警備員 B								
			人	1				
計								
単価								
							円/人日	

2 次 単 価 表(参考資料) (附帯工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 50号	仮設材等の運搬 (鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)	関東・中部・近畿 片道運搬距離(実数入力)10km 12m以内 各種(実数入	単位	t	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
基本運賃区分A 製品長12m以内 10kmまで 単価補正2.000								
			t	1				
計								
単価								
							円/t	

2 次 単 価 表(参考資料) (附帯工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 51号	仮設材等の積込み取卸し費	積込み、取卸し(往復分)	単位	t	割戻数量	1	単価	
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	積込み、取卸し費(仮設材等)							
			t	2				
	計							
	単価						円/t	

2 次 単 価 表(参考資料) (附帯工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 52号	家屋調査費(一式)		単位	式	割戻数量	1	単価	
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	物件補償費							
			式	1				
	計							

2 次 単 価 表(参考資料) (附帯工事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

単 53号	施工調査費		単位	式	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
管内カメラ調査 L=400m								
			式	1				
計								

構成比（附帯工事）

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

施 1号	土材料		単位		m3	割戻数量	1	単価	
名称・規格		標準 名称・規格	単位		構成比	単価	金額		摘要
再生クラッシャーラン RC－40		材料費	標	式 (100)					
				m 3					
計									
単価									
									円/m3

構 成 比 (附 帯 工 事)

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

施 2号	基礎碎石	17.5cmを超え20.0cm以下 再生クラッシャーラン 40～0 全ての費用	単位	m2	割戻数量	1	単価	
名称・規格		標準 名称・規格	単位	構成比	単価	金額		摘要
バックホウ(クローラ) [標準] 山積0.8m3(平積0.6m3)		バックホウ (クローラ) [標準] 山積0.8 m 3 (平積0.6 m 3)	標	日	(4.96)			
				日				
その他(機械)								
普通作業員		普通作業員	標	人	(33.14)			
				人				
特殊作業員		特殊作業員	標	人	(14.04)			
				人				
運転手 (特殊)		運転手 (特殊)	標	人	(13.23)			
				人				
土木一般世話役		土木一般世話役	標	人	(8.28)			
				人				
その他(労務)								
再生クラッシャーラン RC-40		再生クラッシャーラン RC-40	標	m3	(21.33)			
				m 3				
軽油		軽油	標	L	(4.48)			
				L				
その他(材料)								
諸雑費								

構成比 (附帶工事)

單價使用年月	2025.04			
步掛適用年月	2025.04			
勞務調整係數	1.000-0000-0-1.00	0.0	0	

[illegible]

構 成 比 (附 帯 工 事)

施 3号		インパートコンクリート	無筋・鉄筋構造物 人力打設 18-8-40（高炉）養生無し 無し 全ての費用	単位	m3	割戻数量	1	単価	
名称・規格		標準 名称・規格		単位	構成比	単価	金額		摘要
普通作業員		普通作業員		標	人 (11.44)				
					人				
特殊作業員		特殊作業員		標	人 (7.77)				
					人				
土木一般世話役		土木一般世話役		標	人 (6.06)				
					人				
その他(労務)									
生コンクリート 18-8-40 高炉		生コンクリート 24-12-25（20）高炉		標	m3 (72.96)				
					m 3				
諸雑費									
計									
単価									
									円/m3

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

構 成 比（附帯工事）

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

施 4号	掘削	土砂 上記以外（小規模） 小規模（標準）	単位	m3	割戻数量	1	単価	
名称・規格		標準 名称・規格	単位	構成比	単価	金額		摘要
バックホウ(クローラ) [標準] 排ガス型(第2次) 山積0.28m3		バックホウ（クローラ） [標準] 排ガス型（第2次） 山積0.28m3	標	時間	(27.26)			
				供用日				
運転手（特殊）		運転手（特殊）	標	人	(61.7)			
				人				
軽油		軽油	標	L	(11.04)			
				L				
諸雑費								
計								
単価								円/m3

--	--	--	--	--	--	--	--	--

構 成 比（附帯工事）

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

施 5号	掘削	土砂 現場制約あり	単位		m3	割戻数量	1	単価	
名称・規格		標準 名称・規格	単位		構成比	単価	金額		摘要
普通作業員		普通作業員	標	人 (100)					
				人					
計									
単価									円/m3

構成比（附帯工事）

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

施 6号	運搬	アスファルト塊 無し 11.5km以下	単位	m3	割戻数量	1	単価	
名称・規格		標準 名称・規格	単位	構成比	単価	金額		摘要
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級（タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む）		ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 4 t 積級（タイヤ損耗費及び補修費（良好）含む）	標	時間	(23.93)			
				供用日				
運転手（一般）		運転手（一般）	標	人	(62.6)			
				人				
軽油		軽油	標	L	(13.47)			
				L				
諸雑費								
計								
単価								円/m3

--	--	--	--	--	--	--	--	--

構 成 比 (附 帯 工 事)

単価使用年月	2025. 04
歩掛適用年月	2025. 04
労務調整係数	1. 000-0000-0-1. 00 0. 0 0

施 7号	舗装版切断	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm以下 全ての費用	単位	m	割戻数量	1	単価	
名称・規格		標準 名称・規格	単位	構成比	単価	金額		摘要
コンクリートカッタ〔バキューム式(超低騒音型)〕 湿式 切削深20cm級 ブレード径φ56cm		コンクリートカッタ〔バキューム式(超低騒音型)〕 湿式 切削深20cm級 ブレード径φ56cm	標	日 (10. 49)				
				供用日				
その他(機械)								
特殊作業員		特殊作業員	標	人 (19. 6)				
				人				
土木一般世話役		土木一般世話役	標	人 (10. 55)				
				人				
普通作業員		普通作業員	標	人 (8. 73)				
				人				
その他(労務)								
コンクリートカッタ (ブレード) 径18インチ		コンクリートカッタ (ブレード) 径18インチ	標	枚 (23. 29)				
				枚				
ガソリン レギュラー		ガソリン レギュラー	標	L (2. 83)				
				L				
その他(材料)								
諸雑費								
計								

構 成 比（附帯工事）

単価使用年月	2025. 04
歩掛適用年月	2025. 04
労務調整係数	1. 000-0000-0-1. 00 0. 0 0

施 7号	舗装版切断	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm以下 全ての費用	単位		m	割戻数量	1	単価	
名称・規格		標準 名称・規格	単位		構成比	単価	金額		摘要
単価									円/m

構成比（附帯工事）

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

施 8号	舗装版破碎積込		単位	m2	割戻数量	1	単価	
名称・規格		標準 名称・規格	単位	構成比	単価	金額		摘要
バックホウ(クローラ) [超小旋回型・クレーン機能付き] 山積0.28m3 (平積0.2m3) 1.7t吊		バックホウ (クローラ) [超小旋回型・クレーン機能] 山積0.28m3 (平積0.2m3) 1.7t吊	標	日	(4.78)			
				日				
普通作業員		普通作業員	標	人	(53.88)			
				人				
土木一般世話役		土木一般世話役	標	人	(23.25)			
				人				
運転手 (特殊)		運転手 (特殊)	標	人	(15.6)			
				人				
軽油		軽油	標	L	(2.49)			
				L				
諸雑費								
計								
単価								円/m2

構 成 比（附帯工事）

単価使用年月 歩掛適用年月 労務調整係数	2025.04 2025.04 1.000-0000-0-1.00 0.0 0
----------------------------	---

施 9号	上層路盤（車道・路肩部）	路盤材（碎石各種） 全仕上り厚（実数入力）200mm 2 層施工 全ての費用	単位	m2	割戻数量	1	単価	
名称・規格		標準 名称・規格	単位	構成比	単価	金額		摘要
モータグレーダ [土工用・排ガス対策型(第2次)] ブレード幅3.1m		モータグレーダ [土工用・排ガス対策型（第2次）] ブレード幅3. 1 m	標	時間	(4.83)			
				供用日				
ロードローラ [マカダム・排ガス対策型(第2次)] 運転質量10t 締固め幅2.1m		ロードローラ [マカダム・排ガス対策型（第2次）] 運転質量10 t 締固め幅2. 1 m	標	時間	(3.83)			
				供用日				
タイヤローラ [普通型] 運転質量8～20t		タイヤローラ [普通型] 運転質量8～20 t	標	日	(1.24)			
				日				
その他(機械)								
運転手（特殊）		運転手（特殊）	標	人	(18.87)			
				人				
特殊作業員		特殊作業員	標	人	(6.26)			
				人				
普通作業員		普通作業員	標	人	(6.11)			
				人				
土木一般世話役		土木一般世話役	標	人	(1.84)			
				人				
その他(労務)								
再生クラッシャーラン RC-40 単価補正200.000		再生粒度調整碎石 RM-40 全仕上り厚 200mm	標	式	(43.39)			
				m3				
軽油		軽油	標	L	(3.43)			
				L				

構成比（附帯工事）

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

施 9号	上層路盤（車道・路肩部）	路盤材（碎石各種） 全仕上り厚（実数入力）200mm 2 層施工 全ての費用	単位	m2	割戻数量	1	単価	
名称・規格		標準 名称・規格	単位	構成比	単価	金額		摘要
その他(材料)								
諸雑費								
計								
単価								円/m2

構 成 比 (附帯工事)

単価使用年月 歩掛適用年月 労務調整係数	2025.04 2025.04 1.000-0000-0-1.00 0.0 0
----------------------------	---

施 10号	表層 (車道・路肩部)	1.4m未満 (仕上厚50mm以下) 1層当平均仕上厚 50mm 以下50mm 再生密粒度アスコン (20) プライムコート PK-	単位	m2	割戻数量	1	単価	
名称・規格		標準 名称・規格	単位	構成比	単価	金額		摘要
振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量0.5~0.6t		振動ローラ (舗装用) [ハンドガイド式] 運転質量0.5~0.6t	標	時間	(0.24)			
				供用日				
振動コンパクタ [前進型] 機械質量40~60kg		振動コンパクタ [前進型] 機械質量40~60kg	標	日	(0.13)			
				供用日				
その他 (機械)								
特殊作業員		特殊作業員	標	人	(18.71)			
				人				
普通作業員		普通作業員	標	人	(13.4)			
				人				
土木一般世話役		土木一般世話役	標	人	(4.05)			
				人				
その他 (労務)								
再生アスファルト混合物 再生密粒度アスコン (20) 単価補正50.000		アスファルト混合物 密粒度 (20) 平均仕上り厚 50mm	標	式	(52.51)			
				t				
アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用		アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	標	L	(4.54)			
				L				
ガソリン レギュラー		ガソリン レギュラー	標	L	(0.16)			
				L				
軽油		軽油	標	L	(0.03)			
				L				

構成比（附帯工事）

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

施 10号	表層（車道・路肩部）	1. 4m未満（仕上厚50mm以下） 1層当平均仕上厚 50mm 以下50mm 再生密粒度アスコン（20） フライムコート PK-	単位	m2	割戻数量	1	単価	
名称・規格		標準 名称・規格	単位	構成比	単価	金額		摘要
その他(材料)								
諸雑費								
計								
単価								円/m2

構成比（附帯工事）

単価使用年月	2025.04
歩掛適用年月	2025.04
労務調整係数	1.000-0000-0-1.00 0.0 0

施 11号	タンバ締固め	全ての費用	単位	m3	割戻数量	1	単価	
名称・規格		標準 名称・規格	単位	構成比	単価	金額		摘要
タンバ 及びランマ 質量 60～80kg		タンバ及びランマ 質量 6 0 ～ 8 0 k g	標	日	(1.24)			
				日				
特殊作業員		特殊作業員	標	人	(51.22)			
				人				
普通作業員		普通作業員	標	人	(45.83)			
				人				
ガソリン レギュラー		ガソリン レギュラー	標	L	(1.71)			
				L				
諸雑費								
計								
単価								円/m3

--	--	--	--	--	--	--	--	--

機労材集計リスト（材料）（附帯工事）

工事名	御所汚水9号幹線9工区 管路築造工事					
単価コード	名称	規格	単位	数量	金額	摘要
Y007600000001	処分費	残土	m 3	69.4		
Y007600000002	処分費	As	m 3	2.2		
Y008110000	物件補償費		式	1		
Y0G5010030001	腹起し材質料	1段(100m当り)	式	0.43		
Y0G5020020001	切梁材質料	軽量金属切梁材 1段(100m当り)	式	0.43		
Y0G5030020001	水圧ポンプ賃料	(100m当り)	式	0.43		
Y7G0010020001	モルタル練工	配合比1：2	m3	0.044		
Z002122003	再生クラッシャーラン	R C - 4 0	m 3	13.944		
Z006702002	軽油		L	221.702		
Z006800001001	積込み、取卸し費（仮設材等）		t	1.6		
Z006810001001	基本運賃区分A	製品長12m以内 10kmまで	t	0.8		
Z010020045	タイヤ損耗費	4 t 積級 良好 供用日	供用日	5.37		
ZA04593150	組立式マンホール1号	斜壁 600×900×600(JSWAS A-11)	個	1		
ZA04593240	組立式マンホール1号	く体ブ ^ラ ック900×1200(JSWAS A-11)	個	1		
ZA04593270	組立式マンホール1号	底版 有効高130 (JSWAS A-11)	個	1		
ZA04594040	マンホール(浮上防止型)T-14 マーク入	ロック付転落防止用梯子	個	1		
	判別中計					

機労材集計リスト (材料) (附帯工事)

[illegible]

機材集計リスト (材料) (附帯工事)

[illegible]

施工パッケージ 機労材集計リスト (材料) (附帯工事)

工事名	御所污水9号幹線9工区 管路築造工事					
単価コード	名称	規格	単位	数量	金額	摘要
Z002012010	生コンクリート	1 8 - 8 - 4 0 高炉	m 3	0. 61		
Z002122003	再生クラッシャーラン	R C - 4 0	m 3	54. 596		
Z004101003	再生アスファルト混合物	再生密粒度アスコン (2 0)	t	5. 522		
Z004130002	アスファルト乳剤	P K - 3 プライムコート用	L	55. 171		
Z006540009	コンクリートカッタ (ブレード)	径1 8 インチ	枚	0. 226		
Z006702002	軽油		L	34. 145		
Z006704001	ガソリン	レギュラー	L	22. 451		
	その他(材料)		式	1		
	諸雑費		式	1		
	判別中計					
	トータル額					

都整第 号

御所污水9号幹線9工区 管路築造工事

御所市 幸町 地内

【補助】数量計算書

御所市産業建設部都市整備課

内径200 管布設工 数量集計表

補助

市道

1/2

名 称	仕 様	単位	数 量	備 考
路線延長		m	173.20	
管体延長	PRP 内径200	//	168.70	
硬質塩化ビニル管	ゴム輪受口片受直管 PRP φ 200, l=4.0m	本	43	
//	上流 マンホール用 可とう継手	個	5	
//	下流 マンホール用 可とう継手	//	5	
//	1=1.0m マンホール継手 外副管用	本		
//	1=1.0m マンホール継手 内副管用	本		
接着カラー	φ 200用	個	5	
土 留 工	素掘	m	—	
//	アルミ矢板 1.50m	//	—	
//	アルミ矢板 2.00m	//	—	
//	アルミ矢板 2.50m	//	—	
//	アルミ矢板 3.00m	//	133.80	
//	アルミ矢板 3.50m	//	38.50	
//	アルミ矢板 4.00m	//	—	
//	軽量金属支保工 1 段	//	—	
//	軽量金属支保工 2 段	//	172.30	
//	軽量金属支保工 3 段	//	—	
管布設工	PRP φ 200	m	168.70	

2/2

[illegible]

第 1 工区 内径 200 mm 補助

・管材料	直管	40	+	+	3	=	43	本
	カラー	5	-	-	3	=	2	個
・基礎量	素掘路線	0.227	×	×		=		m ³
	土留路線	0.332	×	×	167.950	=	55.76	m ³
						基礎量合計	55.76	m ³

管渠土工計算表

第 1 工区

内径200 mm

補助

鋪裝構成 表層 $t_1 = 0.05\text{m}$ 路盤 $t_2 = 0.20\text{m}$

市道

管 番 号	マン ホー ル 番号	マン ホー ル 種別	距離			土 工 量															備 考	
			区 間	立坑減長	掘 削 長	掘 削 深	平均掘削深	掘 削 幅		舗 装 幅	掘 削 工 事					埋 戻 工 事						
								土 留	(素掘 平均幅掘)		掘 削 種 別	埋 戻 控 除			埋 戻 種 別							
												基礎 礎石	路盤 等	控 除 計	山 土		人 力					
															機 械							
															V2 (m³)= 1'×B1 × t 1	ハックホウ 0.20 m³級						
V1 (m³) =1'×B×h	V (m³)=V1-V2			1'×1m当 単位数量	1'×B2 × t 2	V3 (m³)	V' (m³)=V-V3															
2120	3 4	1 1	8.00	0.90	7.10	2.46 2.29	2.38	0.90		0.900	15.2	0.3	14.9			2.6	1.3	3.9	11.0			
2120	4 5	1 1	46.00		46.00	2.27 2.78	2.53	0.90		0.900	104.7	2.1	102.6			16.8	8.3	25.1	77.5			
2117-5	5 6	1 1	38.50		38.50	2.76 2.97	2.87	0.90		0.900	99.4	1.7	97.7			14.1	6.9	21.0	76.7			
2119	33	1	27.00		27.00	2.33 2.40	2.37	0.90		0.900	57.6	1.2	56.4			9.9	4.9	14.8	41.6			
2119	34	1	53.70		53.70	2.37 2.44	2.41	0.90		0.900	116.5	2.4	114.1			19.6	9.7	29.3	84.8			
小計			173.20	0.90	172.30						393.4	7.7	385.7			63.0	31.1	94.1	291.6			
<div>掘削幅 土留 掘削幅 B=0.90m 素掘 掘削底面幅 B=0.60m</div> <div>床付 172.30 × 0.90 = 155.1m2</div>																						

第 1 工区 内径 200 mm 補助

内径200

mm

補助

市道

As

假復旧

0.90

0.20	0.05

1号マンホール設置工 数量集計表

開削部

1/2

補助

名 称	仕 様	単位	数 量	備 考
マンホール蓋	浮上防止型 T-25 φ 600 ロック付転落防止用梯子受枠共	組	—	
〃	浮上防止型 T-14 φ 600 ロック付転落防止用梯子受枠共	〃	5	
調 整 金 具		個	5	※不足は単独より (h=25mm×3個、h=45mm×2個)
無収縮モルタル	25Kg	袋	4	
〃	12.5Kg	〃	—	
調整リング	60×5	個	1	
〃	60×10	〃	3	
〃	60×15	〃	1	
斜 壁	60×90×30	個	—	
〃	60×90×45	〃	4	
〃	60×90×60	〃	1	
直 壁	90×90×30	個	1	
〃	90×90×60	〃	1	
〃	90×90×90	〃	—	
〃	90×90×120	〃	—	
〃	90×90×150	〃	—	
〃	90×90×180	〃	—	
躯体ブロック	90×90×60	個	—	
〃	90×90×90	〃	—	
〃	90×90×120	〃	—	
〃	90×90×150	〃	1	
〃	90×90×180	〃	4	
底 版	90用	個	5	

補助

[illegible]

1 号組立マンホール計算書 開削・補助

[illegible]

基礎材数量	単位数量
-------	------

[illegible]

1号組立インバート 単位数量

[illegible]

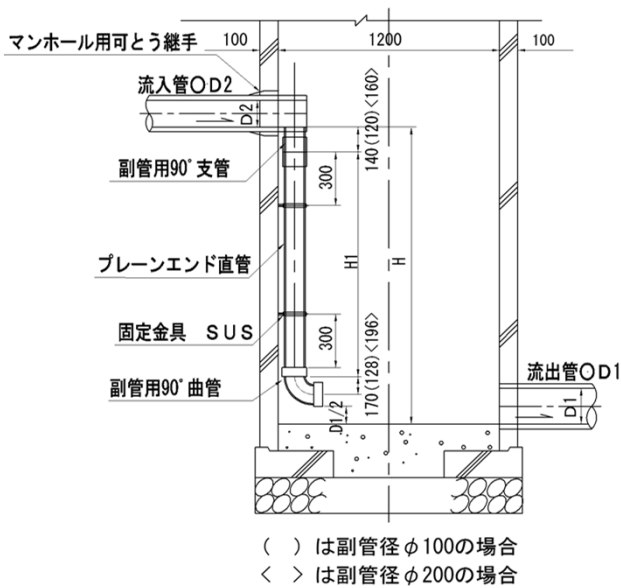
副管取付工 数量計算書

(内副管タイプ 副管径 150)

1/2

算 出 根 拠 と な る 構 造 図

副管取付標準構造図



管番号	マンホールNO.	落差H (m)	H1 (m)	H2 (m)	流入管 (D2)	摘 要
					流出管 (D1)	
2120	3	2.362	1.877	1.869	PRP○200 VP○200	
2118	34	0.886	0.401	0.393	PRP○200 PRP○200	
計	箇所 2	3.248	2.278	2.262		

副管取付工 数量計算書

(内副管タイプ 副管径150)

2/2

[illegible]

汚水枡・取付管工 数量集計表

補助

1/2

名 称	仕 様	単位	数 量	備 考
鋳鉄製防護ふた	(車両乗入用) T-8 φ200用	組	7	
硬質塩化ビニル製ふた	(一般宅地用) ワンタッチ密閉蓋 (AI)	個	11	
硬質塩化ビニル管	フレーション直管 φ200 L=4.0m	m	16.9	
硬質塩化ビニル製 公共枡	φ200 90° 三方向合流(横型)	個	15	
〃	φ200 90° 三方向合流(縦型)	〃	3	
汚水枡設置工	ます深さ 1.00m以下	箇所	8	
	ます深さ 1.50m以下	〃	9	
	ます深さ 2.00m以下	〃	1	
	ます深さ 2.00m以上	〃	—	
取付管 直管	プレーンエンド φ150 l=4.0m	m	95.5	
〃 90° 支管	可とう支管継手 塩ビ管 φ150	本	18	
〃 30° 自在曲管	塩ビ管 φ150	〃	18	
〃 90° 曲管	塩ビ管 φ150	〃	3	
〃 接着受口カバー	塩ビ管 φ150	〃	18	
〃 キャップ	φ150	個	—	
支管取付工	φ200×150	箇所	18	
取付管布設工	塩ビ管 φ150 H=1.5m以下	m	95.46	n=4箇所 L≤3.0m L=10.38m
				n=1箇所 3.0<L≤5.0m L=3.47m
				n=13箇所 5.0<L≤12.0m L=81.61m

数量集計表

補助

[illegible]

本管φ 200

汚水柵及び取付管数量計算表

補助

管 番 号	マン ホー ル 番 号	柵 番 号	柵									境界延長	布設延長	管 径	支 管	曲 管			接着 受口 カラー	汚 水 柵 高	備 考
			柵 種 別		蓋		立 管			キヤ ッ プ											
											塩ビ製 φ200										
			標準	ト ^ッ ロツプ ^プ	塩ビ製	T-8	管 径	長 さ	直 管												
			個	個	個	組	mm	m	L=4.0m 本		ケ										
2117-5	5	81	1			1		200	0.797	0.20		5.80	6.07	φ150	1	1		1	1.00		
	6																				
"	5	82	1				1	200	0.665	0.17		5.80	6.07	φ150	1	1		1	1.00		
	6																				
"	5	83	1				1	200	0.565	0.14		5.80	6.07	φ150	1	1		1	0.90		
	6																				
"	5	84	1				1	200	0.965	0.24		5.80	6.07	φ150	1	1		1	1.30		
	4																				
2120	5	85	1				1	200	0.965	0.24		5.80	6.07	φ150	1	1		1	1.30		
	4																				
"	5	86	1			1		200	0.997	0.25		5.80	6.07	φ150	1	1		1	1.20		
	4																				
"	5	87	1				1	200	0.765	0.19		5.80	6.07	φ150	1	1		1	1.10		
	33																				
2119	34	131	1			1		200	1.197	0.30		6.00	6.27	φ150	1	1		1	1.40		
	33																				
"	34	132	1				1	200	0.965	0.24		2.40	2.67	φ150	1	1		1	1.30		
	33																				
"	34	133		1		1		200	1.497	0.37		6.80	7.07	φ150	1	1	1	1	1.70		
	33																				
"	34	134	1			1		200	0.797	0.20		5.50	5.77	φ150	1	1		1	1.00		
	33																				
"	34	135	1			1		200	0.797	0.20		2.30	2.57	φ150	1	1		1	1.00		
	33																				
"	34	136		1		1		200	1.297	0.32		7.20	7.47	φ150	1	1	1	1	1.50		
	33																				
"	34	137	1			1		200	1.197	0.30		3.20	3.47	φ150	1	1		1	1.40		
	5																				
"	33	138	1			1		200	0.797	0.20		5.40	5.67	φ150	1	1		1	1.00		
	5																				
"	33	139	1			1		200	0.797	0.20		2.30	2.57	φ150	1	1		1	1.00		
	5																				
"	33	140	1				1	200	0.565	0.14		2.30	2.57	φ150	1	1		1	0.90		
	5																				
"	33	141		1		1		200	1.297	0.32		6.60	6.87	φ150	1	1	1	1	1.50	取付管≦3.00m L=10.38m	
	5																				
																				3.00<取付管≦5.00m L=3.47m	
																				5.00<取付管≦12.00m L=81.61m	
																				柵深≦1.00m 8 箇所	
																				1.00<柵深≦1.50m 9 箇所	
																				1.50<柵深≦2.00m 1 箇所	
計			15	3		11	7		16.922	4.22		90.60	95.46		18	18	3	18		ブ ^レ ーンエント ^ラ 直管 95.46 ÷ 4.00 = 23.87	

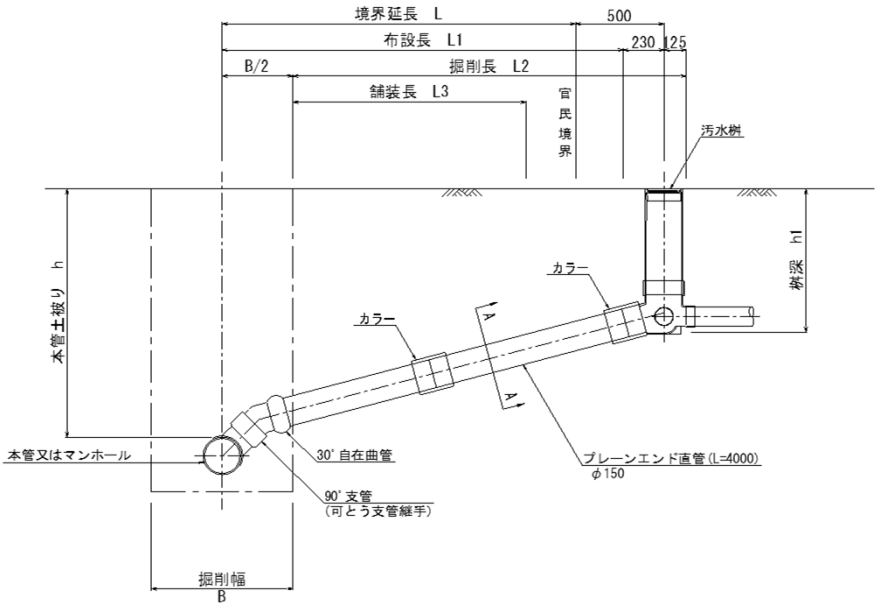
本管φ 200

取付管土工数量計算表

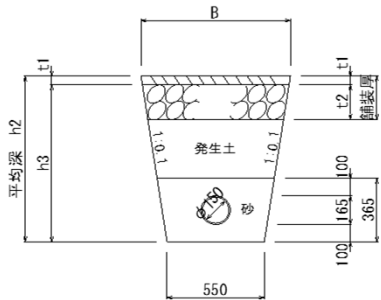
補助

管 番 号	マン ホール 番号	桝 番 号	桝 種 別	中心延長	掘 削 長	本 管			桝 深	平均掘削深	加 重 値	舗 装 長	備 考	
						掘 削 幅	土 被 り	平均土被り						
				ℓ=L+0.5	L2= ℓ-B/2+桝幅/2	B	h	平均h	h1	h2	L2×h2	L3		
				ヶ	m	m	m	m	m	m	m2	m		
2117-5	5	81	塩ビ	6.30	5.98	0.900	2.45	2.56	1.00	1.78	10.64	4.55		
	6						2.66							
	5						2.45							
〃	6	82	塩ビ	6.30	5.98	0.900	2.66	2.56	1.00	1.78	10.64	4.55		
	5						2.45							
〃	6	83	塩ビ	6.30	5.98	0.900	2.66	2.56	0.90	1.73	10.35	4.55		
	5						2.45							
〃	6	84	塩ビ	6.30	5.98	0.900	2.66	2.56	1.30	1.93	11.54	4.55		
	4						1.96							
2120	5	85	塩ビ	6.30	5.98	0.900	2.47	2.22	1.30	1.76	10.52	4.55		
	4						1.96							
〃	5	86	塩ビ	6.30	5.98	0.900	2.47	2.22	1.20	1.71	10.23	4.55		
	4						1.96							
〃	5	87	塩ビ	6.30	5.98	0.900	2.47	2.22	1.10	1.66	9.93	4.55		
	33						2.07							
2119	34	131	塩ビ	6.50	6.18	0.900	2.14	2.11	1.40	1.76	10.88	5.10		
	33						2.07							
〃	34	132	塩ビ	2.90	2.58	0.900	2.14	2.11	1.30	1.71	4.41	1.50		
	33						2.07							
〃	34	133	塩ビ	7.30	6.98	0.900	2.14	2.11	1.70	1.91	13.33	5.90		
	33						2.07							
〃	34	134	塩ビ	6.00	5.68	0.900	2.14	2.11	1.00	1.56	8.86	4.60		
	33						2.07							
〃	34	135	塩ビ	2.80	2.48	0.900	2.14	2.11	1.00	1.56	3.87	1.40		
	33						2.07							
〃	34	136	塩ビ	7.70	7.38	0.900	2.14	2.11	1.50	1.81	13.36	6.30		
	33						2.07							
〃	34	137	塩ビ	3.70	3.38	0.900	2.14	2.11	1.40	1.76	5.95	2.30		
	5						2.02							
〃	33	138	塩ビ	5.90	5.58	0.900	2.10	2.06	1.00	1.53	8.54	4.50		
	5						2.02							
〃	33	139	塩ビ	2.80	2.48	0.900	2.10	2.06	1.00	1.53	3.79	1.40		
	5						2.02							
〃	33	140	塩ビ	2.80	2.48	0.900	2.10	2.06	0.90	1.48	3.67	1.40		
	5						2.02							
〃	33	141	塩ビ	7.10	6.78	0.900	2.10	2.06	1.50	1.78	12.07	5.70		
計				99.60	93.84						162.58	71.95		

取付管布設標準図
本管φ200 補助



A-A断面図
(取付管埋戻し図)



B 1 =	0.897 m
B 2 =	0.887 m
B 3 =	0.847 m
h 2 =	1.733 m
h 3 =	1.683 m
h 4 =	1.118 m
t 1 =	0.050 m
t 2 =	0.200 m

加重値：	取付管土工数量計算書より	162.58 m
掘削長：	取付管土工数量計算書より	93.84 m
舗装長：	取付管土工数量計算書より	71.95 m
平均深：	$162.58/93.84=1.733$	1.733 m
掘削：	$(0.887 + 0.550) / 2 \times 1.683 \times 93.84 = 113.47$	113.47 m ³
埋戻 (発生土)：	$(0.847 + 0.623) / 2 \times 1.118 \times 93.84 = 77.11$	77.11 m ³
残土処分：	$113.47 - 77.11 = 36.36$	36.36 m ³
基礎長：	$93.84 - \underbrace{(0.216 \times 18)}_{\phi 200} = 89.95$	89.95 m
砂基礎：	$0.193 \times 89.95 = 17.36$	17.36 m ³
キカイ：	$113.47 \times 71.95/93.84=87.00$	87.00 m ³
人力：	$113.47 - 87.00 = 26.47$	26.47 m ³
舗装切断：	$71.95 \times 2 = 143.90$	143.90 m
仮復旧工 表層工 As撤去工	$71.95 \times 0.897 = 64.54$	64.54 m ²
路盤工：	$71.95 \times (0.887 + 0.847) \times 1/2 = 62.38$	62.38 m ²
A s 処分工：	$64.54 \times 0.05 = 3.23$	3.23 m ³

舖 裝 工 集 計 表 (1 / 2)

仮復旧工 (補助)

[illegible]

舖 裝 工 集 計 表 (2 / 2)

仮復旧工 (補助)

[illegible]

舗装工（開削部） 数量集計表

[illegible]

舗装工（取付管部） 数量集計表

[illegible]

都整第 号

御所污水9号幹線9工区 管路築造工事

御所市 幸町 地内

【单独】数量計算書

御所市産業建設部都市整備課

内径200 管布設工 数量集計表

単独

市道

1/2

名 称	仕 様	単位	数 量	備 考
路線延長		m	43.00	
管体延長	PRP 内径200	//	42.10	
硬質塩化ビニル管	ゴム輪受口片受直管 PRP φ 200, l=4.0m	本	11	
//	上流 マンホール用 可とう継手	個	1	
//	下流 マンホール用 可とう継手	//	1	
//	1=1.0m マンホール継手 外副管用	本		
//	1=1.0m マンホール継手 内副管用	本		
接着カラー	φ 200用	個	1	
土 留 工	素掘	m	—	
//	アルミ矢板 1.50m	//	—	
//	アルミ矢板 2.00m	//	43.00	
//	アルミ矢板 2.50m	//	—	
//	アルミ矢板 3.00m	//	—	
//	アルミ矢板 3.50m	//	—	
//	アルミ矢板 4.00m	//	—	
//	軽量金属支保工 1 段	//	43.00	
//	軽量金属支保工 2 段	//	—	
//	軽量金属支保工 3 段	//	—	
管布設工	PRP φ 200	m	42.10	

数量集計表

市道

2/2

[illegible]

管渠布設計算表

内径200 mm 单独

[illegible]

管渠土工計算表

内径200 mm

单独

鋪裝構成 表層 $t_1 = 0.05\text{m}$ 路盤 $t_2 = 0.20\text{m}$

市道

[illegible]

内径200 mm 单独

As

0.20 0.05

1号マンホール設置工 数量集計表

開削部

1/2

単独

名 称	仕 様	単位	数 量	備 考
マンホール蓋	浮上防止型 T-25 φ 600 ロック付転落防止用梯子受枠共	組	—	
〃	浮上防止型 T-14 φ 600 ロック付転落防止用梯子受枠共	〃	1	
調 整 金 具		個	1	(h=25mm×1個)
無収縮モルタル	25Kg	袋	—	
〃	12. 5Kg	〃	1	
調整リング	60×5	個	—	
〃	60×10	〃	1	
〃	60×15	〃	—	
斜 壁	60×90×30	個	—	
〃	60×90×45	〃	—	
〃	60×90×60	〃	1	
直 壁	90×90×30	個	—	
〃	90×90×60	〃	—	
〃	90×90×90	〃	—	
〃	90×90×120	〃	—	
〃	90×90×150	〃	—	
〃	90×90×180	〃	—	
躯体ブロック	90×90×60	個	—	
〃	90×90×90	〃	—	
〃	90×90×120	〃	1	
〃	90×90×150	〃	—	
〃	90×90×180	〃	—	
底 版	90用	個	1	

開削部

2/2

单独

[illegible]

1号組立マンホール計算書 開削・単独

[illegible]

基礎材数量	単位数量
-------	------

[illegible]

1号組立インバート 単位数量

[illegible]

汚水枡・取付管工 数量集計表

単独

1/2

名 称	仕 様	単位	数 量	備 考
鋳鉄製防護ふた	(車両乗入用) T-8 φ200用	組	—	
硬質塩化ビニル製ふた	(一般宅地用) ワンタッチ密閉蓋 (AI)	個	2	
硬質塩化ビニル管	フレーション直管 φ200 L=4.0m	m	2.5	
硬質塩化ビニル製 公共枡	φ200 90° 三方向合流(横型)	個	1	
〃	φ200 90° 三方向合流(縦型)	〃	1	
汚水枡設置工	ます深さ 1.00m以下	箇所	—	
	ます深さ 1.50m以下	〃	1	
	ます深さ 2.00m以下	〃	1	
	ます深さ 2.00m以上	〃	—	
取付管 直管	プレーンエンド φ150 L=4.0m	m	8.6	
〃 90° 支管	可とう支管継手 塩ビ管 φ150	本	2	
〃 30° 自在曲管	塩ビ管 φ150	〃	2	
〃 90° 曲管	塩ビ管 φ150	〃	1	
〃 接着受口ケー	塩ビ管 φ150	〃	2	
〃 キャップ	φ150	個	—	
支管取付工	φ200×150	箇所	2	
取付管布設工	塩ビ管 φ150 H=1.5m以下	m	8.64	n=1箇所 L≤3.0m L=2.77m
				n=0箇所 3.0<L≤5.0m —
				n=1箇所 5.0<L≤12.0m L=5.87m

数量集計表

单独

2/2

[illegible]

单独

[illegible]

本管φ 200

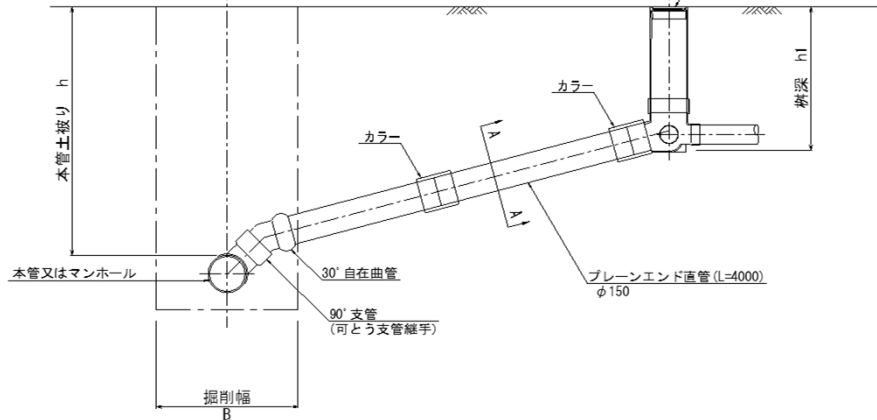
取付管土工数量計算表

単独

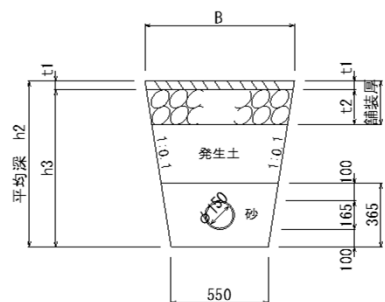
管 番 号	マン ホール 番号	桝 番 号	桝 種 別	中心延長	掘削長	本 管			桝 深	平均掘削深	加重値	舗装長	備 考
						掘削幅	土被り	平均土被り					
						B	h	平均h					
						$\phi=L+0.5$	$\phi=B/2+\frac{L2}{2}+\frac{\text{桝幅}}{2}$	平均h					
				ケ	m	m	m	m	m	m	m2	m	
2117-5	34	129	塩ビ	6.10	5.78	0.900	1.25	1.45	1.10	1.28	7.40	4.70	
	35						1.65						
"	34	130	塩ビ	3.00	2.68	0.900	1.25	1.45	1.80	1.63	4.37	1.60	
	35						1.65						
計				9.10	8.46						11.77	6.30	

取付管布設標準図

本管 ϕ 200 单独



A-A断面図
(取付管理戻し図)



B 1 =	0.828	m
B 2 =	0.818	m
B 3 =	0.778	m
h 2 =	1.391	m
h 3 =	1.341	m
h 4 =	0.776	m
t 1 =	0.050	m
t 2 =	0.200	m

加 重 値	取付管土工数量計算書より	11.77 m
掘 削 長	取付管土工数量計算書より	8.46 m
舗 装 長	取付管土工数量計算書より	6.30 m
平 均 深	$11.77/8.46=1.391$	1.391 m
掘 削	$(0.818 + 0.550) / 2 \times 1.341 \times 8.46 = 7.76$	7.76 m ³
埋 戻 (発生土)	$(0.778 + 0.623) / 2 \times 0.776 \times 8.46 = 4.60$	4.60 m ³
残土処分	$7.76 - 4.60 = 3.16$	3.16 m ³
基 礎 長	$8.46 - \underbrace{(0.216 \times 2)}_{\phi 200} = 8.03$	8.03 m
砂 基 礎	$0.193 \times 8.03 = 1.55$	1.55 m ³
キ カ イ	$7.76 \times 6.30/8.46=5.78$	5.78 m ³
人 力	$7.76 - 5.78 = 1.98$	1.98 m ³
舗装切断	$6.30 \times 2 = 12.60$	12.60 m
仮復旧工 表 層 工 As撤去工	$6.30 \times 0.828 = 5.22$	5.22 m ²
路 盤 工	$6.30 \times (0.818 + 0.778) \times 1/2 = 5.03$	5.03 m ²
A s 処分工	$5.22 \times 0.05 = 0.26$	0.26 m ³

舖 裝 工 集 計 表 (1 / 2)

恢復旧工 (单独)

[illegible]

舖 裝 工 集 計 表 (2 / 2)

仮復旧工 (補助)

[illegible]

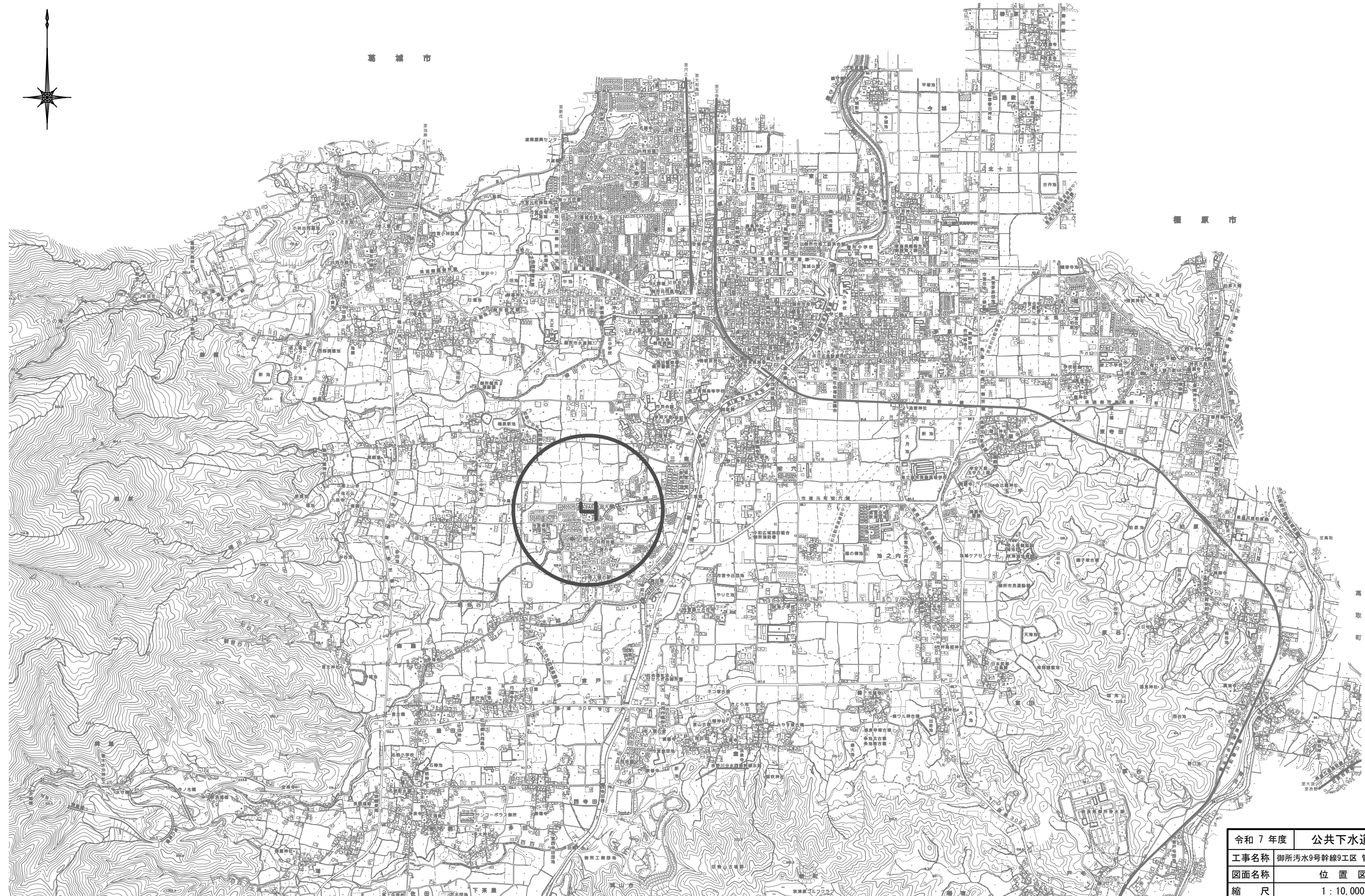
舗装工（開削部） 数量集計表

[illegible]

舗装工（取付管部） 数量集計表

[illegible]

位置図 S=1:10,000



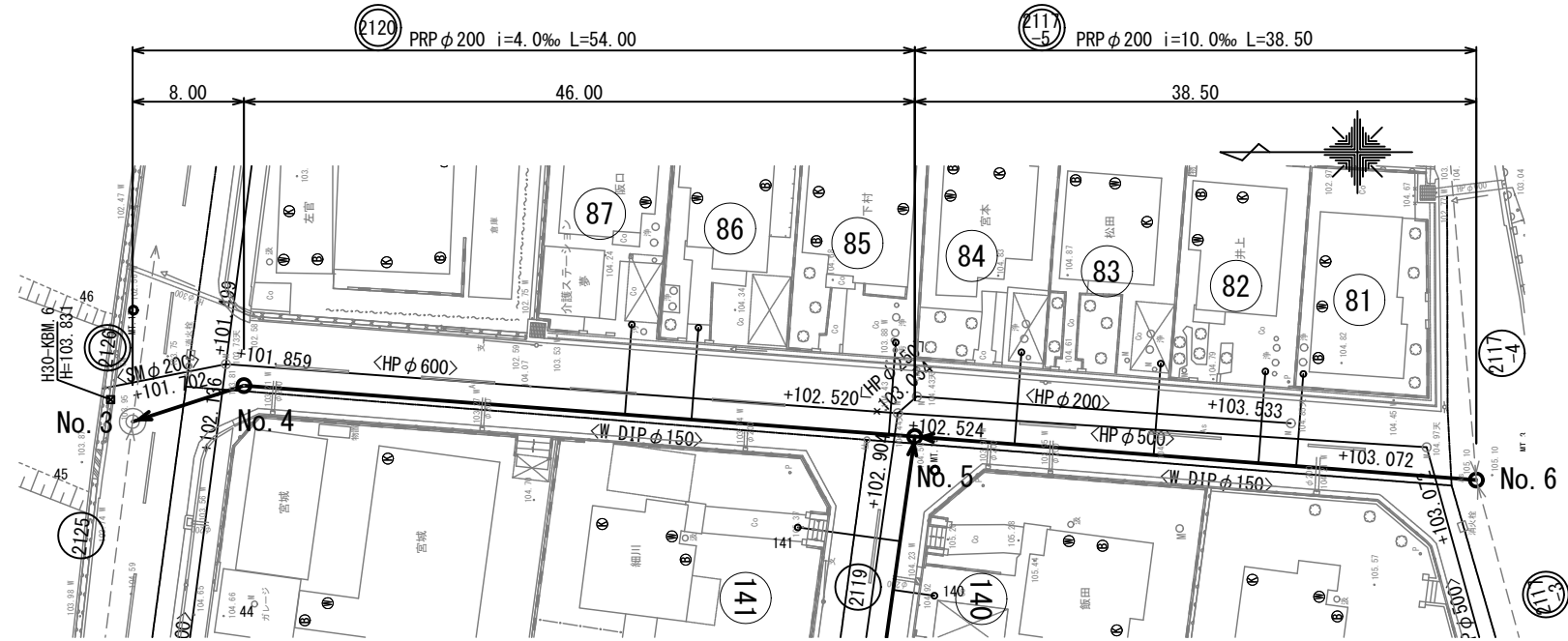
令和 7 年度	公共下水道事業		
工事名称	御所污水9号幹線9工区 管路築造工事		
図面名称	位置図		
縮 尺	1 : 10,000		
施工箇所	御所市 幸町 地内		
図面番号	1 / 10	作成年月日	年 月 日
御所市 産業建設部 都市整備課			



令和 7 年度	公共下水道事業		
工事名称	御所污水9号幹線9工区 管路築造工事		
図面名称	系 統 図		
縮 尺	1:2,500		
施工箇所	御所市 幸町 地内		
図面番号	2 / 10	作成年月日	年 月 日
御所市 産業建設部 都市整備課			

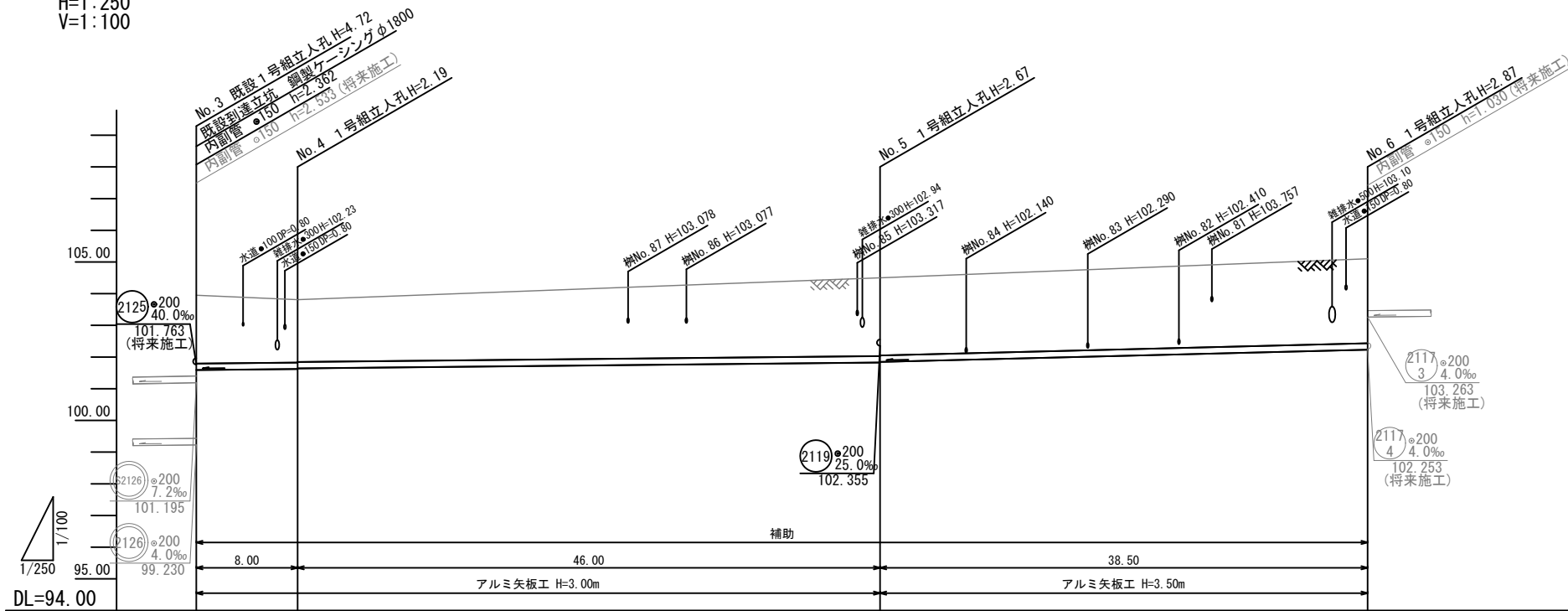
平面図

S=1:250



縦断面図

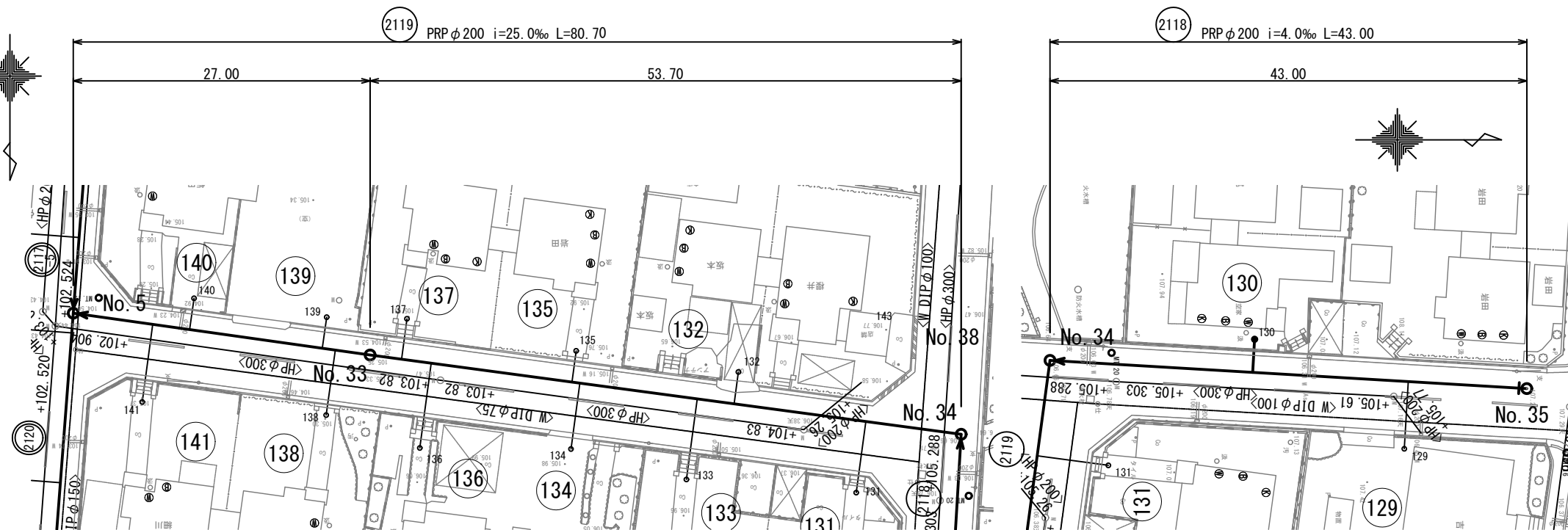
H=1:250
V=1:100



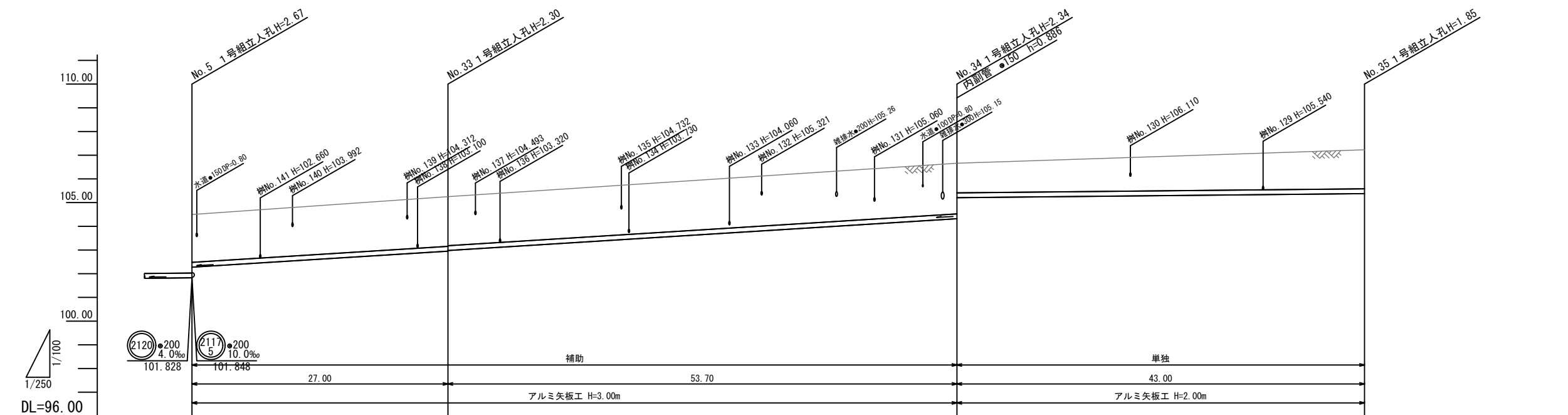
管番号	120		217	
管径	PRP=200		217	
勾配	4.0‰		10.0‰	
管路延長	8.00	46.00	38.50	
管体延長	7.10	45.10	37.60	
土被り	2.16	1.98	2.47	2.45
掘削深	2.46	2.29	2.78	2.76
管底高	101.592	101.624	101.823	101.848
地盤高	103.95	103.81	104.50	105.10
追加距離	0.00	8.00	54.00	92.50

令和 7 年度	公共下水道事業
工事名称	御所污水9号幹線9工区 管路築造工事
図面名称	平面縦断面図 (1)
縮 尺	H=1:500 V=1:100
施工箇所	御所市 幸町 地内
図面番号	3 / 10 作成年月日 年 月 日
御所市 産業建設部 都市整備課	

S=1 : 250



H=1:250
V=1:100



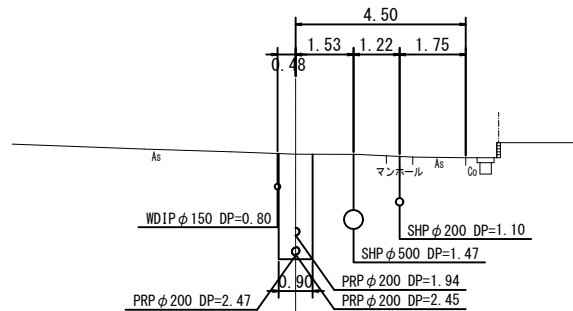
管番号		2119	2119	
管径		PRPφ200		
勾配		25.0‰	4.0‰	
管路延長	27.00	53.70	43.00	
管体延長	26.10	52.80	42.10	
土被り	2.02	2.10 2.07	2.14 1.25	1.65
掘削深	2.33	2.40 2.37	2.44 1.56	1.95
管底高	102.277	102.952 102.880	104.322 105.208	105.380
地盤高	104.50	105.25	106.66	107.23
追加距離	0.00	27.00	80.70	123.70

令和 7 年度	公共下水道事業
工事名称	御所汚水9号幹線9工区 管路築造工事
図面名称	平面縦断図 (2)
縮 尺	H=1:500 V=1:100
施工箇所	御所市 幸町 地内
図面番号	4 / 10 作成年月日 年 月 日
御所市 産業建設部 都市整備課	

横断面図(1) S=1:100

NO. 5

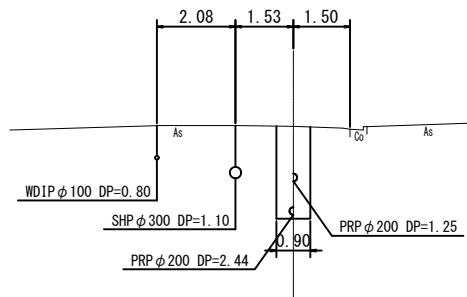
GH=104.50
FH=101.828
FH=101.848
FH=102.355



DL=99.00

NO. 34

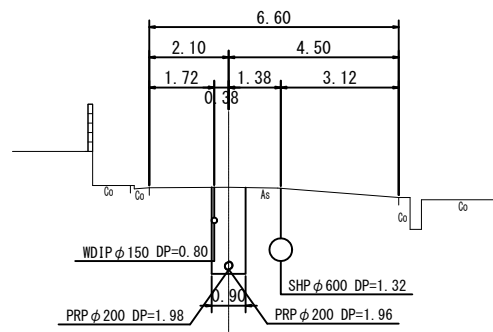
GH=106.66
FH=104.322
FH=105.208



DL=100.00

NO. 4

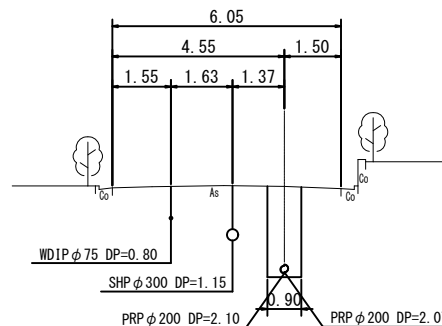
GH=103.81
FH=101.624
FH=101.644



DL=97.00

NO. 33

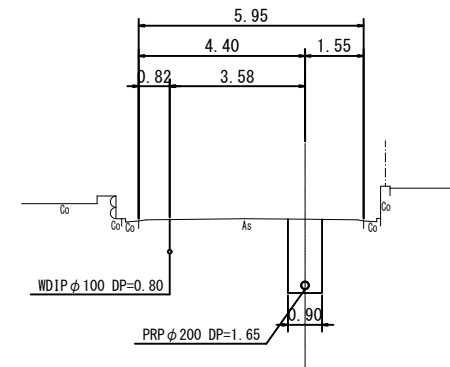
GH=105.25
FH=102.952
FH=102.980



DL=99.00

NO. 35

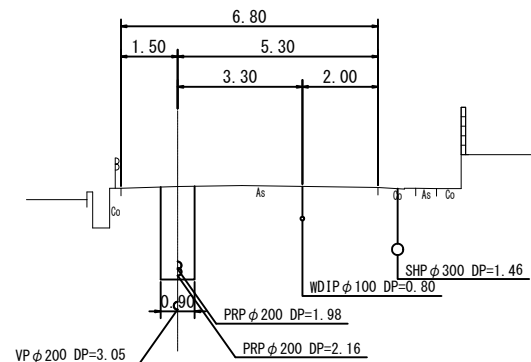
GH=107.23
FH=105.380



DL=101.00

既NO. 3

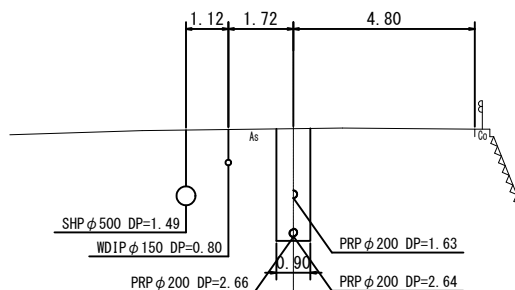
GH=103.95
FH=100.696
FH=101.592
FH=101.763



DL=97.00

NO. 6

GH=105.10
FH=102.233
FH=103.263
FH=102.253



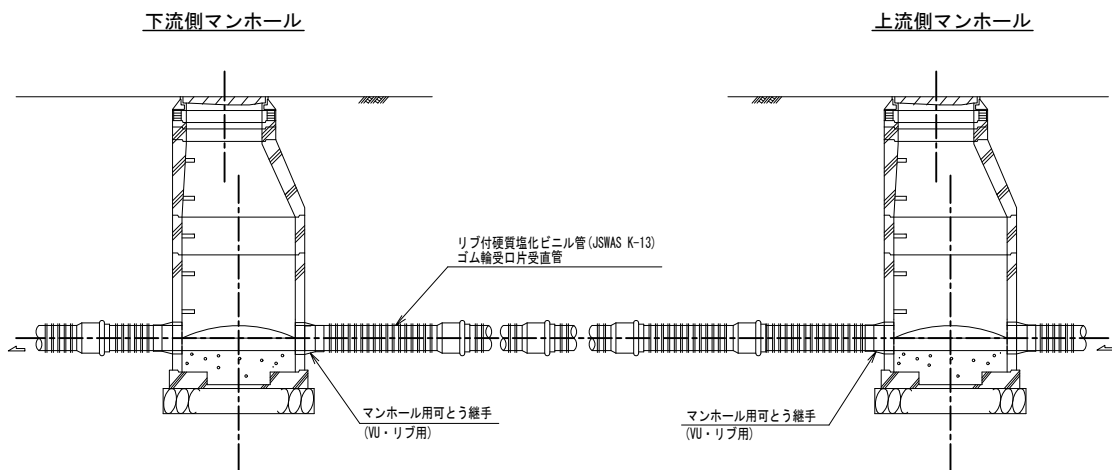
DL=99.00

2120 2117-5 2119 2118

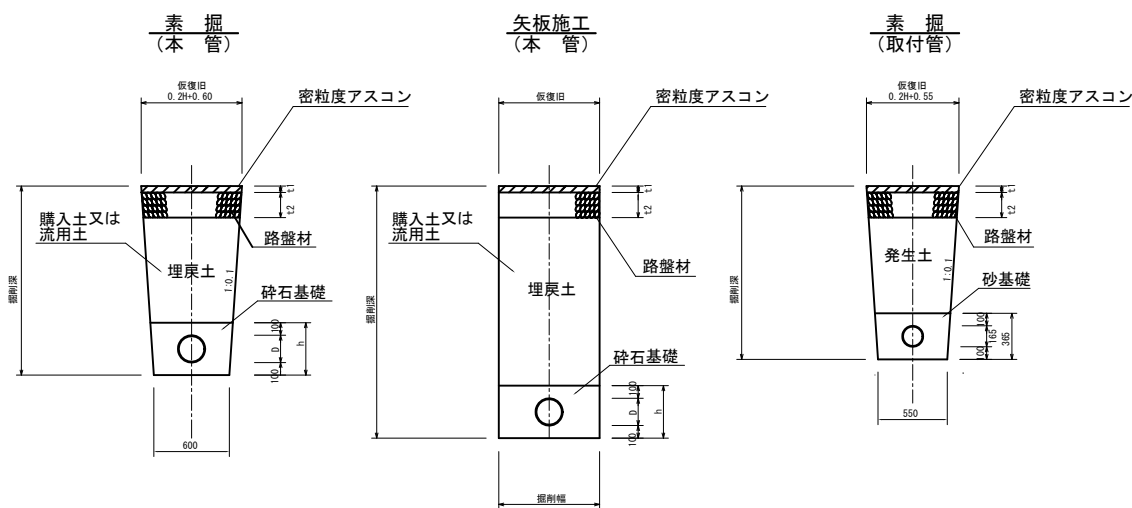
令和 7 年度	公共下水道事業		
工事名称	御所污水9号幹線9工区 管路築造工事		
図面名称	横 断 図 (1)		
縮 尺	S=1 : 100		
施工箇所	幸 町 地 内		
図面番号	5 / 10	作成年月日	年 月 日
御所市 産業建設部 都市整備課			

本管・土工標準構造図

本管布設工標準構造図 S=1:30

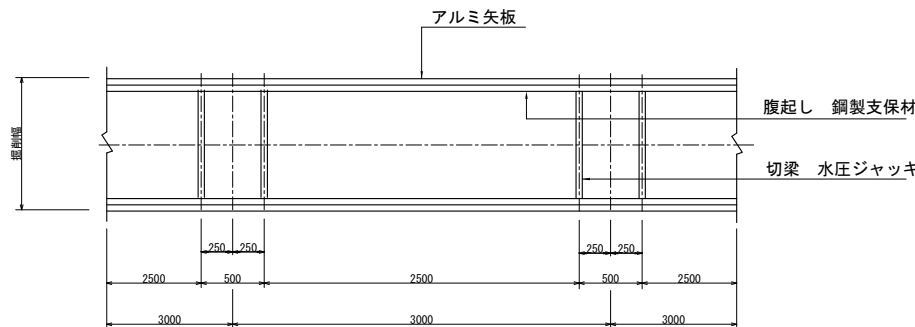
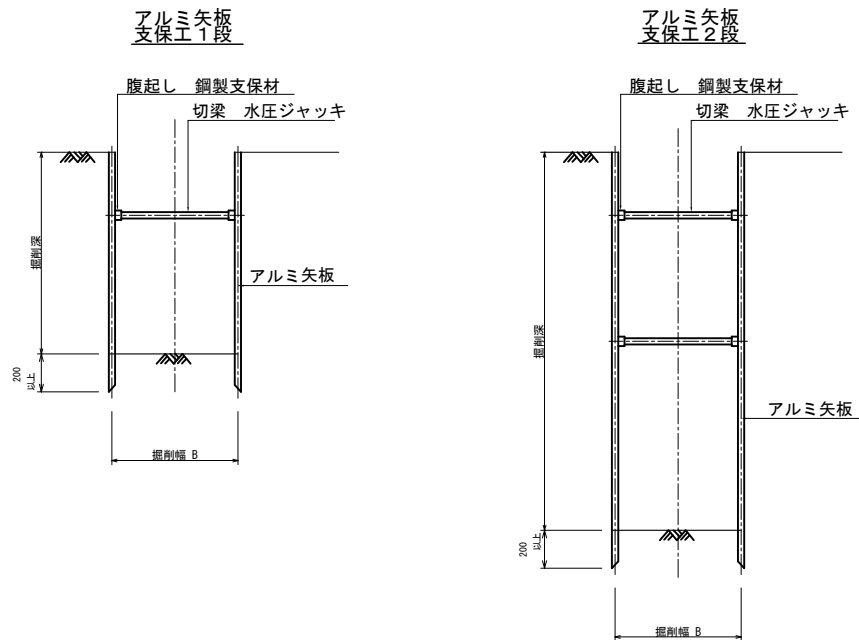


土工標準図 S=1:30



※舗装厚・路盤厚は、「舗装復旧工標準図」を参照

土留工標準図 S=1:30



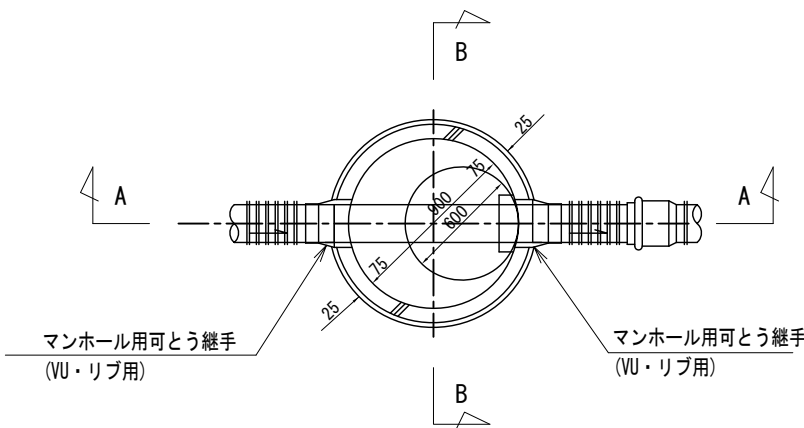
矢板種別	平均掘削深	矢板長	支保段数
アルミ矢板	1.30m	1.50m	1
	1.80m	2.00m	1
	2.00m	2.50m	1
	2.30m	2.50m	2
	2.80m	3.00m	2
	3.30m	3.50m	2
	3.80m	4.00m	3

令和 7 年度	公共下水道事業
工事名称	御所污水9号幹線9工区 管路築造工事
図面名称	本管・土工標準構造図
縮 尺	S=1:30
施工箇所	幸 町 地 内
図面番号	6 / 10 作成年月日 年 月 日
御所市 産業建設部 都市整備課	

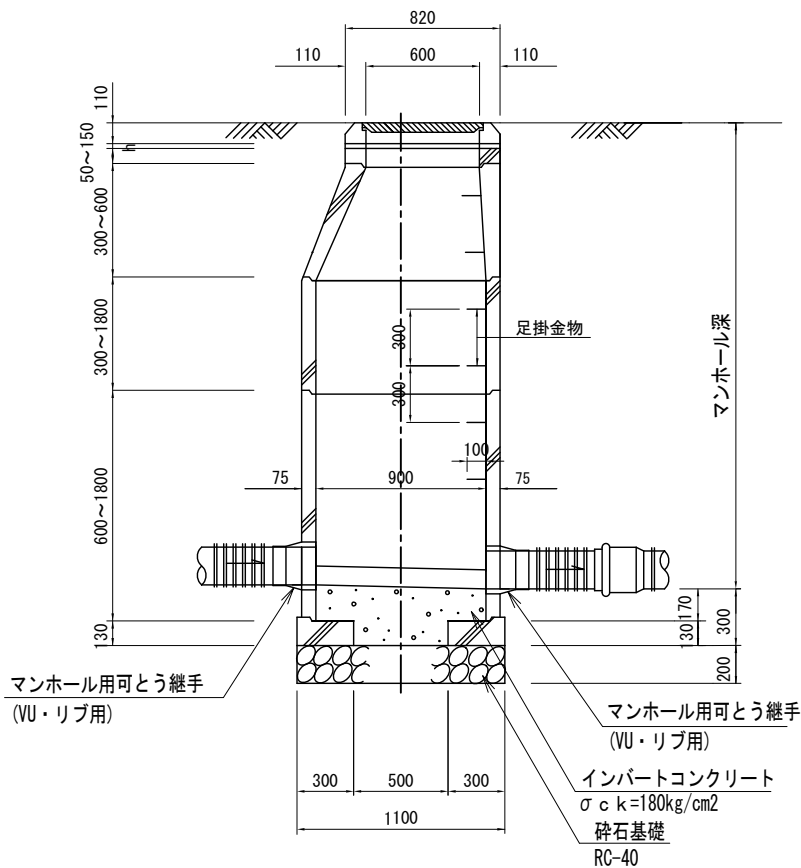
1号組立マンホール標準構造図

S=1:20

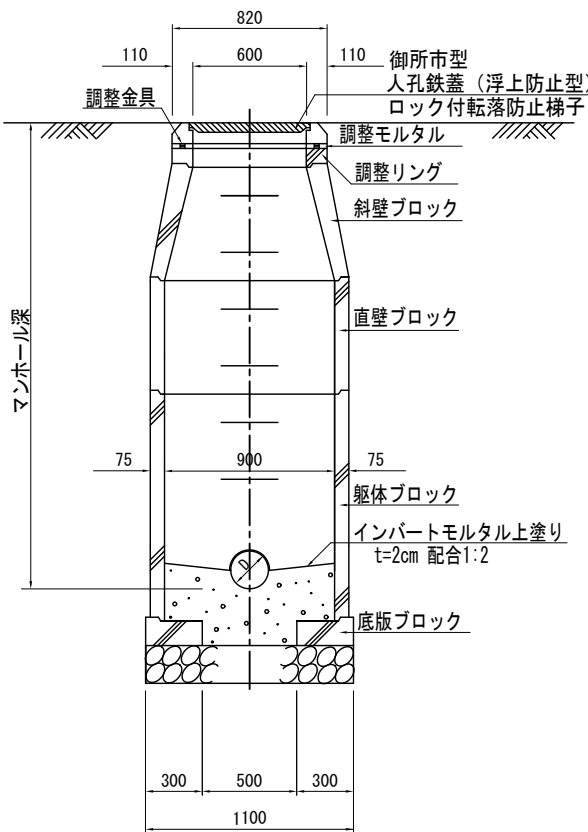
平面図



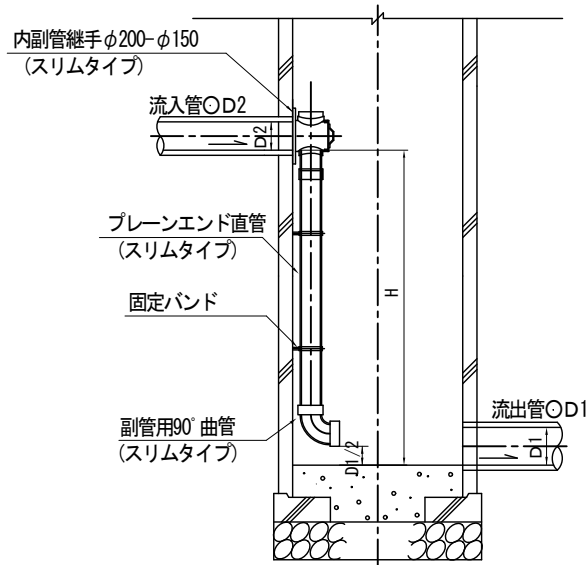
A-A断面図



B-B断面図



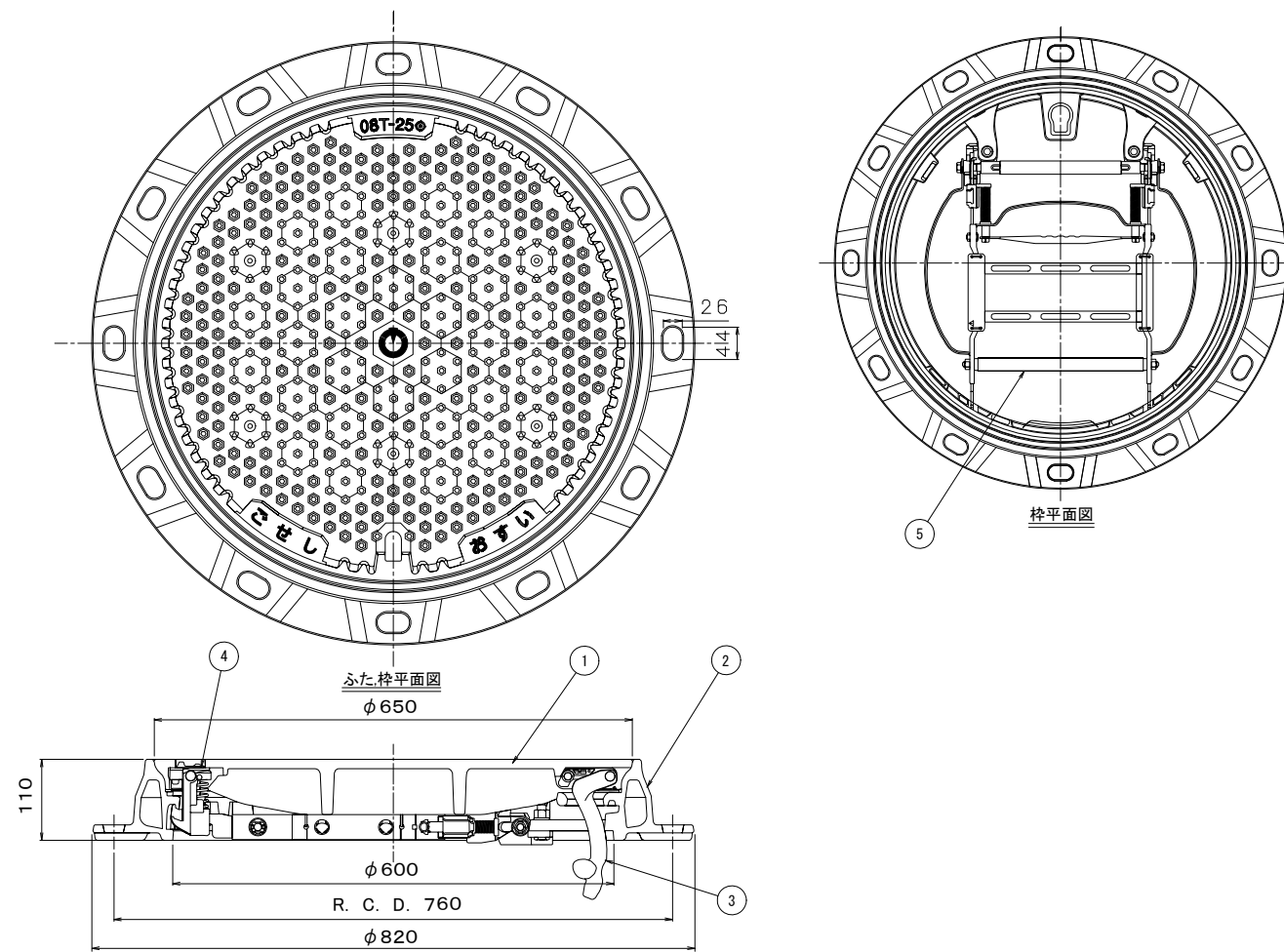
内副管取付標準構造図 S=1:20



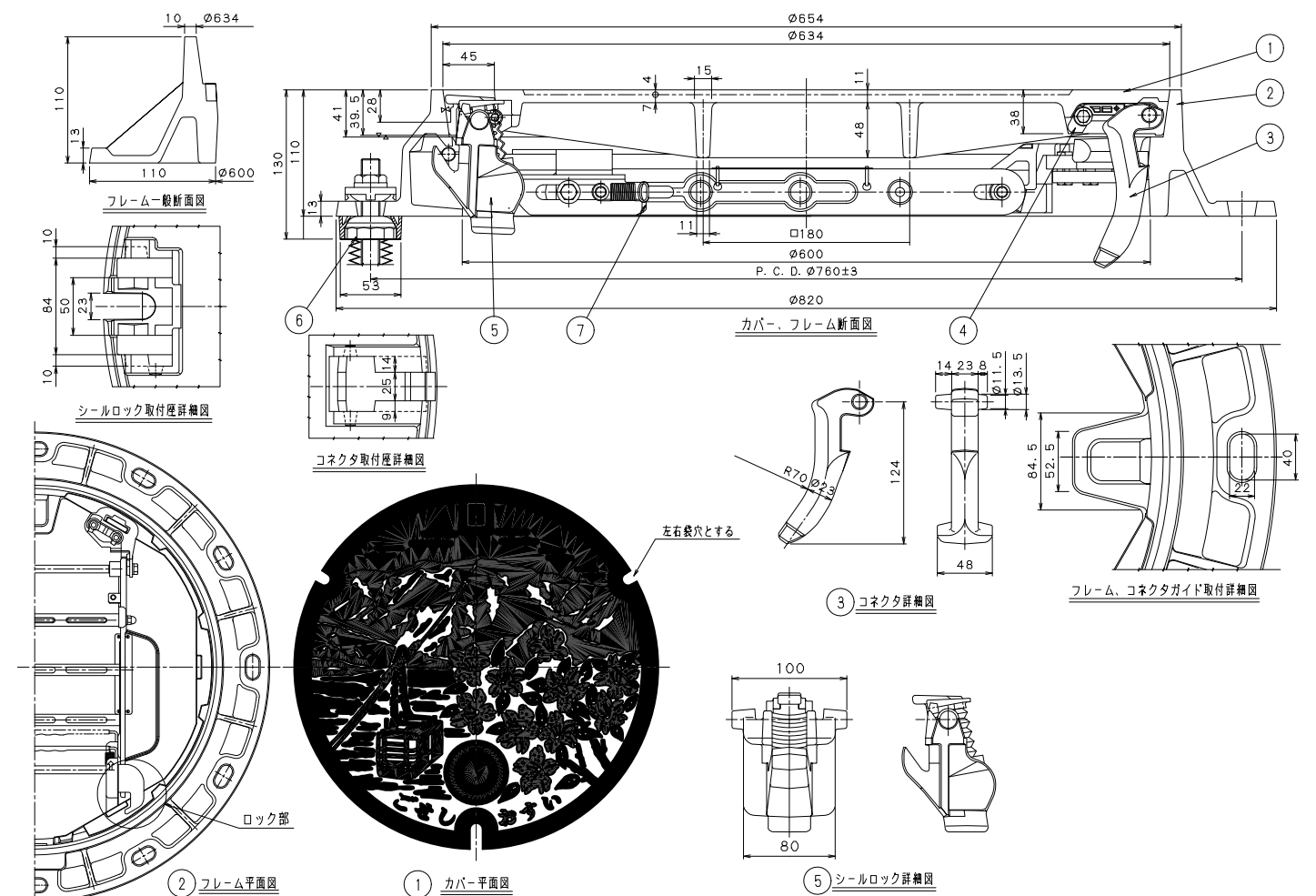
令和7年度	公共下水道事業		
工事名称	御所污水9号幹線9工区 管路築造工事		
図面名称	1号組立マンホール標準構造図		
縮尺	S=1:20		
施工箇所	幸町地内		
図面番号	7 / 10	作成年月日	年 月 日
御所市 産業建設部 都市整備課			

グラウンドマンホール蓋標準図

(T-25)



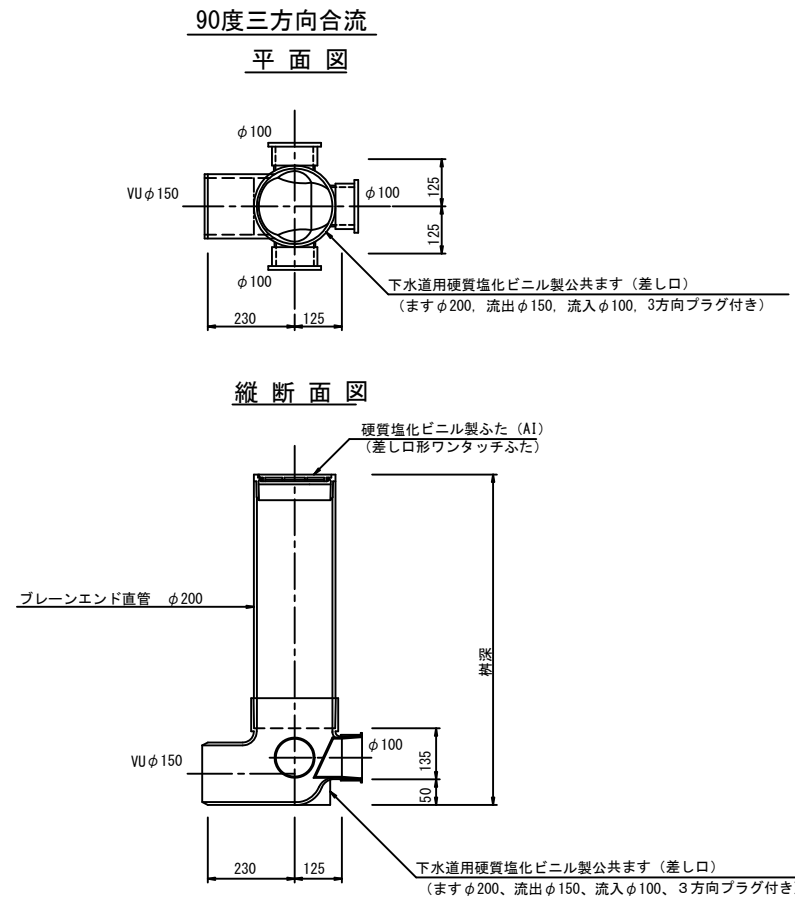
(T-14)



令和 7 年度	公共下水道事業		
工事名称	御所污水9号幹線9工区 管路築造工事		
図面名称	グラウンドマンホール蓋標準図		
縮 尺	NON		
施工箇所	幸 町 地 内		
図面番号	8 / 10	作成年月日	年 月 日
御所市 産業建設部 都市整備課			

塩ビ製污水枥・取付管布設標準構造図

塩ビ製汚水枡標準構造図 S=1:10
(下水道用硬質塩化ビニル製ます JSWAS L-7)



ドロップ90度三方向合流

平 面 図

UU $\phi 150$

$\phi 100$

125

125

170

125

50 (最大)

下水道用硬質塩化ビニル製公共ます (差し口)
(ます $\phi 200$, 流出 $\phi 150$, 流入 $\phi 100$, 3方向プラグ付き)

縦 断 面 図

硬質塩化ビニル製ふた (A1)
(差し口形ワンタッチふた)

排水

ブレーンエンド直管 $\phi 200$

$\phi 100$

135

カラー

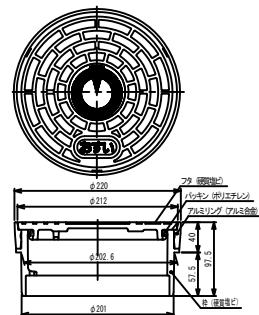
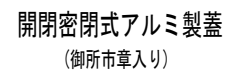
150

ブレーンエンド直管 $\phi 150$

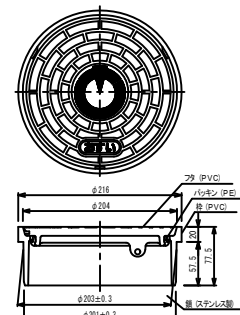
125

下水道用硬質塩化ビニル製公共ます (差し口)
(ます $\phi 200$, 流出 $\phi 150$, 流入 $\phi 100$, 3方向プラグ付き)

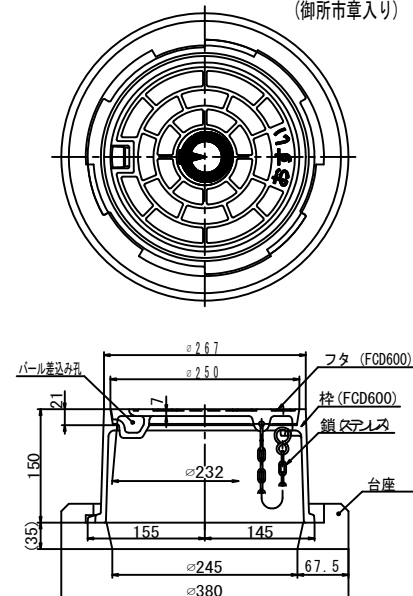
塩ビ污水枳蓋標準図 S=1:5



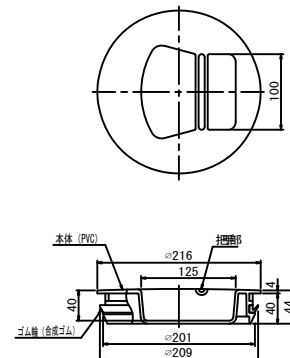
開閉密閉式塩ビ製蓋
(御所市章入り)



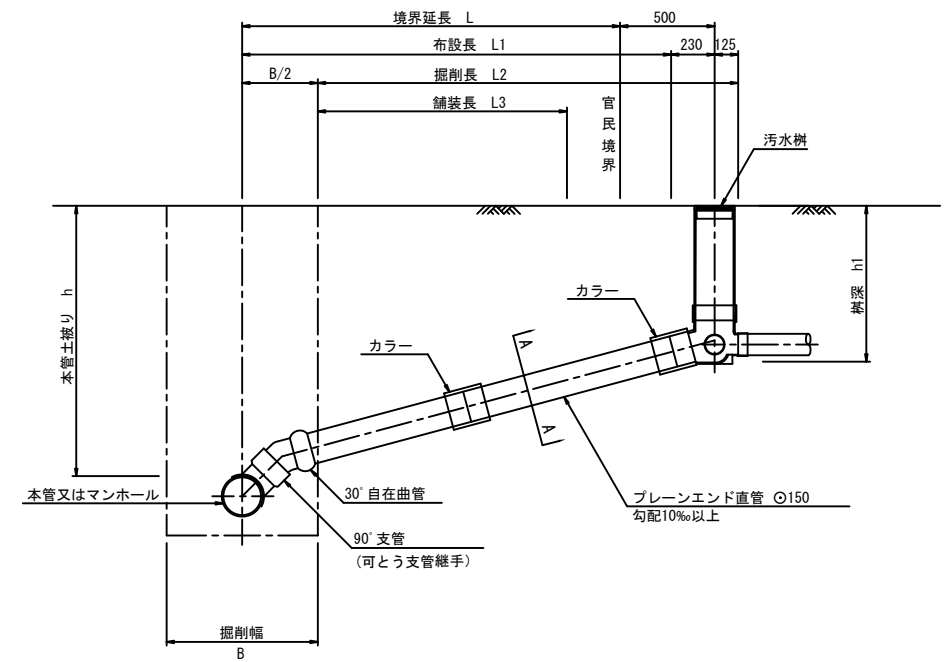
防護ふた(標準型 T-8)
(御所市章入り)



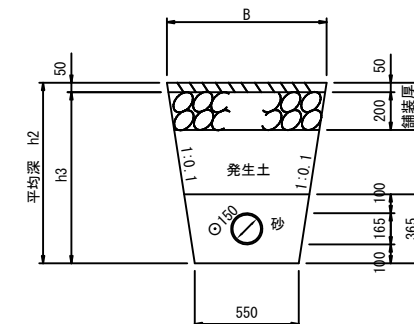
密閉式内ふた



取付管布設標準構造図 S=1:20

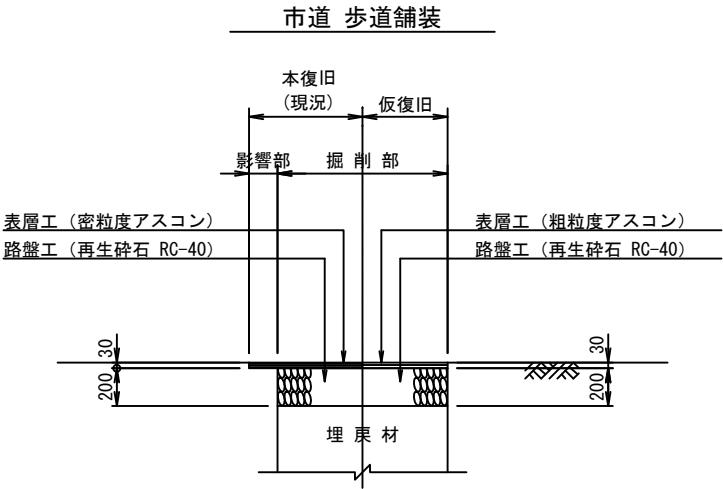


A-A断面図
(取付管理戻し図)



令和 7 年度	公共下水道事業		
工事名称	御所汚水9号幹線9工区 管路築造工事		
図面名称	塩ビ製汚水樹・取付管布設標準構造図		
縮 尺	図示		
施工箇所	幸 町 地 内		
図面番号	9 / 10	作成年月日	年 月 日
御所市 産業建設部 都市整備課			

舗装復旧工標準図 S=1:20



※舗装構成は交通量の区分により変わり、上記以外の区分の場合は別途協議します。

令和 7 年度	公共下水道事業		
工事名称	御所污水9号幹線9工区 管路築造工事		
図面名称	舗装復旧工標準図		
縮 尺	図示		
施工箇所	幸 町 地 内		
図面番号	10 / 10	作成年月日	年 月 日
御所市 産業建設部 都市整備課			